

塊地利 貨幣	一 クローネ	四一〇二〇	一圓ニ付	「クローネ」四十二
洪島利	一 コロナ	九〇九一七	一圓ニ付	「ヘルレル」七八四
香港洋銀	一 セント	九〇九	一圓ニ付	「ダラー」〇九「セント」九九一

○告示第三百二十四號 六月二十九日

明治三十七年七月一日ヨリ同月二十日迄越前國三國ヲ船舶検査臨時執行地トシ船舶検査法ニ依リ検査ヲ受クヘキ船舶ノ検査ヲ執行ス

○告示第三百二十五號 六月二十九日

萬國郵便條約施行細則第四條第一項聯合各國貨幣比例表中古倫比亞ノ部左ノ通改正ス

古倫比亞 五「セント」
「セクタヴォ」 二「セクタヴォ」 一「セクタヴォ」

○告示第三百二十六號 六月二十九日

來七月一日ヨリ石狩國上川郡旭川町大字旭川町一條通十一丁目ニ設置ノ旭川郵便局ヲ同町同字宮下通十二丁目ニ移轉ス

○公 達

○公達第一號 一月四日

逓信部内一般

收入支出取扱期間ニ關スル規程左ノ通相定メ本月十五日ヨリ施行ス

收入支出取扱期間ニ關スル規程

第一條 逓信省所管一般會計及特別會計歳入歳出ハ本規程ニ據リ處理スヘシ

第二條 歳入ノ事務ヲ取扱フ主管課若クハ掛ニ於テ徴收ヲ要スル決議書其他ノ證據書類ヲ受ケタルトキ又ハ第四條ノ請求ヲ受ケタルトキハ即日之ヲ歳入ヲ徴收スル官吏ニ送付スヘシ但複雑ノ事件ニシテ即日送付シ難キモノト雖モ左ノ期間ヲ超ユルヲ得ス

- 一 納期ノ定メアル收入ハ其ノ納期日ノ十五日前但納期ノ數日ニ渉ルモノハ其納期ノ初日ヲ起算點トス
- 二 隨時ノ收入ハ決議書又ハ證據書類ヲ受ケタル日ヨリ三日

第三條 歳入ヲ徴收スル官吏前條ノ書類ヲ受ケタルトキハ其受ケタル日ヨリ三日以内ニ之ヲ調定シ徴收ノ手續ヲ了スヘシ

第四條 歳入ヲ徴收スル官吏調定ノ際決議書其他書類ノ不備又ハ誤謬ヲ發見シタルトキハ直ニ歳入ノ事務ヲ取扱フ主管課若クハ掛ニ其書類ノ補充又ハ訂正ヲ請求スヘシ

第五條 歳出ノ事務ヲ取扱フ主管課若クハ掛ニ於テ歳出ノ仕拂ヲ要スル債主ノ請求書納額告知書決議書其他ノ證據書類ヲ受ケタルトキ又ハ第七條ノ請求ヲ受ケタルトキハ即日之ヲ仕拂命令及繰替拂證券ヲ發行スル官吏ニ送付スヘシ但複雑ノ事件ニシテ即日送付シ難キモノト雖モ左ノ期間ヲ超ユルヲ得ス

- 一 仕拂期日ノ定メアルモノハ本條ノ書類ヲ受ケタル日ヨリ二日
- 二 工事又ハ物件ノ買入借入ニシテ隨意契約ニ係ルモノハ本條ノ書類ヲ受ケタル日ヨリ四日
- 三 工事又ハ物件ノ買入借入ニシテ競争契約(指名競争契)ニ係ルモノハ本條書類ヲ受ケタル日ヨリ五日
- 四 前各號以外ノモノハ本條ノ書類ヲ受ケタル日ヨリ三日

第六條 仕拂命令及繰替拂證券ヲ發行スル官吏前條ノ書類ヲ受ケタルトキハ即日之ヲ調定シ仕拂ノ手續ヲ了スヘシ但複雑ノ事件ニシテ即日其手續ヲ了シ難キモノト雖モ左ノ期間ヲ超ユルヲ得ス

- 一 仕拂期日ノ定メアルモノハ其期日
 - 二 前條第一項第三號ノ工事ニ係ルモノハ五日
 - 三 前各號以外ノモノハ三日
- 第七條 仕拂命令及繰替拂證券ヲ發行スル官吏調定ノ際請求書其他書類ノ不備又ハ誤謬ヲ發見シタルトキハ直ニ歳出ノ事務ヲ取扱フ主管課若クハ掛ニ其書類ノ補充又ハ訂正ヲ請求スヘシ

第八條 各主管課若クハ掛ニ於テ第二條及第五條ノ期間内ニ收入支出ニ屬スル書類ヲ歳入ヲ徴收スル官吏又ハ仕拂命令及繰替拂證券ヲ發行スル官吏ニ送付シ難キ事故アルトキハ其事由ヲ記シタル報告書ヲ作リ當該部局長ニ提出スヘシ

第九條 歳入ノ徴收又ハ仕拂命令及繰替拂證券ヲ發行スル事務ヲ掌理スル主管課若クハ掛ニ於テ第三條及第六條ノ期間内ニ收入支出ノ手續ヲ了シ難キ事故アルトキハ其事由ヲ記シタル報告書ヲ作リ當該部局長ニ提出スヘシ

第十條 當該部局長前二條ノ報告書ヲ受ケタルトキハ毎月之ヲ取纏メ其報告書ヲ作り翌月五日迄ニ遞信大臣ニ申報スヘシ

第十一條 本規程ニ定メタル期間内ニハ公暇日及郵便往復ニ係ル日數ヲ算入セス

第八條乃至第十條ノ報告書ハ此書式ニ依ル

收入支出取扱期間經過報告書

種別	金額	納入人又ハ債主氏名	受付月日	送付又ハ執行月日	經過日數	事由
何々徴收金	〇〇〇何	某	何月何日	何月何日	何日	何々ノ事故ニ依リ經過
何品外一件	〇〇〇〇何	某	何月何日	何月何日	何日	同上

何々工事	〇〇〇何	某何月何日	何何月何日	何何月何日	同上
------	------	-------	-------	-------	----

主管課(掛)長
(部局長)

部局長宛

(大臣宛)

凡例

- 一 受付月日ノ欄ニハ歳入ハ決議書其他ノ書類歳出ハ請求書其他ノ書類ヲ受ケタル月日ヲ記載スルモノトス
- 二 送付又ハ執行月日ノ欄ニハ歳入ハ徴收スル官吏ニ歳出ハ仕拂ヲナス官吏ニ送付又ハ徴收若クハ仕拂執行ヲナシタル月日ヲ記載スルモノトス
- 三 経過日數ノ欄ニハ規程ノ期間ヲ経過シタル日數ヲ記載スルモノトス
- 四 受付後事故ノ爲メ規程ノ期間ニ處理シ難キモノハ受付月日及事由ノミヲ記載スルモノトス

○公達第二號 一月四日

逓信部内一般

明治三十六年度歳出科目左記ノ通増設ス

臨時部營繕費ノ款新營繕費ノ項末位ニ左ノ目

本郷郵便局増築

同款修繕費ノ項末位ニ左ノ目

本郷郵便局修繕

○公達第三號 一月六日

逓信官署

佐渡國多田郵便局ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一 電報取扱時間 第二種

一 取扱フヘキ電報 内外和文電報

○公達第四號 一月六日

逓信官署

明治三十四年ハ公達第四百八十六號傳送上特別ノ名稱ヲ用フヘキ電信局所名錄中左ノ通追加ス

ヲオノ 局 所 名 傳送上用フヘキ局所名

○公達第五號 一月七日 佐渡 多田

逓信官署

公達 第三號乃至第五號

五百四十三

公達 第六號第七號

五百四十四

佐渡國多田郵便局外二局發著電報ノ中繼順路左ノ通相定ム
電報往復局所

自多田
至新町佐渡二見全上 新穂
其他各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)
自河野
至各局所
自北方鹽竈
至各局所

中繼局
小木佐渡
新潟
武生
西郷

○公達第六號 一月七日

通信官署

本月十一日ヨリ左ノ通電信回線ヲ變更ス

線名 接續局
新潟 小木線 新潟 寺泊 多田 赤泊

接續方法
徳和村(海底線陸揚地)赤泊間ヨリ多田迄二線新設
之ヲ環線トシテ在來新潟小木線ニ聯結

○公達第七號 一月七日

通信官署

本月十一日ヨリ左ノ通電信回線ヲ新設ス

線名 接續局
西郷 北方線 西郷 北方

通信官署

本月十六日ヨリ左ノ通電信回線ヲ新設ス

線名 接續局
武生 河野線 武生 河野

通信官署

○公達第九號 一月十一日

線路經過地

接續方法

本月一日ヨリ左ノ通電信回線ヲ變更ス
線名 接續局
横須賀 大阪線 横須賀 静岡 大阪
新橋 高麗橋線 新橋 東京 大阪

横濱 國府津 宮
屋ノ下 岩淵 名古屋
品川 目黒 堀内
和中野 赤羽 浦
松本 熊谷 上田
屋四日市 京都 柘植
草津

横須賀横濱間増設線ヲ東京高麗橋線ノ
横濱大阪間線ニ接續ス
品川大阪間増設線ヲ東京新橋間豫備
線、東京高麗橋線ノ東京品川間線及大
阪高麗橋間線ニ接續ス但東京高麗橋線
ノ品川横濱間線ハ豫備トス

公達 第八號第九號

五百四十五

○公達第十號 一月十一日

通信官署

本月十三日ヨリ左ノ通電報中繼順路ヲ改定ス

中繼局所

自 横須賀相模

神奈川 櫻木 長者町 戸部町受取所 内田町同上 初音町同上

横濱武藏

石川町同上 川和 町田 上溝 中野相模

大船取扱所

戸塚取扱所 程ヶ谷同上 藤澤同上 茅ヶ崎同上 平塚同上 大磯同上

鎌倉

二ノ宮同上

静岡

長谷受取所

大坂

遠江(舞坂取扱所 鷺津同上ヲ除ク) 駿河(御殿場 御殿場

大阪

取扱所 小山同上 佐野同上 三島同上ヲ除ク) 伊豆(川津濱

稻取 伊東 網代ヲ除ク)各局所 南部 鵜澤

大阪

山陽 西海 南海(長島 引本 島勝 尾鷲 木ノ本 二本

大阪

島 新宮 鵜殿受取所 三輪崎 下里 大島 太地受取所ヲ除

大阪

クノ各道 大和(浦向ヲ除ク) 河内 和泉 攝津 丹波(龜

大阪

岡 周山 園部 板橋 須知 綾部 八木取扱所ヲ除ク)

大阪

但馬 因幡 伯耆 出雲 石見 隱岐 琉球 臺灣 海外各

大阪

自 静岡

甲斐吉田 谷村 勝沼 猿橋 上野原 鳥澤取扱所ヲ除ク)

甲府

葛木 下諏訪

沼津

江ノ浦 沼津取扱所 葦山 戸田

下田伊豆

子浦伊豆 大島同上 波浮港 長津呂取扱所

松崎

田子

横須賀

深田受取所 横須賀取扱所 逗子同上 鎌倉同上 大船同上

横濱武藏

川和 町田 上溝 中野相模 神奈川 櫻木 長者町 戸部町

静岡取扱所

受取所 内田町同上 初音町同上 石川町同上

豊橋

原取扱所 鈴川同上 岩淵同上 蒲原同上 興津同上 江尻同上 焼津同

濱松

上 藤枝同上 島田同上 金谷同上 堀ノ内同上

熱海

福江三河 田原 豊川 新城 富岡三河 大野同上 田口同上 本郷

熱海

同上 新城取扱所 長篠同上 豊橋同上 二川同上 鷺津同上 舞坂同上

御油同上

氣賀 岡崎 濱松取扱所 天龍川同上 中泉同上 袋井同上

熱海

伊豆山受取所

熱海

若狹 越前 加賀 能登 越中 近江 美濃 飛騨 伊賀
 伊勢 志摩 尾張 山城(向日町取扱所 山崎同上 加茂同上 笠
 置同上 祝園同上ヲ除ク) 丹後各局所 龜岡 周山 園部
 板橋丹波 須知 綾部 福知山 雲原 八木取扱所 長島 引
 本 島勝 尾鷲 木ノ本紀伊 二木島 新宮 鵜殿取扱所 三輪
 崎 下里 太地取扱所 大島紀伊 浦向 神戸舞津 菅合取扱所 水
 木通同上 荒田同上 神戸取扱所 兵庫同上 三木 小野 播磨 中村同
 上 瀧野 二見 播磨 鹽屋取扱所 垂水同上 舞子同上 大久保同上
 岩屋 假屋 志筑 郡家淡路 知立 刈谷 新川 大濱三河 西
 尾 西幡豆 一色 蒲郡 御油 舉母 足助 稻橋 岡崎取
 扱所 蒲郡同上 安城同上 飯田信濃

山陽道(三木 小野 瀧野 中村 二見 鹽屋取扱所 垂水同
 上 舞子同上 大久保同上ヲ除ク) 西海道 紀伊(長島 引本
 島勝 尾鷲 木ノ本 二木島 新宮 鵜殿取扱所 三輪崎
 下里 太地取扱所 大島ヲ除ク) 四國 大和(浦向ヲ除ク)
 河内 和泉 攝津(神戸 菅合取扱所 水木通同上 荒田同上 神
 戸取扱所 兵庫同上ヲ除ク) 丹波(龜岡 周山 園部 板
 橋 須知 綾部 福知山 雲原 八木取扱所ヲ除ク) 但馬
 因幡 伯耆 出雲 石見 隱岐 琉球 臺灣 海外各局所

名古屋
 大阪

由良淡路 洲本 市村 湊淡路 福良 向日町取扱所 山崎同上
 (山城) 祝園同上 加茂同上 笠置同上
 其他各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)
 自 大阪

深田取扱所 横須賀取扱所 逗子同上 鎌倉同上 大船同上
 遠江(舞坂取扱所 鷺津同上ヲ除ク) 駿河(御殿場 御殿場取
 扱所 小山同上 佐野同上 三島同上ヲ除ク) 伊豆(川津濱 稻取
 伊東 網代ヲ除ク)各局所

自 濱松

山陽道(三木 小野 瀧野 中村 二見 鹽屋取扱所 垂水同上
 舞子同上 大久保同上ヲ除ク) 西海道 紀伊(長島 引本 島
 勝 尾鷲 木ノ本 二木島 新宮 鵜殿取扱所 三輪崎 下里
 太地取扱所 大島ヲ除ク) 四國 大和(浦向ヲ除ク) 河内
 和泉 攝津(神戸 菅合取扱所 水木通同上 荒田同上 神戸取
 扱所 兵庫同上ヲ除ク) 丹波(龜岡 周山 園部 板橋 須知
 綾部 福知山 雲原 八木取扱所ヲ除ク) 但馬 因幡
 伯耆 出雲 石見 隱岐 琉球 臺灣 海外各局所 由良淡
 路 洲本 市村 湊淡路 福良 向日町取扱所 山崎同上(山城)
 祝園同上 加茂同上 笠置同上 横須賀相模 深田取扱所 横須賀取扱

東京
 横須賀相模
 静岡
 静岡

所 逗子同上 鎌倉同上 大船同上
 自 東舞鶴 西舞鶴 福知山 神戸舞津 兵庫 三宮 大根占 長崎
 至 橫須賀相模 深田受取所 橫須賀取接所 逗子同上 鎌倉同上 大船同上
 自 熱海 三島伊豆 沼津 下田伊豆 南部 鵜澤
 至 橫須賀相模 深田受取所 橫須賀取接所 逗子同上 鎌倉同上 大船同上

大阪

静岡

○公達第十一號 二月十一日

通信官署

壹岐國印通寺、豊後國久住、肥後國小天ノ各郵便局ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一電報取扱時間 第二種

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○公達第十二號 一月十一日

通信官署

肥後國伊倉電信受取所ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一電報取扱時間 第二種

一取扱フヘキ電報 内國和文電報

但シ著信電報ハ同所ヲ肩書スルモノ及留置ト爲スモノノ外取扱ハス

○公達第十三號 一月十一日

通信官署

筑後國沖端郵便電信受取所ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一電報取扱時間 第二種

一取扱フヘキ電報 内國和文電報

但シ著信電報ハ同所ヲ肩書スルモノ及留置ト爲スモノノ外取扱ハス

○公達第十四號 一月十一日

通信官署

本日ヨリ左ノ通電信回線ヲ新設ス

線名	接續局	所
高瀬小天線	高瀬	伊倉受取所 小天
竹田久住線	竹田	久住
柳河沖端線	柳河	沖端受取所

○公達第十五號 一月十一日

通信官署

本日ヨリ郷ノ浦芦邊線接續局中郷ノ浦ノ次ニ印通寺ヲ、京都江頭線接續局中大津ノ次ニ瀬田ヲ追加ス

○公達十六號 一月十一日

通信官署

本月十六日ヨリ左ノ通電信回線ヲ新設ス

線 名 接 續 局

福知山雲原線 福知山 雲原

○公達第十七號 一月十一日

通信官署

本日ヨリ左ノ通電信回線ヲ變更ス

線 名 接 續 局 接 續 方 法

白田豐里線 白田 高野町受取 豐里

高野町豐里間新設線ヲ白田高野町線ニ聯結

○公達第十八號 一月十一日

通信官署

小天郵便局外七局所發着電報ノ中繼順路左ノ通相定ム

電 報 往 復 局 所

中繼局所

自 小天 伊倉受取所

至 各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

自 印通寺

至 各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

自 久住

至 各局所

自 沖端受取所

至 各局所

自 雲原

至 各局所

自 瀬田

至 各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

自 豐里

至 各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

○公達第十九號 一月十一日

通信官署

越前國河野郵便局ニ於ケル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

高瀬

郷ノ浦

竹田

柳河

福知山

京都

白田

一電報取扱時間 第二種
一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○公達第二十號 一月十一日

通信官署

相模國葉山一色電話所ニ於テ電話呼出規程第四條ノ取扱ヲ爲ス

○公達第二十一號 一月十一日

通信官署

近江國瀬田、丹波國雲原各郵便局ニ於ケル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一電報取扱時間 第二種

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○公達第二十二號 一月十一日

通信官署

隱岐國北方郵便局ニ於ケル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一電報取扱時間 第二種

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○公達第二十三號 一月十一日

通信官署

明治三十四年八月公達第四百八十六號傳送上特別ノ名稱ヲ用フヘキ電信局所名錄中左ノ通追加ス
キノ部 北方郵便局(隱岐) 傳送上用フヘキ局所名 隱岐北方

○公達第二十四號 一月十一日

通信官署

本月十六日ヨリ左ノ通電信回線ヲ變更ス

線名 接續局所

多度津松山線 多度津 入野 多喜濱 惣

金山白鳥線 金山 桐洞 岐阜 關上

熱田津線 熱田 桑名 富田 四日市

○公達第二十五號 一月十一日

神戶 白子 津

本月十六日ヨリ左ノ通電信回線ヲ新設ス

線名 接續局

太田小泉線 太田 小泉

茅野穴山線 茅野 穴山受取所

通信官署

在來熱田津線ニ富田ヲ接續ス

八幡白鳥間増設線ヲ金山八幡線ニ接續ス

多度津松山線ニ入野ヲ接續ス

○公達第二十六號 一月十一日

入野郵便局外四局所發著電報ノ中繼順路左ノ通相定ム

電報往復局所

自入野

九龜 阪出 善通寺 琴平 詫間 觀音寺 和田濱 宇多津

至

取扱所 金藏寺同上 善通寺同上

七橋取扱所 別子銅山同上

自白鳥

至各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

自富田伊勢

至 香取 楚原 前ヶ須 蟹江 高田美濃

自小泉

至各局所

自穴山受取所

至各局所

中繼局所

通信官署

多度津

惣開

松山伊豫

岐阜

桑名

津

大田上野

茅野

○公達第二十七號 一月十一日

信濃國豐里郵便局ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一電報取扱時間 第二種

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○公達第二十八號 一月十二日

伊豫國入野郵便局ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一電報取扱時間 第二種

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○公達第二十九號 一月十二日

上野國小泉郵便局ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一電報取扱時間 第二種

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○公達第三十號 一月十二日

在外局

通信官署

通信官署

通信官署

來二月一日ヨリ在外局所ニ於ケル郵便物ノ遞送及集配ノ受負ニ關シテハ左記各號ニ記載スルモノヲ除クノ外明治三十三年九公達第四百八十二號郵便遞送受負規則及同年同公達第四百九十三號郵便集配受負規則ヲ適用ス但在外局ハ一等局ニ準ス

一 遞送受負規則第六條第三號及第二十三條第四號

一 集配受負規則第五條第三號及第十九條第四號

○公達第三十一號 一月十二日

通信官署

明治三十六年三三公達第三百二十號在外郵便局長職務章程中第二條第十四項ヲ「郵便受取所取扱人及電話所受負人ニ服務規約又ハ受負人規程ニ依リ辨償ヲ命スル事」ト改メ第十六項ノ次ニ「十六ノ二、通常道路郵便遞送受負、郵便集配受負及和船航送受負ヲ命令シ又ハ解除スル事」ノ一項ヲ加フ

○公達第三十二號 一月十三日

通信官署

信濃國穴山電信受取所ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一 電報取扱時間 第二種

一 取扱フヘキ電報 内國和文電報

但著信電報ハ同受取所ヲ肩書スルモノ及留置ト爲スモノノ外取扱ハス

○公達第三十三號 一月十三日

通信官署

來二月一日ヨリ左ノ通電信回線ヲ新設ス

線 名 接 續 局 所

那霸糸滿線 那霸 糸滿

○公達第三十四號 一月十三日

通信官署

糸滿郵便局發着電報ノ中繼順路左ノ通相定ム

電 報 往 復 局 所

自糸滿

至各局所

那霸

中繼局所

○公達第三十五號 一月十三日

通信官署

琉球國糸滿郵便局ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一 電報取扱時間 第二種

一 取扱フヘキ電報 内外和文電報

公達 第三十三號乃至第三十五號

五百五十九

○公達第三十六號 一月十三日

遞信部内一般

明治三十六年度歳出科目左記ノ通増設ス
臨時部營繕費ノ款新營費ノ項末位ニ左ノ目
下關郵便爲替貯金管理支所物置新築

○公達第三十七號 一月十四日

通信官署

本月十五日ヨリ陸奥國宇田郵便電信受取所ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通改正ス

一電報取扱時間 第一種

一電報直配達區域 大湊村大字大湊字宇田一圓

一取扱フヘキ電報 内外和歐文電報

○公達第三十八號 一月十四日

通信官署

美濃國白鳥郵便局ニ於ケル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一電報取扱時間 第二種

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○公達第三十九號 一月十四日

通信官署

伊勢國富田郵便局ニ於ケル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一電報取扱時間 第一種

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○公達第四十號 一月十四日

通信官署

明治三十四年ハ公達第四百八十六號傳達上特別ノ名稱ヲ用フヘキ電信局所名錄中左ノ通追加ス

局 所 名 傳送上用フヘキ局所名

ト 部 富田郵便局(伊勢)

伊勢富田

○公達第四十一號 一月十四日

通信官署

本月十六日ヨリ伊勢國富田電信取扱所ニ於ケル著信電報ハ富田鐵道停車場ヲ肩書スルモノ及留置ト

爲スモノノ外取扱ハス

○公達第四十二號 一月十五日

通信官署

本月十六日ヨリ左ノ通電信回線ヲ新設ス

線名 接續局所

小田 六角線 小田 六角受取所

○公達第四十三號 一月十五日

通信官署

本月二十一日ヨリ左ノ通電信回線ヲ新設ス

線名 接續局所

旭川 東旭川線 旭川 東旭川

俱知安 狩太線 俱知安 狩太

小樽 祝津線 小樽 祝津受取所

木更津 富津線 木更津 富津

○公達第四十四號 一月十五日

通信官署

本月二十一日ヨリ函館壽都線接續局中長高部ノ次ニ黒松内ヲ追加ス

○公達第四十五號 一月十五日

通信官署

東旭川郵便局外五局所發著電報ノ中繼順路左ノ通相定ム

電報往復局所

中繼局所

自東旭川

至各局所

自狩太

至各局所

自黒松内

至(歌棄 磯谷 南尻別

其他各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

自六角受取所

至各局所

自祝津受取所

至各局所

自富津

至各局所

○公達第四十六號 一月十六日

筑前國宗像郡福岡電信取扱所ニ於ケル電報別使配達區域左ノ通改ム

(宗像郡神興村大字久米、八並、同郡上西郷村(大字上西郷ヲ除ク))

通信官署

俱知安

旭川

壽都
函館

小田 肥前

小樽

木更津

○公達第四十七號 一月十六日

通信官署

肥前國六角電信受取所ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一電報取扱時間 第二種

一取扱フヘキ電報 内國和文電報

但著信電報ハ同所ヲ肩書スルモノ及留置ト爲スモノノ外取扱ハス

○公達第四十八號 一月十六日

通信官署

信濃國澁郵便電信受取所ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一電報取扱時間 第二種

一取扱フヘキ電報 内國和文電報

但著信電報ハ同受取所ヲ肩書スルモノ及留置ト爲スモノノ外取扱ハス

○公達第四十九號 一月十六日

通信官署

石狩國東旭川、膽振國狩太、後志國黒松内各郵便局ニ於ケル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一電報取扱時間 第二種

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○公達第五十號 一月十六日

通信官署

後志國祝津郵便電信受取所ニ於ケル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一電報取扱時間 第二種

一取扱フヘキ電報 内國和文電報

但著信電報ハ同受取所ヲ肩書スルモノ及留置ト爲スモノノ外取扱ハス

○公達第五十一號 一月十六日

通信官署

本月二十日ヨリ左ノ通電報中繼順路ヲ改定ス

自河内取扱所

中繼局所

至(已斐取扱所 五日市同上宇品

(其他各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

廣島取扱所
糸崎取扱所

○公達第五十二號 一月十六日

遞信部内一般

明治三十六年度歳出科目中左記ノ通増設ス

公達 第五十號乃至第五十二號

五百六十五

經常部遞信本省ノ款雜給及雜費ノ項雜費ノ目末位ニ左ノ節
接 待 費

○公達第五十三號 一月十八日

通信官署

上總國富津郵便局ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一電報取扱時間 第二種

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○公達第五十四號 一月十八日

通信官署

讃岐國高松東濱町郵便電信受取所ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一電報取扱時間 第二種

一取扱フヘキ電報 内國和文電報

但シ著信電報ハ同所ヲ肩書シタルモノ及留置ト爲スモノノ外取扱ハス

○公達第五十五號 一月十八日

通信官署

對馬國竹敷郵便局ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一電報取扱時間 第一種

一取扱フヘキ電報 内外和歐文電報

○公達第五十六號 一月十八日

通信官署

對馬國小船越郵便局ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一電報取扱時間 第二種

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○公達第五十七號 一月十八日

通信官署

大隅國澗村郵便局ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一電報取扱時間 第二種

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○公達第五十八號 一月十八日

通信官署

遠江國中泉郵便局及伊豆國三津郵便局ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一電報取扱時間 第二種

公達 第五十六號乃至第五十八號

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○公達第五十九號 一月十八日

通信官署

伊豆國土肥郵便局ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一電報取扱時間 第二種

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○公達第六十號 一月十八日

通信官署

明治三十四年ハ公達第四百八十六號傳送上特別ノ名稱ヲ用フヘキ電信局所名錄中左ノ通追加ス

局 所 名 傳送上用フヘキ局所名

ナ ノ 部 中泉郵便局(遠江)

遠江中泉

中泉電信取扱所(遠江)

鐵中泉

ミ ノ 部 三津郵便局(安藝)

安藝三津

三津郵便局(伊豆)

伊豆三津

○公達第六十一號 一月十八日

通信官署

武藏國京橋富島町郵便電信受取所ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一電報取扱時間 第二種

但シ時間外ノ取扱ヲ爲サス

一取扱フヘキ電報 内國歐文電報及内外國和文電報

但シ著信電報ハ同所ヲ肩書シタルモノ及留置ト爲スモノノ外取扱ハス

○公達第六十二號 一月十八日

通信官署

武藏國本所柳島町郵便電信受取所ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一電報取扱時間 第二種

但シ時間外ノ取扱ヲ爲サス

一取扱フヘキ電報 内國和文電報

但シ著信電報ハ同所ヲ肩書シタルモノ及留置ト爲スモノノ外取扱ハス

○公達第六十三號 一月十八日

通信官署

本月二十一日ヨリ左ノ通電信回線ヲ新設ス

線 名 接 續 局 所

嚴原 竹敷線 嚴原 竹敷

高松東濱町線 高松 東濱町受取所

湯田中澁線 湯田中 澁受取所

東京富島町線 東京交換 富島町受取所

公達 第六十二號第六十三號

五百六十九

○公達第六十四號 一月十八日

本月二十一日ヨリ左ノ通電信回線ヲ變更ス

線 名 接 續 局 所

嚴原佐須奈線 嚴原 鷄知 小船越 佐須

久慈早町線 久慈 名瀬 赤木名 灣村

本所柳島町線 本所 綠町受取所 柳島町同

靜岡笠井線 靜岡 掛川 袋井 見附

沼津三津線 沼津 濱松 笠井

○公達第六十五號 一月十八日

本月二十六日ヨリ左ノ通電信回線ヲ新設ス

線 名 接 續 局

戸田土肥線 戸田 土肥

接 續 方 法

嚴原佐須奈線ニ小船越ヲ接續ス

久慈早町線ニ灣村ヲ接續ス

綠町柳島町間増設線ヲ本所綠町線ニ接續

在來靜岡笠井線ニ中泉ヲ接續

江ノ浦三津間新設線ヲ沼津江ノ浦線ニ接續

通信官署

通信官署

○公達第六十六號 一月十八日

竹敷郵便局外九局所發著電報ノ中繼順路左ノ通相定ム

電 報 往 復 局 所

自竹敷

至各局所

自小船越

至各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

自東濱町受取所(讚岐)

至各局所

自灣村

至各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

自澁受取所

至各局所

自富島町受取所

入船町受取所 西町同上 大島同上

綠町受取所 中ノ郷元町同上 向島須崎町同上 柳島町同上

黒船町受取所 吉野町同上 新吉原同上

中繼局所

嚴原

嚴原

高松

久慈大隅

湯田中

深川武藏

本所

淺草

通信官署

上根岸受取所
 三崎町受取所 宮永町同上 巢鴨町同上 上富士前町同上
 水道町受取所 原町同上 馬場下町同上 早稻田同上
 一ツ木町受取所 目黒同上
 六本木町受取所
 田島町受取所
 濱松町受取所
 櫻田受取所 柴井町同上
 三番町受取所 神田橋同上
 飯田町取接所 牛込同上 市ヶ谷同上 四谷同上 信濃町同上 立川同上
 國分寺同上
 中野相模 上溝 町田 川和 石川町受取所 戸部町同上 初音
 町同上 内田町同上
 八幡上總 久留里 湊上總 保田安房 勝山同上 那古 大多喜 木
 下 佐貫 五井受取所
 其他各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)
 自 柳島町受取所
 至 各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)
 自 中泉

下谷
 駒込
 牛込
 青山
 麻布
 三田武蔵
 赤羽
 新橋
 飯田町
 四谷
 横濱武蔵
 千葉
 東京
 本所

至 岡崎 氣賀 濱松取接所 天龍川同上 中泉同上 袋井同上
 (其他各局所(直通ノ箇所ヲ除ク))
 自 三津
 至 各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)
 自 土肥
 至 各局所
 ○公達第六十七號 一月十八日

濱松
 静岡
 沼津
 戸田

通信官署

本月二十五日ヨリ左ノ通電信回線ヲ變更ス
 線 名 接 續 局 接 續 方 法
 廣島下關一 番線 廣島 岩國 柳井 徳山 玖珂柳井間増設環線ヲ在來廣島下關一 番線ニ接續
 三田尻 山口 下關
 ○公達第六十八號 一月十八日

通信官署
 本月二十五日ヨリ左ノ通電報中繼順路ヲ改定ス
 自 柳井 電 報 往 復 局 所 中繼局

安下庄 平野周防
 湯田町受取所
 至(西海道(門司ヲ除ク) 長門 琉球 臺灣 海外各局所 小郡
 阿知須 秋穂 津和野 益田 三隅 高津受取所
 其他各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)
 ○公達第六十九號 一月十九日

久賀
 山口周防
 下關
 廣島安藝

通信官署

本月二十日ヨリ左ノ郵便受取所ヲ設置シ郵便貯金事務ヲモ併セ取扱ハシム
 右郵便受取所ニ於テハ特ニ郵便物集配事務ヲ取扱ハシム

名 稱	位 置	所轄局
平澤郵便受取所	韓國平澤(京釜鐵道)	京城郵便局
鳥致院郵便受取所	韓國鳥致院(京釜鐵道)	京城郵便局

通信官署

○公達第七十號 一月十九日

甲斐國諏訪郵便局ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一 電報取扱時間 第二種
 一 取扱フヘキ電報 内外和文電報

○公達第七十一號 一月十九日

通信官署

明治二十九年^{十二月}公達第四百七十七號事業用物品規程別冊交付物品種類及制限表中左ノ通改正シ本年四月一日ヨリ施行ス

第一種電信事業用備品ノ部
 大穴螺旋迴ヨリ五分螺旋迴ニ至ル七項及電槽小刀、水進器、丸形張線器、同用鍵、曳線器ノ五項ヲ
 第三種電信事業用備品ノ部ニ組替へ水準器ノ交付制限欄ニ「同上」トアルヲ「電信線路試驗執行地へ
 實際ノ必要ニ應シ交付ス」ト改メ丸形張線器ノ行「丸形」ノ二字ヲ削リ其交付制限欄ニ「同上」トアル
 ヲ「實際ノ必要ニ應シ交付ス」ト改ム

第二種電信事業用備品ノ部
 十箇入電槽ノ一項ヲ第三種電信事業用備品ノ部ニ組替フ

第二種電信事業用消耗品(諸品)ノ部
 甲捻金物ヨリ線名丸札ニ至ル八項ヲ第三種電信事業用消耗品ノ部ニ組替へ無極檢電器覆硝子ノ一項
 ヲ削除ス

第一種電信工事材料ノ部
 品名ノ欄地下線用鐵管類、鹽化亞鉛液ノ二項ヲ削除ス

第一種電話工事材料ノ部
地下線用鑄鐵管ノ一項ヲ削除ス

第一種電氣通信技術傳習生養成用備品ノ部

大穴螺旋迴ヨリ五分螺旋迴ニ至ル七項及電槽小刀ノ一項ヲ第三種電氣通信技術傳習生養成用備品ノ部ニ組替ヘ大穴螺旋迴ノ交付制限欄ニ「同上」トアルヲ「傳習生ヲ養成スル局ニ限リ一局ニ擬以內ヲ交付ス」ト改ム

第二種電氣通信技術傳習生養成用消耗品(諸品)ノ部

甲捻金物ヨリ小筆刷毛ニ至ル六項ヲ第三種電氣通信技術傳習生養成用消耗品ノ部ニ組替ヘ電信器械覆ノ次ニ加フ

第三種電信事業用備品ノ部

品名ノ欄末位ニ「右ノ外第一種、第二種ニ掲ケサル備品」ノ十六字ヲ加ヘ交付制限ニ「實際ノ必要ニ應シテ交付ス」ノ十二字ヲ加フ

○公達第七十二號 一月二十日

通信官署

上野國大間々及下野國小金井ノ兩電信取扱所ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

電信取扱所	電報取扱時間	取扱フヘキ電報	電報直配達區域	上記以外ノ事項
大間々	午前八時ヨリ 午後七時マテ	内國和文	三町以內	電報取扱時間外ノ取扱ヲ爲サス
小金井	同	同	同	同

○公達第七十三號 一月二十日

通信官署

本日ヨリ吳鎮守府内ニ臨時電信取扱所ヲ置キ吳臨時電信取扱所ト稱シ同鎮守府及同府所管各官衙並吳軍港内艦艇ヨリ發シ若ハ之ニ著スル電報ニ限リ之ヲ取扱フ其ノ電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一電報取扱時間 第一種

一取扱フヘキ電報 内外和歐文電報

○公達第七十四號 一月二十日

通信官署

本月二十六日ヨリ左ノ通電信回線ヲ新設ス

線名	接續局所
日下部諏訪線	日下部 諏訪
七尾停車場線	七尾 七尾取扱所

公達 第七十三號第七十四號

五百七十七

○公達第七十五號 一月二十日

甲斐國諏訪郵便局外七所發著電報ノ中繼順路左ノ通相定ム

電 報 往 復 局 所

中繼局所
目下部

通信官署

自諏訪

至各局所

自大間々取扱所

至前橋 伊勢崎 大間々 桐生 足利

其他各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

自小金井取扱所

下野國(富山取扱所 足利同上 小俣同上 小山同上 間々田同上 除ク)各局所 館林 結城 下館 眞壁 笠間

富山取扱所(下野) 足利同上 小俣同上 桐生同上 大間々同上 前橋同上

高崎同上 倉賀野同上 新町同上 磯部同上 横川同上(上野) 輕井

澤同上 間々田同上 蓮田同上 結城同上 下館同上 岩瀬同上 笠間同上

友部同上 水戸同上 高濱同上 下孫同上 助川同上 川尻同上 磯

原同上 經同上 土浦同上

宇都宮取扱所

桐生取扱所
前橋取扱所
高崎取扱所

小山取扱所(下野)

上尾取扱所 桶川同上 鴻ノ巣同上 吹上同上 嵐同上 赤羽同上 王子

其他各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

自大門取扱所

至各局所

自横川取扱所(安藝)

至各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

自嘉川取扱所

至各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

自埴生取扱所

至各局所

自七尾取扱所

至各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

自七尾取扱所

至各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

○公達第七十六號 一月二十日

本月二十一日ヨリ左ノ通電報中繼順路ヲ改定ス

電 報 往 復 局 所

自石橋取扱所

自石橋取扱所

大宮取扱所

上野取扱所

笠岡取扱所

廣島取扱所

三田尻取扱所

厚狹取扱所

七尾

通信官署

中繼局所

下野國(富山取扱所 足利同上 小俣同上 小山同上 間々田同上)
 除夕(各局所 館林 結城 下館 眞壁 笠間)
 富山取扱所(下野) 足利同上 小俣同上 桐生同上 大間々同上 前橋同上
 上 高崎同上 倉賀野同上 新町同上 磯部同上 横川同上(上野) 輕井澤同上
 上 間々田同上 蓮田同上 結城同上 下館同上 岩瀬同上 等間同上
 上 友部同上 水戸同上 高濱同上 土浦同上 下孫同上 助川同上
 上 尻同上 磯原同上 綴同上
 上 尾取扱所 桶川同上 鴻ノ巣同上 吹上同上 蕨同上 赤羽同上 王子
 同上

宇都宮取扱所

小山取扱所(下野)

大宮取扱所

上野取扱所

○公達第七十七號 一月二十一日

通信官署

左ノ通電信線經過地ヲ變更ス

線名 經過地名
 大阪廣島線 兵庫 加古川 姫路 和氣 岡山 尾道 西條
 大阪大分線 池田 三田 社 北條 辻川 安志 佐用 津山 勝山 新見 東城 庄原
 三次 廣島 玖珂 三田尻 小郡 長府 下關

○公達第七十八號 一月二十一日

通信官署

長門國地生、備後國大門、安藝國横川、周防國嘉川各電信取扱所ニ於ケル電報ノ取扱ニ關スル制限
 左ノ通定ム

電信取扱所名	電報取扱時間	取扱フヘキ電報	電報直配送區域	上記以外ノ事項
地生	午前七時ヨリ 午後八時マテ	内國和文電報	十八町以内	別使及解船配達ヲ爲サス
大門	同上	同上	同上	同上
横川	同上	同上	同上	同上
嘉川	同上	同上	十八町以内	著信電報ハ横川鐵道停車場ヲ 肩書スルモノ及留置ト爲スモ ノ、外取扱ハス 別使及解船配達ヲ爲サス

○公達第七十九號 一月二十一日

通信官署

明治三十四年八月公達第四百八十六號傳送上特別ノ名稱ヲ用フヘキ電信局所名錄中左ノ通追加シ本月
 二十六日ヨリ施行ス

局所名	傳送上用フヘキ局所名
大門電信取扱所(備後)	鐵 大門
大門郵便局(越中)	越中 大門
横川電信取扱所(安藝)	安藝 横川

○公達第八十號 一月二十一日

明治三十六年度歲出科目左記ノ通増設ス
經常部遞信費ノ款修繕費ノ項末位ニ左ノ目

横濱倉庫修繕

○公達第八十一號 一月二十一日

本月三十日ヨリ左ノ通電信回線接続局ヲ變更ス

一福岡熊本線ノ鳥栖ヲ删除ス

一福岡熊本一番線ノ瀬高及ヒ大牟田ヲ删除シ福岡ノ次ニ鳥栖ヲ追加ス

一佐賀熊本一番線柳河ノ次ニ瀬高ヲ追加ス

○公達第八十二號 一月二十一日

本月三十日ヨリ左ノ通電報中繼路ヲ改定ス

自鳥栖

電報往復局所

中繼局所

遞信部内一般

通信官署

通信官署

豐前 豐後(竹田 久住ヲ除ク) 筑前 筑後(久留米取所)

渡瀬同上 城島 若津 柳河 沖端取所 瀬高 大牟田及直通

ノ箇所ヲ除ク) 各局所 濱崎

至 久留米取所 渡瀬同上

讚岐 阿波 土佐 伊豫 肥後(小天 伊倉取所ヲ除ク)

日向 大隅 薩摩 琉球 臺灣各局所 福良 市村 湊濱

竹田 久住

其他各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

自瀬高

讚岐 阿波 土佐 伊豫 肥後(小天 伊倉取所ヲ除ク)

日向 大隅 薩摩 琉球 臺灣各局所 福良 市村 湊濱

路一竹田 久住

城島 諸富 神崎 江見 鳥栖 春日 牛津 小田肥前 北方

同上武雄 嬉野 鹽田 鹿島肥前 戸ヶ里 多良 濱取所

六角同上 小城 別府肥前 多久 相知 唐津 有浦 呼子

至 德須惠 伊萬里 楠久 今福 志佐 有田 早岐 佐世保

道祖元町取所 田代取所 鳥栖同上 中原同上 佐賀同上 久保田

同上 北方同上 三間坂同上有田同上 佐世保同上 勘原同上 嚴木

福岡筑前

高瀬

久留米

熊本

熊本

佐賀

佐賀

熊本

熊本

佐賀

佐賀

佐賀

佐賀

佐賀

佐賀

佐賀

佐賀

佐賀

同上 妙見同上

久留米取扱所 渡瀬同上

沖端受取所

其他各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

○公達第八十三號 一月二十二日

明治三十年九月公達第五百八十二號第十一條第二項ヲ左ノ通改正シ本日ヨリ施行ス

前項ノ電報傳送停止ノ指揮ヲ受ケタルトキハ發著及中繼信ハ其餘白ニ又件名表ハ其摘要欄内ニ

「經伺ノ上傳送停止」ト記載シ一般電報ト同シク整理スヘシ又傳送スヘキ指揮ヲ受ケタルトキハ

「傳送方本省ヘ伺濟」ト局内心得ヲ添付シ傳送スヘシ

萬國電信條約綱第七條若ハ第八條ニ據リ電報傳送停止ノ指揮ヲ受ケタルトキハ直ニ其旨ヲ發信人

ニ通知スヘシ但シ中繼局若ハ著信局ニ於テ停止ノ指揮ヲ受ケタルトキハ其電報内地ノ發信ナルカ

又ハ在韓本邦局所ノ發信ナルトキハ其旨發信局ニ通知シ外國局發ノモノハ本省ヨリ通知スルモノ

トス

○公達第八十四號 一月二十二日

能登國七尾電信取扱所ニ於ケル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

通信官署

久留米

柳河

福岡筑前

通信官署

一電報取扱時間

自三月一日至十月三十一日 午前六時ヨリ午後九時マテ

自十一月一日至二月末日 午前七時ヨリ午後九時マテ

一取扱フヘキ電報 内國和文電報

一電報直配達區域 九町以内 但七尾町ニ屬スル分ヲ除ク

一上記以外ノ事項 時間外ノ取扱ヲ爲サス

○公達第八十五號 一月二十二日

通信官署

明治三十四年八月公達第四百八十六號傳送上特別ノ名稱ヲ用フヘキ電信局所名錄中左ノ通追加ス

局 所 名 傳送上用フヘキ局所名

ナ ノ 部 七尾郵便局 (能登)

七尾電信取扱所 (能登) 能登七尾

○公達第八十六號 一月二十三日 鐵 七尾

通信官署

近江國多賀電信受取所ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一電報取扱時間 第二種

公達 第八十五號 第八十六號

五百八十五

一取扱フヘキ電報 内國和文電報

但著信電報ハ同受取所ヲ肩書スルモノ及留置ト爲スモノノ外取扱ハス

○公達第八十七號 一月二十三日

通信官署

近江國武佐郵便局ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一電報取扱時間 第二種

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○公達第八十八號 一月二十三日

通信官署

肥後國魚貫郵便局ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一電報取扱時間 第二種

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○公達第八十九號 一月二十三日

通信官署

攝津國大阪富島電信受取所ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一電報取扱時間 第二種

一取扱フヘキ電報 内外和文電報及内國歐文電報

但著信電報ハ同受取所ヲ肩書スルモノ及留置トナスモノノ外取扱ハス

一時間外ノ取扱ヲ爲サス

○公達第九十號 一月二十三日

通信官署

本月二十五日ヨリ左ノ通電信回線ヲ新設ス

線 名 接 續 局 所

高宮 多賀 線 高宮 多賀受取所

○公達第九十一號 一月二十三日

通信官署

本月二十六日ヨリ左ノ通電信回線ヲ變更ス

線 名 接 續 局

京都 八幡 線 京都 大津 瀬田 草津

江頭 武佐 線 江頭 八幡 武佐

○公達第九十二號 一月二十三日

通信官署

接 續 方 法
京都江頭線ノ京都八幡間線ヲ該間ノ回線トス
京都江頭線ノ八幡江頭間線ヲ八幡武佐間増設線ニ
聯結

近江國武佐郵便局及同國多賀電信受取所發著電報ノ中繼順路左ノ通相定ム

自武佐
 至各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)
 自多賀受取所
 至各局所

中繼局
 八幡近江
 高宮

○公達第九十三號 一月二十三日

通信官署

本月二十六日ヨリ左ノ通電報中繼順路ヲ改定ス

自江頭
 至各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

中繼局
 八幡近江

○公達第九十四號 一月二十三日

通信官署

本月二十六日ヨリ左ノ通電信回線ヲ新設ス

線名 接續局所
 大阪 富島線 大阪交換 富島受取所

○公達第九十五號 一月二十三日

通信官署

富島電信受取所發著電報ノ中繼順路左ノ通相定ム

自富島受取所
 電報往復局所

中繼局所

菅谷受取所 水木通同上 岩屋 假屋 郡家淡路 志筑 二見播磨
 中村同上 小野同上 瀧野 三木 兵庫取扱所 神戸同上 鹽屋同上
 舞子同上 垂水同上 大久保同上 荒田受取所

運河受取所
 三軒家受取所
 天満市場受取所
 大濱受取所

兵庫
 堀江
 天満
 境

至近江(大津 彦根 長濱ヲ除ク) 丹後(東舞鶴 西舞鶴 餘
 部受取所ヲ除ク)各局所 淀 八幡山城 田邊同上 七條取扱所 木
 幡同上 長池同上 新田同上(山城) 玉水同上 山科同上 稻荷同上 丹波
 口同上 二條同上 花園同上 嵯峨同上 八木同上 龜岡 周山 園部
 板橋丹波須知 綾部 向日町 荒神口 堀川佛光寺受取所 下
 立賣堀川同上 祇園町同上 三條廣道同上 熊川

京都

公達 第九十五號

五百八十九

公達 第九十六號乃至第九十八號

五百九十

大和(郡山 龍田 王寺取掛所 下田同上 吉野口同上 五條 高田 長尾 浦向ヲ除ク)各局所
其他各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

奈良
大阪

○公達第九十六號 一月二十三日

通信官署

來二月一日ヨリ左ノ通信同線ヲ變更ス

線 名 接 續 局 所 接 續 方 法

熊本魚貫線 熊本 三角 登立 町山口 牛深魚貫間新設線ヲ熊本牛深線ニ接續ス
崎津 牛深 魚貫

○公達第九十七號 一月二十三日

通信官署

魚貫郵便局發着電報ノ中繼順路左ノ通相定ム

電 報 往 復 局 所 中繼局所

自魚貫

至(御領 町山口 熊本
其他各局所(直通ノ箇所ヲ除ク))

町山口
熊本

○公達第九十八號 一月二十三日

在外局

在外局臨時使役現業備人報告方ニ關シテハ客年四月公達第四百十八號ヲ準用ス
○公達第九十九號 一月二十三日

通信官署

明治三十三年九月公達第四百六十四號不能還付郵便物取扱手續中左ノ通改正シ本日ヨリ施行ス
第二條ヲ左ノ通改ム

送達ノ途ナキ郵便物ハ之ヲ自局ニ保管シ有價物件在中ノモノニ限り毎月ノ取扱數ヲ附録第三號樣式ニ依リ通信局ニ報告スヘシ

附録第三號ヲ廢シ附録第四號ヲ第三號ニ繰上ク

○公達第一百號 一月二十三日

通信官署

本月二十日ヨリ左ノ通信同線ヲ變更ス

線 名 接 續 局 所 接 續 方 法

大阪 吳 線 大阪 神戸 吳 吳取扱所 吳局吳取扱所間新設線ヲ在來大阪吳線ニ聯結

○公達第一百一號 一月二十六日

通信官署

大隅國末吉郵便局ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

公達 第九十九號乃至第一百一號

五百九十二

一 電報取扱時間 第二種

一 取扱フヘキ電報 内外和文電報

○公達第百二號 一月二十六日

通信官署

來二月一日ヨリ左ノ通電信回線ヲ變更ス

線 名 接續局所

接續方法

庄内末吉線 庄内 都城 末吉

都城末吉間新設線ヲ都城庄内線ニ接續ス

○公達第百三號 一月二十六日

通信官署

末吉郵便局發著電報ノ中繼路左ノ通相定ム

電報往復局所

中繼局所

自末吉 至各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

都城

○公達第百四號 一月二十七日

通信官署

明治三十五年五月 公達第百三十五號別冊郵便行箋規程第七條別表中主管局名欄ノ「下ノ關」ヲ「細江」

ニ改正シ本日ヨリ施行ス

○公達第百五號 一月二十八日

通信官署

本日ヨリ左ノ通電信回線ヲ新設シ、東京丸之内線ヲ東京丸之内一番線ト改稱ス

線 名 接續局

東京丸之内二番線 東京交換丸之内

○公達第百六號 一月二十八日

通信官署

來二月一日ヨリ陸奥國宇田郵便電信受取所ニ於テ解船配達電報ノ取扱ヲ爲ス

○公達第百七號 一月二十九日

通信官署

駿河國江尻郵便局ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一 電報取扱時間 第二種

一 取扱フヘキ電報 内外和文電報

○公達第百八號 一月二十九日

通信官署

駿河國入山瀬電信受取所ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通相定ム

一電報取扱時間 第二種

一取扱フヘキ電報 内國和文電報

但著信電報ハ同受取所ヲ肩書スルモノ及留置ト爲スモノノ外取扱ハス

○公達第百九號 一月二十九日

通信官署

讃岐國辻村郵便局ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一電報取扱時間 第二種

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○公達第百十號 一月二十九日

通信官署

薩摩國顯姓郵便局ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一電報取扱時間 第二種

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○公達第百十一號 一月二十九日

通信官署

來二月一日ヨリ左ノ通電信回線ヲ新設ス

線 名 接 續 局 所

吉原 入山瀬線 吉原 入山瀬受取所

○公達第百十二號 一月二十九日

通信官署

來二月二日ヨリ静岡大宮線接續局中清水ノ次ニ江尻ヲ追加ス

○公達第百十三號 一月二十九日

通信官署

來二月十一日ヨリ左ノ通電信回線ヲ變更ス

線 名 接 續 局 所

雲原 額田線 雲原 福知山 額田

福知山雲原間ヨリ額田迄新設線ヲ福知山雲原線ニ
聯結

○公達第百十四號 一月二十九日

通信官署

來二月六日ヨリ左ノ通電信回線ヲ新設ス

線 名 接 續 局 所

觀音寺辻村線 觀音寺 辻村

公達 第百十二號乃至第百十四號

○公達第百十五號 一月二十九日

通信官署

來二月六日ヨリ左ノ通電信回線ヲ變更ス

線名	接續局所	接續方	法
穎娃指宿湊線	穎娃指宿指宿湊受取所	指宿穎娃間新設線	指宿湊線ニ接續ス

○公達第百十六號 一月二十九日

通信官署

穎娃郵便局外四局所發著電報ノ中繼順路左ノ通相定ム

電報往復局所

中繼局所

自穎娃

指宿

至各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

自辻村

至各局所

自額田

至各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

自入山瀬受取所

至各局所

吉原

福知山

觀音寺

自江尻

至(入山瀬受取所

(其他各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

吉原

○公達第百十七號 一月二十九日

通信官署

明治三十年三月公達第百二十五號郵便夫採用規則第二條第一號中「滿二十年以上」トアルヲ「滿十六年以上」ト改ム

○公達第百十八號 一月二十九日

遞信部内一般

明治三十六年四月公達第四百四十二號遞信省所管官有財産取扱規程中左ノ通改正ス

第四條第二項中保管ヲ保守ト改ム

第二十二條第一項中交換又ハ寄附ヲ買收ト改メ但書ヲ削ル

第二十六條第二項ヲ削除ス

第三十二條ヲ左ノ如ク改ム

第三十二條 郵局長ハ官有財産ノ新築増築改築移轉又ハ模様替工事ノ如キ原形ニ變更ヲ來ス修理ヲ加ヘントスルトキハ仕様書及圖面ヲ添ヘ遞信大至ニ稟請スヘシ

官有財産ノ原形ニ變更ヲ來ササル修理ヲ加フルトキハ部局長限リ之ヲ處理スヘシ

第一項中模樣替工事ノ如キ又ハ前項規定ノ修理ハ之ヲ官有財産ノ増減及異動ト認メス

一等郵便局長ノ保管スル電信電話線ノ修理ハ通信局長ノ指示スル所ニ依ルヘシ
第三十七條第一項第二項ヲ左ノ各項ニ改ム

部局長ハ每會計年度間ニ於ケル官有財産ノ増減異動及貸付増減ヲ調査シ翌年度四月三十日迄ニ遞信大臣ニ報告スヘシ

前項官有財産ノ増減異動報告書ハ圖面ヲ添付スルヲ要ス但鐵道作業局ハ此限ニアラス

前二項ノ報告ハ其年度間ニ増減異動ナキモノモ本條第一項ノ期間内ニ其旨ヲ報告スヘシ

官有財産(總原簿)記入例船舶ノ部第一號及官有財産明細目錄船舶樣式備考第一號ニ左ノ但書ヲ追加ス

但總噸數二十噸以上ヲ蒸汽船トシ總噸數二十噸未満ヲ小蒸汽船トス

官有財産明細目錄營造物(電信及電話線路)樣式備考中第五號陸上電話線ノ上ニ陸上電信線ノ五字ヲ加フ

官有財産統計表船舶樣式備考第一號ヲ總噸數二十噸以上ヲ蒸汽船トシ總噸數二十噸未満ヲ小蒸汽船ト改メ第一號第二號ヲ順次繰下ケ第二號第三號トス

○公達第百十九號 一月二十九日

通信官署

來二月一日ヨリ丹後國餘部郵便電信受取所ニ於テ左記ノ場所ニ宛タル電報ノ直配達ヲ取扱フ

餘部町一圓

○公達第百二十號 一月二十九日

通信官署

來二月一日ヨリ陸奥國富田町郵便電信受取所ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一電報取扱時間 第一種

一電報直配達區域 富田町及堀越村大字取上

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○公達第百二十一號 二月一日

通信官署

丹波國額田郵便局ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一電報取扱時間 第二種

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○公達第百二十二號 二月一日

通信官署

筑後國分郵便電信受取所ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一 電報取扱時間 第二種

但シ時間外ノ取扱ヲ爲サス
一 取扱フヘキ電報 内國和文電報
但シ著信電報ハ同所ヲ肩書スルモノ及留置ト爲スモノノ外取扱ハス

○公達第二百二十三號 二月一日

通信官署

明治三十四年ハ公達第四百八十六號傳送上特別ノ名稱ヲ用フヘキ電信局所名録中左ノ通追加ス

コノ 部 國分郵便電信受取所(筑後)
局 所 名 傳送上用フヘキ局所名
筑後國分

通信官署

○公達第二百二十四號 二月一日

本日ヨリ左ノ通電信回線ヲ變更ス

線 名 接 續 局 所 接 續 方 法
久留米國分線 久留米取扱所 久留米 國分 久留米國分受取所間増設線ヲ久留米停車場線ニ接
續ス

通信官署

○公達第二百二十五號 二月一日

國分郵便電信受取所發著電報ノ中繼順路左ノ通相定ム

自 國分受取所 電 報 往 復 局 所 中繼局所

至 渡瀬取扱所

(其他各局所(直通ノ箇所ヲ除ク))

久留米取扱所
久留米

遞信部内一般

○公達第二百二十六號 二月一日

明治三十六年度歳出科目左記ノ通増設ス

經常部遞信費ノ款修繕費ノ項末位ニ左ノ目

長崎郵便局舎修繕

臨時部營繕費ノ款新營繕費ノ項末位ニ左ノ各目

下谷郵便局増築

京城郵便局付屬舎新營

尾道郵便局付屬舎改築

同款修繕費ノ項末位ニ左ノ目

下谷郵便局修繕

○公達第二百二十七號 二月二日

本月四日ヨリ左ノ通電報中繼順路ヲ改定ス

電 報 往 復 局 所

自新田取扱所(山城)

至各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

中繼局所

七條取扱所

通信官署

○公達第二百二十八號 二月三日

遞信部内一般

明治三十六年度歳出科目左記ノ通増設ス

臨時部管繕費ノ款修繕費ノ項末位ニ左ノ目

郵便爲替貯金管理所修繕

○公達第二百二十九號 二月四日

通信官署

越後國鹽澤電信受取所ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一電報取扱時間 第二種

一取扱フヘキ電報 内國和文電報

但シ著信電報ハ同所ヲ肩書スルモノ及留置ト爲スモノノ外取扱ハス

○公達第二百三十號 二月四日

通信官署

信濃國駒場郵便局ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一電報取扱時間 第二種

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○公達第二百三十一號 二月四日

通信官署

本月十一日ヨリ左ノ通電信回線ヲ新設ス

線 名 接 續 局 所

六日町鹽澤線 六日町 鹽澤受取所

○公達第二百三十二號 二月四日

通信官署

本月十一日ヨリ左ノ通電信回線ヲ新設ス

線 名 接 續 局 所

名古屋飯田線 名古屋 舉母 足助 稻橋

駒場 飯田

瀬戸 岩村線 瀬戸 名古屋 勝川 多治

瀬戸飯田線ノ名古屋飯田間線ヲ該間ノ回線トス

接 續 方 法

瀬戸飯田線ノ名古屋瀬戸間線ヲ名古屋岩村線ニ聯

結

○公達第三百三十三號 二月四日

駒場郵便局外一所發着電報ノ中繼順路左ノ通相定ム

自駒場 電報 往復 局所 中繼局

至 下川路 阿島 伊那

其他各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

自鹽澤受取所

至各局所

飯田信濃
名古屋
六日町

○公達第三百三十四號 二月四日

本月十一日ヨリ左ノ通電報中繼順路ヲ改定ス

自瀨戶尾張

至各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

○公達第三百三十五號 二月五日

名古屋
中繼局

通信官署

通信官署

本月六日ヨリ左ノ通電信回線ヲ變更ス

線名 接續 局

東京川越二番線

東京 中野 布田 田無
府中 所澤 川越

中野田無間ヨリ布田迄新設ノ環線ヲ在來東京川越
二番線ニ聯結

○公達第三百三十六號 二月五日

本月十一日ヨリ左ノ通電信回線ヲ變更ス

線名 接續 局

右左口切石線

右左口 甲府 市川 大門
小笠原 皷澤 岩間 切石

甲府右左口間新設線ヲ甲府切石線ニ聯結

○公達第三百三十七號 二月五日

布田右左口ノ兩郵便局發着電報ノ中繼順路左ノ通相定ム

自布田 電報 往復 局所 中繼局

至 入間川取接所

其他各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

自右左口

至各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

川越
東京
甲府

通信官署

中繼局

○公達第三百二十八號 二月五日

武藏國布田郵便局ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一電報取扱時間 第二種

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○公達第三百二十九號 二月五日

甲斐國右左口郵便局ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一電報取扱時間 第二種

一取扱フヘキ電報 内外和歐文電報

○公達第四百十號 二月五日

甲斐國市川大門郵便局ニ於テハ本月十日限り歐文電報ノ取扱ヲ爲サス

○公達第四百一十一號 二月六日

軍事郵便取扱規程左ノ通相定ム

通信官署

通信官署

通信官署

通信官署

軍事郵便取扱規程

第一條 本規程ハ普通郵便局ニ於ケル軍事郵便物ノ取扱方ヲ規定スルモノトス但シ本規程ニ別段ノ定メナキ事項ニ付テハ普通郵便ニ關スル規程ニ準シ取扱フヘシ

第二條 軍事郵便物ヲ引受ケタルトキハ其表記及制限等軍事郵便ノ規定ニ適合セルヤ否ヤヲ検査シ其ノ成規ニ違反セルモノハ差出人ニ還附スヘシ

第三條 戦地若ハ之ニ準スヘキ地ニ派遣スル軍隊、軍艦、水雷艇、軍術、軍人及軍屬等ヨリ發スル無料軍事郵便物ハ各軍隊、軍艦、軍術等ニ於テ之ヲ取纏メ軍事郵便物タルコトヲ證明シテ差出シタルモノニ限リ之ヲ引受クヘシ

第四條 普通郵便局ト野戰郵便局若ハ艦船郵便所トノ間ニ發着スル軍事郵便物ハ軍事郵便直接交換局ヲ經テ遞送スルモノトス但シ在外普通郵便局ト在外野戰郵便局トノ間ニ發着スル軍事郵便物ニシテ兩局間相互直接遞送ノ途アルトキハ此限ニ在ラス

第五條 戦地若ハ之ニ準スヘキ地ニ宛テ差立ツヘキ軍事郵便物ハ普通郵便物ト區別シ之ヲ公用ト私用トニ別テ更ニ左記各號ニ從ヒ區分シ一般郵便物ト同一ノ方法ニヨリ速達ノ便ヲ計リ軍事郵便直接交換局ニ遞送スヘシ

一、地名ヲ目的トシテ區分シ得ヘキモノハ地名ノ異ナル毎ニ區分把束トス

二、地名ヲ冠セスシテ軍隊、軍艦、水雷艇、軍術ニ宛テ又ハ同上名ヲ肩書シタルモノハ各軍隊、軍艦、水雷艇、軍術毎ニ區分把束トス但シ軍隊宛テノモノハ郵便物ノ多少ニ應シ中隊又ハ大隊等隊名ノ異ナル毎ニ區分把束スヘシ

前項軍事郵便物ニシテ行囊締切トナササル場合ハ各號ノ把束ヲ纏メテ更ニ之ヲ一括トシ差立ツヘシ但シ郵便物少數ナル場合ハ前項ノ區分ヲ爲スヲ要セス單ニ之ヲ一括トシ差立ツヘシ

第六條 軍事郵便物ノ把束ニハ軍事郵便ト記載シタル紙札ヲ添付スヘシ又軍事郵便物ノミヲ納メタル行囊ニハ其票札ニ軍事郵便ノ文字ヲ記載スヘシ但シ公用軍事郵便物ノ把束紙札又ハ行囊ノ票札ニハ公用ノ文字ヲ附記スヘシ

第七條 公用軍事郵便物ハ他ノ郵便物ニ先テ之カ取扱ヲナスヘシ

第八條 軍事郵便直接交換局ハ公用軍事郵便物ト私用軍事郵便物トヲ區別シ更ニ野戰高等郵便部ヨリ送附スル遞送管區表ニヨリ區分差立ノ手續ヲナスヘシ

第九條 軍事郵便直接交換局ニ於テ宛名ノ記載方不完全等ノ爲メ區分不明ナル公用軍事郵便物アルトキハ電報ヲ以テ其遞送先ヲ野戰高等郵便部ニ問合スヘシ若シ其郵便物差立時刻切迫シ問合ノ暇ナキ場合ハ其儘適當ト認ムル局ニ遞送スヘシ又同上ノ私用軍事郵便物アルトキハ其事由ヲ附箋シ野戰高等郵便部ニ送附シ指示ヲ受クヘシ

第十條 軍事郵便直接交換局ニ於テ其地海運官衙ヨリ軍用運送船出港ノ通知ヲ受ケタルトキハ速ニ

差立郵便物ヲ該船ニ遞送シ之ヲ船長又ハ其代理者ニ引渡スヘシ

第十一條 軍用運送船出港地ノ直接交換局ハ次ノ入港地直接交換局ニ其船名及出港時刻ヲ電報ヲ以テ通知スヘシ

第十二條 軍用運送船入港地直接交換局ニ於テ前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ豫メ運送船入港時刻ヲ計リ速ニ郵便物受渡ノ手續ヲナスヘシ

第十三條 軍用運送船ニ差立郵便物ヲ引渡ストキハ軍用船舶郵便物搭載簿(附錄樣式)ニ船長又ハ其代理者ノ受領印ヲ受クヘシ

軍用運送船ヨリ郵便物ヲ受取ルトキハ遞送人ヲシテ軍用船舶郵便物陸揚簿ニ受領證印ヲナシムヘシ

第十四條 艦船郵便所ニ發着スル郵便物ヲ受渡スルトキハ第十條乃至第十三條ニ依リ取扱フヘシ

第十五條 戰地若ハ之ニ準スヘキ地ヨリ到着シタル軍事郵便物ハ普通郵便取扱手續ニ依リ遞送若ハ配達スヘシ

第十六條 配達若ハ還附シ能ハサル公用軍事郵便物ハ野戰高等郵便部ニ送附スヘシ

附 則

第十七條 明治二十七年^六月公達第二百四十一號軍事郵便取扱細則、同年^{十二}月公達第四百八十九號郵便物軍用運送船搭載手續及同三十三年^七月公達第三百五十九號野戰郵便物差立手續ハ之ヲ廢止ス

(附錄様式)

軍用郵便物搭載簿											

																						船名	
																							宛局名
																							引渡局名
																							行差數
																							搭載時日
																							船員ノ受領證

○公達第四百四十二號 二月六日

軍事郵便爲替貯金取扱規程左ノ通相定ム

通信官署

軍事郵便爲替貯金取扱規程

第一條 軍事郵便爲替及軍事郵便貯金ハ本規程ニ依リ取扱フヘシ但シ本規程ニ別段ノ定メナキ事項ニ付テハ郵便爲替取扱規程及郵便貯金取扱規程ニ準シ取扱フヘシ

第二條 郵便爲替貯金管理所又ハ同支所ニ於テ野戰郵便局又ハ艦船郵便所ヨリ軍事郵便爲替目録書ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ニ添屬セル爲替振出請求書竝ニ振替送金領收證又ハ其謄本ト對照シ相違ナキヲ確メタル上軍事郵便爲替目録書類到達證(附錄)ヲ式ノ如ク調製シ之ヲ當該野戰郵便局又ハ艦船郵便所ニ送付スヘシ但シ振替送金領收證又ハ其謄本ハ野戰郵便局取扱ノモノニ限り添屬スルモノトス

第三條 前條ノ手續ヲ了シタルトキハ爲替目録書及爲替振出請求書ニ基キ軍事郵便爲替證書ヲ調製シ且爲替振出請求書ノ相當欄ニ日附印ヲ押捺シ證書送達ノ手續ニ依リ之ヲ發送シ爲替目録書ハ爲替金記入帳ニ代用整理スヘシ但シ軍事郵便爲替證書ハ通常爲替證書用紙ヲ使用シ其額表上部ニ「軍事」ノ文字ヲ附記スヘシ

第四條 野戰郵便局ヨリ送付ヲ受ケタル振替送金領收證ハ郵便爲替貯金管理支所ニ在リテハ之ヲ其本所ニ轉送シ本所ハ之ヲ以テ臨時陸軍中央金櫃部ヨリ現金ノ仕拂ヲ受ケ相當計理スヘシ

野戰金櫃部所在地外ニ在ル野戰郵便局ノ取扱ニ係ルモノニシテ振替送金領收證謄本ノ送付ヲ受ケタルモノナルトキハ追テ野戰金櫃部ノ振替送金領收證ノ到達シタルトキ之ト對照シ相違ナキヲ確メタル上前項ノ手續ヲ爲シ謄本ハ適宜保存スヘシ

メタル上前項ノ手續ヲ爲シ謄本ハ適宜保存スヘシ

第五條 野戰郵便局又ハ艦船郵便所ヨリ爲替目録書ト共ニ軍事郵便貯金預入申込書及預入報告書ノ送付ヲ受ケタルトキハ其ノ初葉ノ餘白ニ記載シアル口數、金額及新規人員ヲ各證據書類ニ對照査算シ尙ホ爲替目録書締高ノ下部ニ附記セル金高竝ニ野戰郵便局ノ取扱ニ係ルモノナルトキハ振替送金領收證ノ金額高ニ對照シ相違ナキヲ確メタル上爲替目録書類到達證ニ相當事項ヲ記入シ預入申込書及預入報告書ハ一般ノ例ニ依リ處理スヘシ

第六條 野戰郵便局又ハ艦船郵便所ヨリ毎月末日ヲ區切り其當月中ノ爲替貯金受拂高ノ報告ヲ受ケタルトキハ關係書類ニ對照査算シ相違ナキヲ確ムヘシ

第七條 各局所ニ於テ軍事郵便爲替差出人ヨリ爲替金拂戻ノ請求ヲ受ケタルトキハ郵便爲替金拂戻請求書用紙ヲ與ヘ式ノ如ク記載調印セシメ尙ホ自局所以外ノ郵便局所ニ於テ其拂渡ヲ受ケントスルモノナルトキハ請求書餘白ニ其局所名ヲ附記シ之ニ爲替證書又ハ受領證書ヲ添ヘ差出サシメ相當調査ノ上之ヲ郵便爲替貯金管理所又ハ同支所ニ廻送スヘシ

第八條 郵便爲替貯金管理所又ハ同支所ニ於テ前條請求書類ノ廻付ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ爲替金未拂ノモノナルトキハ拂戻請求書金額記載ノ下部ニ「拂戻認可」ト記載シ主務者印ヲ押捺シ拂戻金拂渡局所ニ送付スヘシ又爲替金拂渡濟ノモノナルトキハ其旨ヲ請求人ニ通知スヘシ

第九條 各局所ニ於テ前條拂戻認可書ノ送付ヲ受ケタルトキハ爲替貯金事務日誌ニ爲替金額、受取人差出人ノ宿所氏名等ヲ記載シ且認可書ノ餘白ニ日附印ヲ押捺シ認可書ハ之ヲ拂戻請求人ニ送付スヘシ

第十條 拂戻請求人ヨリ前條ノ拂戻認可書ヲ差出シ拂戻金交付ノ請求アリタルトキハ事務日誌ニ記載セル事項ト對照シ一般ノ例ニ依リ取扱フヘシ

第十一條 各局所ニ於テ軍事郵便貯金預ケ人ヨリ野戰郵便局又ハ艦船郵便所ノ交付セル繼續通帳ニ對シ再度通帳交付ノ請求ヲ受ケタルトキハ特ニ其事實ヲ調査シ正當預ケ人タルコトヲ確メタル上一般再度通帳請求ノ手續ニ準シ取扱フヘシ

第十二條 特ニ指定シタル郵便局ニ於テ艦船郵便所ヨリ現金ノ納付ヲ受ケタルトキハ臨時受高トシテ之ヲ計理スヘシ

第十三條 郵便爲替貯金管理所又ハ同支所ニ於テハ常ニ艦船郵便所ニ於ケル受入金ノ納付方ヲ監査スヘシ

(附録様式)

第 號

軍事郵便爲替目録書類到達證

一爲替目録書

通

但第 號分

- 一爲替振出請求書
- 一貯金預入申込書
- 一貯金預入報告書
- 一振替送金領收證

通 通 通 通

此金額

右 年 月 日 書留第

號ヲ以テ到達正ニ受領候也

明治 年 月 日

局 御 中

○公達第四百四十三號 二月八日

通信官署

豊後國浦代郵便局ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一電報取扱時間 第二種

一 取扱フヘキ電報 内外和文電報

○公達第四百四十四號 二月八日

通信官署

豊前國門司白木崎郵便電信受取所ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム
一 電報取扱時間 第二種
一 取扱フヘキ電報 内國和文電報

但シ著信電報ハ同所ヲ肩書スルモノ及留置ト爲スモノノ外取扱ハス
一 時間外ノ取扱ヲ爲サス

○公達第四百十五號 二月八日

通信官署

筑前國若松、天道、長尾各電信取扱所ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

電信取扱所	電報取扱時間	取扱フヘキ電報	電報直配區域	上記以外ノ事項
若松	三月一日ヨリ 自午前六時 十月末日マテ 至午後十時 十二月一日ヨリ 自午前七時 二月末日マテ 至午後十時	内國和文電報		著信電報ハ同所ヲ肩書スルモノ及留置ト爲スモノノ外取扱ハス
天道	午前六時ヨリ午後七時マテ	同	同	時間外ノ取扱ヲ爲サス
長尾	同	同	同	同

○公達第四百四十六號 二月八日

通信官署

明治三十四年八月公達第四百八十六號傳達上特別ノ名稱ヲ用フヘキ電信局所名録中左ノ通追加シ本月十六日ヨリ施行ス

局所名	傳送上用フヘキ局所名
若松電信取扱所(筑前)	鐵 若松
天道電信取扱所(筑前)	鐵 天道
長尾電信取扱所(筑前)	鐵 長尾

○公達第四百四十七號 二月八日

通信官署

明治二十六年八月二公達第五百三十三號電話交換手規則第十七條第二項但書ヲ削除ス

通信官署

明治二十七年八月二公達第四百十九號郵便電信集配監視規程中第一條第二項ヲ左ノ通改ム

一、二等局ニ於ケル爲替金居宅拂モ亦此規程ニ依リ監視員ヲシテ取扱ハシムヘシ

通信官署

○公達第四百四十九號 二月八日

本月十一日ヨリ左ノ通電信回線ヲ新設ス

公達 第四百四十六號乃至第四百四十九號

六百十七

線名 接續局所
 蒲郡 三谷線 蒲郡 三谷受取所
 豐橋 下地町線 豐橋 下地町受取所
 師崎 豐濱線 師崎 豐濱受取所

○公達第五百十號 二月八日

通信官署

本月十一日ヨリ左ノ通電信回線ヲ變更ス

線名 接續局所
 赤須賀 香取線 赤須賀受取所 桑名 香取
 西尾 西幡豆線 西尾 橫須賀受取所 西幡豆
 熱田 津線 熱田 桑名 富田 四日市
 津 四日市線 津 白子 神戸 四日市
 四日市 菰野線 四日市 南町受取所 菰野
 浦代 蒲江線 浦代 佐伯 蒲江
 門司 中津線 門司 白木崎受取所 小倉
 行橋 椎田 八屋 中津

○公達第五百十一號 二月八日

接續方法
 桑名香取線ニ桑名赤須賀間新設線ヲ聯結
 在來西尾西幡豆線ニ橫須賀受取所ヲ接續
 在來熱田津線ノ熱田四日市間線ヲ津菰野線ノ津
 四日市間線ニ聯結
 在來熱田津線ノ津四日市間線ニ津菰野線ノ四日
 市局同取扱所間線ヲ聯結
 津菰野線ノ四日市菰野間線ヲ該間ノ回線トス
 浦代上堅田村(分線地間)増設線ヲ佐伯蒲江線ニ
 接續ス
 門司中津線ニ白木崎受取所ヲ接續ス

本月十六日ヨリ左ノ通電信回線ヲ變更ス

通信官署

線名 接續局所
 福岡 八幡線 福岡 若松 若松取扱所
 福岡 大隈線 福岡 篠栗 飯塚 飯塚取
 扱所 大隈

接續方法
 福岡八幡線ニ若松取扱所ヲ接續ス
 福岡大隈線ニ飯塚取扱所ヲ接續ス

○公達第五百十二號 二月八日

通信官署

浦代郵便局外九所發着電報ノ中繼順路左ノ通相定ム

電報 往復局所
 自浦代 中繼局所
 至各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)
 自白木崎受取所 佐伯
 北方受取所 小倉取扱所 大里同上 會根同上
 宇ノ島取扱所 豐津同上 宮床同上 油須原同上 川崎同上(豊前)
 至香春 後藤寺 後藤寺取扱所 小倉
 今津豊前 四日市同上 長洲同上 宇佐 高田豊後
 其他各局所(直通ノ箇所ヲ除ク) 行橋
 自若松取扱所 門司 中津豊前

福間取扱所 古賀同上 香椎同上 箱崎同上
 大里取扱所 曾根同上
 伊田取扱所 金田同上 小竹同上 幸袋同上 鯉田同上
 長尾取扱所 天道同上
 其他各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)
 自長尾取扱所 天道同上
 至各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)
 自横須賀受取所
 至各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)
 自三谷受取所
 至各局所
 自下地町受取所
 至各局所
 自豊濱受取所
 至各局所
 自赤須賀受取所
 至各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)
 自四日市南町受取所
 至各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

折尾取扱所
 小倉取扱所
 直方取扱所
 飯塚取扱所
 福岡筑前
 飯塚取扱所
 西尾
 蒲郡
 豊橋
 師崎
 桑名
 四日市

○公達第五百五十三號 二月八日

本月十六日ヨリ九州鐵道株式會社所屬飯塚停車場電信取扱所ヲ公衆電報ノ中繼所トシ同所取扱ニ係ル電報ノ中繼順路左ノ通相定ム

通信官署

自飯塚取扱所

中繼局所

伊田取扱所 金田同上 植木同上 中間同上

直方取扱所

大里取扱所 小倉同上 曾根同上 福間同上 古賀同上 香椎同上

折尾取扱所

箱崎同上
 其他各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

福岡筑前

○公達第五百五十四號 二月八日

通信官署

本月十一日ヨリ左ノ通電報中繼順路ヲ改定ス

自神戶伊勢 白子

中繼局所

富田取扱所 桑名同上 彌富同上 蟹江同上 愛知同上 龜山同上

四日市取扱所

至菰野 南町受取所
 其他各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

四日市

自 菰野

至各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

四日市

○公達第百五十五號 二月九日

三河國橫須賀、尾張國豐原各電信受取所ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

通信官署

一 電報取扱時間 第二種

一 取扱フヘキ電報 內國和文電報

○公達第百五十六號 二月九日

但着信電報ハ同所ヲ肩書スルモノ及留置ト爲スモノノ外取扱ハス

通信官署

三河國下地町、同三谷、伊勢國赤須賀、同日市南町各郵便電信受取所ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一 電報取扱時間 第二種

一 取扱フヘキ電報 內國和文電報

○公達第百五十七號 二月九日

但着信電報ハ同所ヲ肩書スルモノ及留置ト爲スモノノ外取扱ハス

通信官署

明治三十四年八月公達第四百八十六號傳達上特別ノ名稱ヲ用フヘキ電信局所名錄中左ノ通追加ス

局 所 名

傳送上用フヘキ局所名

ヨ ノ 部 橫須賀電信受取所(三河)

三河 橫須賀

○公達第百五十八號 二月十日

遞信部内一般

戰時又ハ之ニ準スヘキ場合ニ於テハ外國注文物品購入ノ契約書ニ左ノ趣旨ノ條項ヲ追加スルコトヲ得

一 戰地又ハ之ニ準スヘキ場合ニ於ケル外國注文物品ハ普通海上保險料ノ外戰時保險ヲ附スルカ又

ハ其他ノ方法ニ依ルカ且之ノカ爲最初定メタル請負代金ノ外ニ其費用ノ増加ヲ要スル場合ハ別

ニ契約擔當官吏ト物品供給請負人ト隨時協定スヘキモノトス

○公達第百五十九號 二月十日

通信官署

本月十一日ヨリ丹後國餘部郵便電信受取所ニ於ル電報取扱時間ヲ第一種トス

○公達第百六十號 二月十日

通信官署

本月十五日ヨリ左ノ通電信回線ヲ變更ス

公達 第百五十八號乃至第百六十號

六百二十三

線名	接續局所	接續方法
松本東穂高線	松本取扱所 松本東穂高	松本東穂高間増設線ヲ松本停車場線ニ聯結

○公達第六百六十一號 二月十日

毎年七月一日ヨリ九月三十日ニ至ル期間左ノ通電信回線ヲ變更ス

線名	接續局所	接續方法
松本池田線	松本取扱所 松本東穂高 大町池田町	松本東穂高線ヲ松本池田町線ノ東穂高池田町間線ニ聯結
松本東穂高線	松本 梓 豊科 東穂高	松本池田町線ノ松本東穂高間線ヲ該間ノ回線トス

○公達第六百六十二號 二月十日

通信官署

本月十五日ヨリ左ノ通電報中繼順路ヲ改定ス

電報往復局所	中繼局所
自東穂高	大町
北城	松本取扱所
至鹽尻取扱所 村井同上 田澤同上 明科同上 西條同上 篠ノ井同上	松本
其他各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)	松本

○公達第六百六十三號 二月十日

毎年七月一日ヨリ九月三十日ニ至ル期間左ノ通電報中繼順路ヲ改定ス

通信官署

電報往復局所	中繼局所
自池田町	大町
北城	松本取扱所
至鹽尻取扱所 村井同上 田澤同上 明科同上 西條同上 篠ノ井同上	松本
其他各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)	松本
自大町	松本取扱所
至鹽尻取扱所 村井同上 田澤同上 明科同上 西條同上 篠ノ井同上	松本
其他各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)	松本
自豊科 梓	松本
至各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)	松本
自松本取扱所	大町
至北城	大町

○公達第六百六十四號 二月十日

通信官署

軍事輸送ニ關シ左記各號ニ該當スル電報ハ電報規則第二條第二項ニ依リ官報トシテ取扱フヘシ
 一 鐵道會社相互間ニ發着スルモノ及鐵道會社ヨリ參謀本部、海軍軍令部、遞信省、陸軍省及海軍省ノ各官憲ヘ宛テ發スルモノ
 二 船舶會社又ハ其ノ所有者ト其ノ支店又ハ其ノ取扱店相互間ニ發着スルモノ及之等ノ者ヨリ前號ノ各官憲ヘ宛テ發スルモノ
 ○公達第六十五號 二月十日

通信官署

本邦各局間、本邦ト在外各局間又ハ在外各局間ニ發着スル郵便物ハ陸海軍軍用運送船ニ搭載スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ本年二月公達第四百四十二號軍事郵便取扱規程第十條乃至第十三條ヲ準用ス
 ○公達第六十六號 二月十日

通信官署

一等局及在外局ニ於テハ自局及管轄區内各局ニ於ケル無料軍事郵便物引受數及同配達數ヲ左記様式ニ據リ毎月取調一等局ハ翌月二十日限リ在外局ハ翌月第一船便ヲ以テ通信局ニ報告スヘシ
 明治三十三年七月公達第三百六十六號ハ之ヲ廢止ス
 何局區内(又ハ何局)軍事郵便物數報告表 何年何月分

府 縣	引				受				配				達			
	公用	私用	公用	私用	公用	私用	公用	私用	公用	私用	公用	私用	公用	私用		

右報告ス

年 月 日

局 長 名

遞信省通信局宛

(注意在外局ノ報告表ニハ府縣欄ヲ要セス)

○公達第六十七號 二月十二日

通信官署

本日ヨリ陸奥國弘前富田町郵便電信受取所ニ於ル電報直配達區域ヲ左ノ通改ム

一 電報直配達區域 弘前市富田町、中津輕郡堀越村大字取立及同郡清水村大字富田

○公達第六十八號 二月十二日

通信官署

左ノ通電信回線ヲ變更シ、東京京都二番線ヲ東京京都線ト改稱ス

線名	接續局	接續方法
東京 岐阜線	東京 橫濱 岐阜	東京京都一番線ノ東京岐阜間線ヲ該間ノ回線トス
橫濱 京都線	橫濱 名古屋 京都	橫濱名古屋線ニ名古屋岐阜間豫備線及東京京都一番線ノ岐阜京都間線ヲ聯結

○公達第六十九號 二月十二日

通信官署

託送用軍用電信維持料金取扱規程左ノ通定ム

但シ明治三十三年十月公達第五百九十號海軍望樓軍用電信維持料金取扱規程ハ廢止ス

託送用軍用電信維持料金取扱規程

第一條 軍用電線ヲ連接シタル電信事務取扱局ハ其ノ軍用電線ヲ管轄スル師團若ハ鎮守府ヨリ左ノ維持料ヲ受收スヘシ但シ電信事務ヲ取扱フ三等郵便局又ハ電信局ニ連接シタルトキハ管轄一等郵便局ニ於テ之ヲ受收スヘシ

一 電信機 一箇ニ付 年額金百六十圓

一 電話機 一箇ニ付 年額金八十圓

第二條 維持料ハ年額ヲ四分シ左ニ掲タル四期ノ別ニ從ヒ每期ノ初月十日マテニ之ヲ受收スヘシ

第一期 自四月一日 至六月三十日

第二期 自七月一日 至九月三十日

第三期 自十月一日 至十二月三十一日

第四期 自二月一日 至三月三十一日

第三條 一期ノ中途ニ於テ通報ヲ開始スルトキハ其ノ期ノ維持料ハ開始ノ月ヨリ其ノ期ノ未月マテノ月數ヲ年額ニ乘シ之ヲ十二分シテ算出シ通報開始ノ日ヨリ十日マテニ之ヲ受收スヘシ

第四條 一期ノ中途ニ於テ通報ヲ廢止又ハ中止シタルトキト雖モ其ノ期ノ維持料全額ヲ受收スルモノトス

第五條 一期ノ中途ニ於テ機械ノ種類ヲ變更シタルトキト雖モ其ノ一期分ハ變更前ノ割合ヲ以テ維持料ヲ受收スヘシ但シ低額ノ維持料ヲ納ムヘキモノヨリ更ニ高額ノ維持料ヲ納ムヘキモノニ變更シタルトキハ第三條ノ規定ニ準シテ其ノ差額ヲ算出シ變更ノ日ヨリ十日以内ニ受收スヘシ

第六條 連接電信事務取扱局内ニ裝置スル機械及電線其ノ他附屬物品ノ維持料ハ該局ノ電池用物品ハ遞信省ノ負擔トス

○公達第七十號 二月十三日

通信官署

本年ハ公達第四百一十一號軍事郵便取扱規程第四條ニ依リ左記各局ヲ軍事郵便直接交換局ニ指定ス

廣島郵便局

宇品郵便局

細江郵便局

門司郵便局

佐世保郵便局

○公達第七十一號 二月十三日

通信官署

十勝國幕別、千島國瀨石各局ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一電報取扱時間 第二種

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○公達第七十二號 二月十三日

通信官署

伊豫國俵津、土佐國才角局ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一電報取扱時間 第二種

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○公達第七十三號 二月十三日

通信官署

本月十六日ヨリ左ノ通電信回線ヲ變更ス

線名	接續局所	接續方法
伊萬里志佐線	伊萬里 楠久 今福 志佐	佐賀呼子線ノ伊萬里楠久間環線ノ一條ニ楠久志佐線ヲ接續ス但シ同環線ノ一條ハ豫備トス
佐賀呼子線	佐賀 伊萬里 德須惠	佐賀呼子線ノ伊萬里楠久間環線ヲ除ク
唐津 呼子		

○公達第七十四號 二月十三日

通信官署

本月十六日ヨリ左ノ通電報中繼順路ヲ改定ス

電報往復局所	中繼局所
自楠久 今福 志佐	伊萬里
至各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)	

○公達第七十五號 二月十三日

通信官署

本月十三日ヨリ陸奥國奥野郵便電信受取所ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通改ム

一電報取扱時間 第一種

一電報直配達區域 筒井村大字筒井同濱田同浦町ノ内字奥野

一取扱フヘキ電報 内國和文電報

○公達第七十六號 二月十三日

遞信部内一般

明治三十六年度歳出科目左記ノ通増設ス
臨時部營繕費ノ款新營繕ノ項末位ニ左ノ目

本省構内官舎増築

○公達第七十七號 二月十三日

本月十六日ヨリ左ノ通電信回線ヲ新設ス

線名 接續局所
卯ノ町俵津線 卯ノ町 俵津

通信官署

○公達第七十八號 二月十三日

本月十六日ヨリ左ノ通電信回線ヲ變更ス

線名 接續局所
劍路帶廣二番線 劍路 洲寒 幕別 帶廣
根室乳吞路線 根室 泊村 瀬石 乳吞路

通信官署

○公達第七十九號 二月十三日

本月二十一日ヨリ左ノ通電信回線ヲ變更ス

接續方法
劍路帶廣二番線ニ幕別ヲ接續ス
根室乳吞路線ニ瀬石ヲ接續ス

通信官署

線名 接續局所
宿毛清水線 宿毛 才角 三崎 清水
高知赤岡線 高知 後免 山田 赤岡
農人町久禮線 農人町受取所 須崎 久禮 高知 高岡
高知下田線 高知 窪川 中村 下田
高知宇和島線 高知 須崎 中村 宿毛

接續方法
宿毛清水線ニ才角ヲ接續ス
高岡赤岡線ノ高知赤岡間線ヲ該間ノ一回線トス
高岡赤岡線ノ高知高岡間線ニ高岡分線柱高岡間
豫備線及同分線柱久禮間増設線ヲ接續之ヲ高知
農人町線ニ聯結ス
高知中村線ニ高知宇和島線ノ下田局環線ノ一條
ヲ接續ス但シ同環線ノ一條ハ豫備トス
高知宇和島線ヨリ下田局環線ヲ除ク

○公達第八十號 二月十三日

幕別郵便局外三局發着電報ノ中繼順路左ノ通相定ム

通信官署

電報往復局所

中繼局所

自幕別
至各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)
自瀬石
至各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)
自俵津
至各局所

劍路
根室
卯ノ町

自才角
至各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

○公達第百八十一號 二月十三日

本月二十一日ヨリ左ノ通電報中繼順路ヲ改定ス

電報 報 往 復 局 所

自下田土佐
至各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

○公達第百八十二號 二月十三日

本日ヨリ丹後國岩瀧郵便局ニ於テ電報取扱時間ヲ第一種トス

○公達第百八十三號 二月十三日

本日ヨリ左ノ通電信回線ヲ變更ス

線 名 接 續 局 所

京都 餘部 線
鶴 部 受取所
大阪 東舞鶴 線
部 受取所 東舞鶴

接 續 方 法

京都東舞鶴線ニ東舞鶴餘部線ヲ接續ス
大阪東舞鶴線ニ餘部受取所ヲ接續ス

宿毛

通信官署

中繼局所

高知

通信官署

通信官署

○公達第百八十四號 二月十三日

本日ヨリ左ノ通電報中繼順路ヲ改定ス

電報 報 往 復 局 所

自餘部受取所

山陽 南海(長島 引本 島勝 尾鷲 木ノ本 二木島ヲ除ク) 西海ノ各道 河内 和泉 攝津(高槻取扱所 茨木同上) 吹田同上 茨木 吹田ヲ除ク) 因幡(岩井 浦富ヲ除ク) 伯耆 出雲 石見 隱岐 琉球 臺灣 海外各局所 加茂取扱所 祝園同上 笠置同上 古市丹波 篠山 福住 谷川取扱所 篠山同上 柏原丹波 龍田 郡山大和 高田同上 長尾同上 五條同上 王寺 取扱所 下田同上 吉野口同上 横須賀相模 深田受取所 横須賀 取扱所 逗子同上 鎌倉同上 大船同上 成松 佐治 雲原 額田 黒井取扱所 福知同上 市島同上 石生同上 小濱若狹 高濱同上

(其他各局所(直通ノ箇所ヲ除ク))

○公達第百八十五號 二月十三日

中繼局所

通信官署

大阪

福知山

東舞鶴

京都

通信官署

帝國外務省ト韓國駐劄帝國公使及領事トノ間又ハ帝國陸海軍官署ト在韓帝國陸海軍官憲トノ間ニ往復スル官報ニシテ「至急」(歐文ハ Urgent)ノ有料指定ヲ附シタルモノハ他ノ官報ニ先チ之ヲ傳送スヘシ

○公達第八十六號 二月十五日

通信官署

美濃國船沼電信受取所ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一 電報取扱時間 第二種

一 取扱フヘキ電報 內國和文電報

但著信電報ハ同所ヲ肩書スルモノ及留置ト爲スモノノ外取扱ハス

○公達第八十七號 二月十五日

通信官署

美濃國墨俣、同船附各郵便局ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一 電報取扱時間 第二種

一 取扱フヘキ電報 内外和文電報

○公達第八十八號 二月十五日

通信官署

本月十八日ヨリ當分ノ内左記測候所、鎮守府及望樓ニ於テハ定期氣象電報ヲ毎日三回發送ス

横須賀、横濱、吳、佐世保、壹岐崎、青森

○公達第八十九號 二月十五日

遞信部内一般

明治三十七年度當省所管歲入歲出科目別冊ノ通相定ム

但別冊ハ別ニ頒之

○公達第九十號 二月十五日

通信官署

明治三十一年^{十二}月 公達第六百五十號外國郵便爲替取扱規程中左ノ通改正ス

一、第十一條第二項但書中「在清國上海本邦局ニ於テハ」トアルヲ「在清國上海及厦門兩本邦局ニ於テハ」ト改メ「在清國厦門本邦局ニ於テハ佛國爲替ノ受拂、獨逸及其媒介爲替、加那大爲替、英國及其媒介爲替及香港及其媒介爲替ノ拂渡ヲ」ヲ削ル

二、第十二條第三項但書中「在清國北京及芝罘兩本邦局ニ於テハ佛國爲替ノ受拂、獨逸及其媒介爲替ノ拂渡ヲ」トアルヲ「在清國北京本邦局ニ於テハ佛國爲替ノ受拂、獨逸及其媒介爲替ノ拂渡ヲ、在清國芝罘本邦局ニ於テハ佛國爲替ノ受拂、獨逸及其媒介爲替及英國及其媒介爲替ノ拂渡ヲ、」ト改ム

○公達第九十一號 二月十六日

通信官署

本月十七日ヨリ左ノ通電信回線ヲ新設ス

公達 第八十九號乃至第九十一號

線名 接續局所
犬山 鷺沼 沼線 犬山 鷺沼受取所

○公達第九十二號 二月十六日

本月二十一日ヨリ左ノ通電信回線ヲ新設ス

線名 接續局
高田 船附線 高田 船附

○公達第九十三號 二月十六日

本月二十一日ヨリ左ノ通電信回線ヲ變更ス

線名 接續局所
岐阜 白鳥線 岐阜 關上 有知 八幡

接續方 法
金山 白鳥線ノ岐阜 白鳥間線ヲ該間ノ回線トス

高富 金山線 高富 岐阜 桐洞 金山

高富間線ニ聯結
金山 白鳥線ノ金山 岐阜間線ヲ高富 掛斐線ノ岐阜

池野 掛斐線 池野 受取所 神戶 岐阜 北

高富 掛斐線ノ岐阜 掛斐間線ヲ岐阜 大垣間 増設線

笠松 高田線 笠松 岐阜 黒保 大垣 取

及 笠松 池野線ノ大垣 池野間線ニ聯結
笠松 池野線ノ笠松 大垣間線ニ桑名 高田線ノ大垣

桑名 大垣線 桑名 岐阜 大垣

高田間線ヲ聯結
桑名 高田線ノ桑名 大垣間線ヲ該間ノ回線トス

通信官署

通信官署

○公達第九十四號 二月十六日

美濃國墨俣郵便局外二局所發著電報ノ中繼順路左ノ通相定ム

通信官署

電報 往復局所

中繼局所

自墨俣

岐阜 取接所 木曾川同上 清洲同上 垂井同上 關ヶ原同上 柏原同上

至

大垣 取接所

船附

高田 美濃

赤阪 受取所

大垣

其他各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

岐阜

自船附

高田 美濃

至各局所

犬山

自鷺沼 受取所

至各局所

○公達第九十五號 二月十六日

本月二十一日ヨリ左ノ通電報中繼順路ヲ改定ス

通信官署

電報 往復局所

中繼局所

自池野受取所 神戸美濃
至各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)
自高田美濃

岐阜取取所 木曾川同上 清洲同上 垂井同上 關ヶ原同上 柏原同上
(近江)長岡(同上) 醒ヶ井同上 米原同上 虎姫同上 中ノ郷同上
至柳ヶ瀬同上
赤阪受取所

大垣取取所
大垣
岐阜

○公達第百九十六號 二月十七日
其他各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

通信官署

本月二十五日ヨリ左ノ通電信回線ヲ變更ス

線名 接續局所
秋田本莊線 秋田取取所 秋田本莊
酒田青森線 酒田 秋田 能代 青森

接續方法
秋田本莊間増設線ヲ秋田停車場線ニ接續ス
酒田青森線ヨリ本莊ヲ除ク

通信官署

本月二十五日ヨリ左ノ通電信中繼順路ヲ改定ス

電報 往復局所

中繼局所

自本莊羽後
松嶺 藤島 大山 鶴岡羽前 加茂同上 温海 湯温海受取所
鼠ヶ關 余目 狩川 清川 新庄 大石田 勝木 村上

酒田

至中條 新發田 葛塚
大久保取取所 五城目同上 森岳同上 能代同上
其他各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

秋田取取所
秋田

自秋田取取所
至矢島

本莊羽後

○公達第百九十八號 二月十七日

通信官署

明治三十四年ハ公達第四百八十六號傳送上特別ノ名稱ヲ用フヘキ電信局所名録中左ノ通追加ス

局所名 傳送上用フヘキ局所名

ハノ部 初瀬郵便局(大和)
長谷郵便電信受取所(相模)

大和初瀬
相模長谷

通信官署

○公達第百九十九號 二月十八日

豊前國安心院筑後國松崎局ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一 電報取扱時間 第二種

一 取扱フヘキ電報 内外和文電報

○公達第二百號 二月十八日

明治三十四年八月公達第四百八十六號傳達上特別ノ名稱ヲ用フヘキ電信局所名錄中左ノ通追加シ來三月一日ヨリ施行ス

マノ 局 所 名
松崎郵便局

傳送上用フヘキ局所名
筑後松崎

○公達第二百一號 二月十八日

通信官署

本月二十一日ヨリ大和國名柄郵便電信受取所ニ於ル電報直配達區域ヲ左ノ通改ム

一 電報直配達區域 九町以内

○公達第二百二號 二月十八日

通信官署

本月二十日ヨリ左ノ通電信回線ヲ變更ス

線 名 接 續 局 所
下關 特 牛 線 下關 小串 特牛 局 所

接 續 方 法
下關角島線ノ下關特牛間線ヲ該間ノ一回線トス

○公達第二百三號 二月十八日

通信官署

本月二十日ヨリ左ノ通電報中繼順路ヲ改定ス

電 報 往 復 局 所
自角島取扱所 至各局所

中繼局所
特牛

○公達第二百四號 二月十八日

通信官署

本月二十六日ヨリ左ノ通電信回線ヲ新設ス

線 名 接 續 局 所
山村平土野線 山村 平土野 局 所

○公達第二百五號 二月十八日

通信官署

來三月一日ヨリ左ノ通電信回線ヲ新設ス

線 名 接 續 局 所
北野松崎線 北野 松崎 局 所
四日市安心院線 四日市 安心院 局 所

公達 第二百三號乃至第二百五號

六百四十三

○公達第二百六號 二月十八日

筑後國松崎郵便局外二局發着電報ノ中繼順路左ノ通定相ム

通信官署

自松崎^{筑後}電報往復局所

中繼局所

至各局所

北野

自安心院

四日市^{豊前}

至各局所

山村

自平土野

至各局所

通信官署

本日ヨリ左ノ郵便受取所ヲ設置シ郵便貯金事務ヲモ取扱ハシム

名 稱 位 置 所 轄 局

草梁郵便受取所 韓國草梁 釜山郵便局

通信官署

○公達第二百八號 二月十九日

本月二十一日ヨリ石狩國近文郵便電信受取所ニ於テ旭川町大字鷹栖村字近文ニ宛タル電報ノ直配達ヲ取扱フ

通信官署

○公達第二百九號 二月十九日

紀伊國大崎電信受取所ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一電報取扱時間 第二種

一取扱フヘキ電報 内國和文電報

一電報直配達區域 大崎村大字大崎浦(字女良ヲ除ク)

一上記以外ノ事項 別使及解船配達ヲ爲サス

通信官署

○公達第二百十號 二月十九日

大和國阪本郵便局ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一電報取扱時間 第二種

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

在外局

○公達第二百十一號 二月十九日

自今明治三十二年五月公達第二百三十二號及同年六月公達第二百八十二號ヲ在外局ニ準用ス

○公達第二百十二號 二月十九日

大隅國平土野郵便局ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

通信官署

一電報取扱時間 第二種

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○公達第二百十三號 二月十九日

本月二十一日ヨリ左ノ通電信回線ヲ變更ス

通信官署

線名 接續局所 接續方法

五條 阪本線 五條取扱所 五條 阪本 五條阪本間新設線ヲ五條停車場線ニ聯結

○公達第二百十四號 二月十九日 通信官署

本月二十一日ヨリ左ノ通電信回線ヲ新設ス

通信官署

線名 接續局所
鹽津大崎線 鹽津 大崎受取所

○公達第二百十五號 二月十九日

大和國阪本郵便局外一所發着電報ノ中繼路左ノ通相定ム

通信官署

自阪本 電報往復局所

中繼局所

至 吉野口取扱所 高野口同上 笠田同上 名手同上

五條取扱所

其他各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

五條大和

自大崎受取所

鹽津

至各局所

○公達第二百十六號 二月二十日

在韓國義州郵便受取所及在清國安東郵便受取所ハ本月五日限り閉鎖ス

通信官署

但同受取所ニ於テ取扱ヒタル從前ノ事務ハ何レモ在韓國鎮南浦郵便局ニ於テ繼續取扱ハシム

○公達第二百十七號 二月二十日

信濃國和田町郵便局ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

通信官署

一電報取扱時間 第二種

一 取扱フヘキ電報 内外和文電報

○公達第二百十八號 二月二十日

播磨國鶴居電信取扱所ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一 電報取扱時間

自午前七時至午後八時

一 時間外ノ取扱ヲ爲サス

一 取扱フヘキ電報

内國和文電報

一 電報直配達區域

十八町以内

一 別使配達ヲ爲サス

○公達第二百十九號 二月二十日

筑前國西戸崎電信取扱所ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一 電報取扱時間

第一種

但シ至急電報ニ限リ時間外ト雖之ヲ取扱フ

一 取扱フヘキ電報

内國和文電報

一 直配達區域

二十七町以内

通信官署

通信官署

一 別使配達區域

志賀島村一圓

一 船配達ヲ取扱フ

○公達第二百二十號 二月二十日

通信官署

郵便、郵便爲替及郵便貯金事務ニ關シ野戰高等郵便長及其ノ隸屬機關相互間竝此等ト一般通信官署

間ニ往復スル電報ハ局報トナスコトヲ得

前項ノ局報ニ關シテハ明治三十一年五月公達二百七十五號及明治三十三年九月公達第四百四十六號局報

發送規程ヲ準用ス

○公達第二百二十一號 二月二十日

通信官署

本月二十一日ヨリ左ノ通電信回線ヲ變更ス

線名	接續局所	接續方法
青森三 厩線	青森 油川 蟹田 根岸	青森三厩線ニ根岸ヲ接續ス

○公達第二百二十二號 二月二十日

通信官署

根岸郵便局發着電報ノ中繼順路左ノ通相定ム

計	小包			
	〃	〃	〃	〃

備考

- 一、本表ハ取者、馬丁及船員ニモ準用ス
- 二、遞送總量目ノ欄ハ往復便ニ在リテハ往便、復便何レカ量目ノ多キ方記載ヲ要ス
- 三、服務時間ノ欄ニハ當日定員外使役人員ノ當便ニ於ケル一人平均服務時間ヲ掲クルモノトス
- 四、其ノ他ハ總テ附録甲ノ備考ニ依ル

第一號表附録丙

(何)局定員外臨時使役(内勤郵便夫)内譯表

通寄小包ノ區別	月日	物數又ハ行遞數		配置人員		服務時間		服務狀況	事	由
		平常	當日	定員	定員外人員	平常	當日			

備考

- 一、本表ハ外勤郵便夫ニ準用ス但シ外勤郵便夫ニ準用スルトキハ月日欄ニ線路名及便名ヲ附記ス
- 二、服務時間平常ノ欄ハ平常ニ於ケル一人平均服務時間ヲ記シ當日ノ欄ハ當日ニ於ケル定員外使役人員ノ一人平均服務時間ヲ記スルモノトス
- 三、其ノ他ハ總テ附録甲ノ備考ニ依ル

左ノ局所ニ於ケル電報取扱時間ヲ第一種トス

下總國佐倉郵便局

武藏國目黒電信受取所

○公達第二百二十八號 二月二十二日

通信官署

來三月一日ヨリ武藏國桶樹郡保土ヶ谷町電話所ニ於テ電話呼出規程第四條ノ取扱ヲ開始ス

○公達第二百二十九號 二月二十二日

通信官署

本月二十六日ヨリ左ノ通電信回線ヲ變更ス

線 名 接 續 局 所 接 續 方 法

松本和田町線—松本 淺間受取所 和田町—松本和田町間新設線ヲ松本淺間線ニ聯結

○公達第二百三十號 二月二十二日

通信官署

來三月一日ヨリ左ノ通電信回線ヲ新設ス

線 名 接 續 局 所

辻川福崎停車場線—辻川 福崎停車場

○公達第二百三十一號 二月二十二日

通信官署

和田町郵便局及鶴居電信取扱所發著電報ノ中繼順路左ノ通相定ム

電 報 往 復 局 所

自和田町

至各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

自鶴居取扱所

至各局所

中繼局所

松本

辻川

○公達第二百三十二號 二月二十三日

通信官署

肥前國宇久島郵便局ニ於ル電報取扱時間ヲ第一種トス

○公達第二百三十三號 二月二十四日

通信官署

郵便行囊規程別冊ノ通相定ム

公達第二百二十三號別冊

郵便行囊規程目次

第一章 總則

第二章 行囊ノ種類及使用方法

第三章 行囊ノ封緘

第四章 行囊ノ整理

第一節 内地局所取扱方

第二節 在外局所取扱方

郵便行囊規程

第一章 總則

第一條 郵便物ノ遞送及取集ニ用フル行囊ノ種類及取扱ニ關シテハ本規程ノ定ムル所ニ依ル但外國行囊ニ關シテハ別ニ之ヲ定ム

第二條 本規程ニ明文ナキモノハ本規程及郵便取扱規程鐵道郵便取扱規程郵便受取所郵便取扱規程ノ精神ニ從ヒ便宜之ヲ處理スヘシ

第三條 行囊ヲ亡失又ハ毀損セシメタルトキハ其ノ情狀ニ依リ當務者ヲシテ其ノ損害ノ全部若クハ一部ヲ辨償セシムルコトアルヘシ

第二章 行囊ノ種類及使用方法

第四條 行囊ヲ別テ小行囊及大行囊ノ二種トシ小行囊ハ郵便物ノ内包ニ用ヒ大行囊ハ郵便物ノ外包ニ用フルモノトス

小行囊ハ別テ左ノ二種トス

一 白行囊

通常郵便物(書留及價格表記ヲ除ク)又ハ小包郵便物(價格表記ヲ除ク)ヲ納ムルモノトス

二 赤行囊

書留若クハ價格表記通常郵便物又ハ價格表記小包郵便物ヲ納ムルモノトス

大行囊ハ別テ左ノ四種トス

一 單行囊

鐵道線路水路又ハ傳送線路ニ依リ遞送スル郵便物及取集小包郵便物ニ限リ之ヲ納ムルモノトス

二 複行囊

通常道路若クハ鐵索線路ニ依リ又ハ通常道路若クハ鐵索線路ト其ノ他ノ線路ヲ通シテ遞送スル郵便物ヲ納ムルモノトス

三 錠行囊

鐵道郵便係員ト郵便局ト相互ノ間ニ又ハ傳送線路ニ依リ遞送スル郵便物ニ限リ之ヲ納ムルモノトス

四 ノトス

長行囊

長形ノ小包郵便物ニシテ前各號ノ行囊ニ納ムル能ハサル場合ニ限リ之ヲ納ムルモノトス

各種行囊(錠行囊ヲ除ク)ハ其ノ大小ニ依リ甲乙二種トシ甲行囊ハ郵便物ヲ乙行囊ニ納ムル能ハサル場合ノ外使用セサルモノトス

行囊ノ形狀ハ附錄第一號圖式ニ依ル

第三章 行囊ノ封緘

第五條 行囊ノ封緘方ハ左ノ四種トス

- 一 封印紙ヲ以テスルモノ
- 二 封蠟ヲ以テスルモノ
- 三 封鉛ヲ以テスルモノ
- 四 錠ヲ以テスルモノ

第六條 前條各號ノ封緘方法ハ附錄第二號圖式ニ依ルヘシ

第四章 行囊ノ整理

第一節 内地局所取扱方

第七條 行囊ノ整理上必要ナル地ニ行囊主管局ヲ置キ更ニ別テ普通主管局及特別主管局トス其局名及主管區域ハ別ニ之ヲ定ム

第八條 普通主管局ハ專ラ其ノ區内ノ各局ニ對シ郵便行囊ノ送受ヲ掌理スルモノトス其ノ事項左ノ如シ

- 一 各局ノ狀況ニ應シ豫メ若クハ隨時區内ノ各局ニ對シ行囊ノ送受方ヲ指定スルコト

一 過超行囊ノ納付遲延ノ局ニ向テハ之カ回收ヲ努ムルコト

一 各局ヨリ送付セル過超行囊ハ相當日限内ニ到達スルヤ否ヤヲ精査シ行囊ノ停滯ヲ防遏スルコト

一 行囊不足ヲ生シタル局ニ對シテハ速ニ其ノ不足數ニ相當スル行囊ヲ送付スルコト

特別主管局ハ區内普通主管局ヨリ送付ノ行囊ヲ別途ニ保管シ其ノ地ニ在ル普通主管局ノ不足行囊ヲ補充シ尙通信局ノ指定ニ依リ隨時之カ送付ヲ爲スモノトス

第九條 各局所ノ行囊常備數ハ別ニ定ムル所ニ依リ監督局長之ヲ定ム

普通主管局ノ行囊常備數ハ別ニ之ヲ定ム

第十條 各局ニ於テハ行囊ノ出納及其内譯ヲ證明スル爲メ行囊出納帳(甲)及行囊出納日報(甲) (附錄第三號 庚辰紙 使用但シ日)ヲ設ケ各遞送便毎ニ定式ノ記入ヲ爲シ「使用行囊日計」欄以下ハ毎日午前中ニ於ケル最終便ノ取扱ヲ完了シタル上定式ノ記入ヲ爲スヘシ

行囊出納日報(甲)ハ當日午後ニ於ケル最初ノ便ヲ以テ之ヲ普通主管局ニ提出スヘシ但特別ノ事情アリト認ムルモノハ監督局ニ於テ適宜日報發送ノ便ヲ指定スルコトヲ得

行囊ノ出納略ホ同ニナルカ或ハ遞送便ノ狀況ニ依リ日々行囊出納日報(甲)ノ提出ヲ要セサルモノト認ムル局ニ對シテハ監督局ハ通信局ノ認可ヲ經テ特ニ調査ノ期日ヲ指定スルコトヲ得

取扱所及受取所ニ於テハ一週ノ内一日間行囊ノ出納ヲ調査シ當日事務ノ終リニ於テ行囊出納報告

(附錄第八號)ヲ調製シ之ヲ監督局ニ提出スヘシ

前項ノ調査ハ各所ニ於テ每週其ノ期日ヲ隨意變更スヘシ

第十一條 各局ニ於テ毎日午前中ニ於ケル最終便ノ取扱ヲ完了シタルトキ常備數ヨリ超過シタル行囊ハ之ヲ過超行囊ト稱ス

過超行囊ハ各局ニ於テハ普通主管局ヨリ他局ニ送付方特ニ指定アル場合ヲ除クノ外遲滞ナク之ヲ所屬普通主管局ニ送付スヘシ

第十二條 普通主管局ハ區内各局ヨリ過超行囊ノ送付ヲ受ケ常備數ヨリ過超シタルトキハ其過超ニ屬スルモノハ特ニ通信局ヨリ指定アル場合ヲ除クノ外常ニ之ヲ所屬特別主管局ニ送付スヘシ

第十三條 特別主管局ハ前條ニヨリ送付ヲ受ケタル行囊ヲ以テ其地ニ在ル普通主管局ニ隨時補充シ其ノ殘餘ハ通信局ヨリ指定アル場合ヲ除クノ外總テ之ヲ自局ニ保管スヘシ

第十四條 普通主管局ハ所管行囊ノ出納ヲ證明スル爲メ行囊出納帳(乙)及行囊出納日報(乙)(附錄第四號炭紙使用但シ日報)ヲ設ケ當日正午現在ニ依リテ定式ノ記入ヲナシ日報ハ即日速ニ一通ハ通信局ニ一通ハ行囊出納日報(甲)ヲ添付シ所屬監督局ニ提出スヘシ

第十五條 特別主管局ハ別途保管行囊ノ出納ヲ證明スル爲メ別途保管行囊出納帳及別途保管行囊出納日報(附錄第五號炭紙使用但シ日報)ヲ設ケ當日正午現在ニヨリテ定式ノ記入ヲ爲シ日報ハ即日速ニ一通ヲ通信局ニ一通ヲ監督局ニ提出スヘシ

第十六條 主管局ニ於テハ第十條第十四條及第十五條ノ日報監督局ニ於テハ同各條ノ日報及第十條ノ出納報告ヲ各局所別ニ編綴シ其ノ儘原簿トナスヘシ

第十七條 前條ノ日報ヲ納メタル封筒ニハ表面見易キ場所ニ在中日報ノ種類ニ從ヒ其ノ名稱ヲ朱記スヘシ

第十八條 監督局ハ左ノ各項ヲ調査シ相當處理スヘシ

- 一 各局所及普通主管局行囊常備數ハ適當ナラサルコトナキヤ
- 一 普通主管局ハ迅速ニ其ノ區内各局ノ過超行囊ヲ回收セルヤ又不足行囊ニ對シ補充ヲ怠ルコトナキヤ
- 一 普通主管局ニ於ケル行囊送受方ノ指定適當ナラサルモノナキヤ
- 一 普通及特別主管局ハ通信局ノ指定ニ依ル行囊ノ送付方ヲ怠ルコトナキヤ
- 一 普通主管局ハ過超行囊ヲ特別主管局ニ送付セサルコトナキヤ
- 一 取扱所及受取所ニ對シ其所轄局ハ行囊ノ返戻ヲ怠ルコトナキヤ
- 一 破損行囊ノ修理方粗漏又ハ等閑ニ付スルコトナキヤ
- 一 各局所行囊現在數ハ日報若クハ出納報告面ト符合セサルコトナキヤ又理由ナク常備數以外ニ殘留スルコトナキヤ
- 一 棄却行囊ハ不適當ノコトナキヤ

第十九條 通信局ハ第十四條及第十五條ノ日報ニ依リ主管局ニ於ケル現在數ノ過不足及其ノ區内行囊ノ狀況ヲ調査シ各主管局相互間ノ送受方ヲ指定スヘシ

第二十條 行囊ノ送達ハ船便アル地ハ船便、船便ナキ地ハ鐵道便、鐵道便モナキ地ハ通常道路便(小包單送)

便アルモノハ之ニヨリ單送便ナキモ若クハ鐵索便ニ依リ其ノ最近遞送便ヲ以テ遞送スルヲ本則トス
 第二十二條 行囊ノ送付ヲ證明スル爲メ行囊送付帳及行囊送付證（附錄第六號）ヲ設ケ定式ノ記入ヲ爲
 シ送付證ハ封筒ニ納メ更ニ之ヲ便宜ノ行囊ニ納メ其ノ行囊ニハ左記ノ例ニヨリ記載シタル票札ヲ
 堅固ニ結付スヘシ但シ送付證ハ同時ニ同一ノ局ニ二箇以上ノ行囊ヲ送付スル場合ニ於テ其ノ行囊
 カ繼越局ニ於テ分割差立ラレヘキ虞アル場合ハ行囊一結束毎ニ調製シ其ノ他ノ場合ハ行囊總數ニ
 對シ一通ヲ調製スヘシ

過超行囊 各局ヨリ發スルモノ
普通主管局ヨリ發スルモノ

「過送送證」
 「別送送證」

交付行囊 各局及普通主管局ヨリ發スルモノ
特別主管局ヨリ發スルモノ

「交付送證」
 「補充送證」

第二十二條 行囊ヲ其差立局ヨリ繼越局ヘ又ハ繼越局ヨリ次ノ繼越局若クハ到著局ヘ送達シタルコ
 トヲ證明スル爲メ行囊送付帳及行囊送付證（附錄第七號）ヲ設ケ定式ノ記入ヲ爲シ送達證ハ行囊ノ結
 束繩ニ堅固ニ結付スヘシ
 但シ送達證ハ車室船室等ノ關係上便宜ト認ムルトキハ行囊一結束毎ニ調製スルヲ得又通常道路
 ノミノ遞送ニ係ル場合ハ送達證ノ添付ヲ要セス

第二十三條 鐵道若クハ船内郵便係員ハ自己ノ服務中ニ係ル殘行囊（他局發着ノ過超行囊）ハ總テ其ノ便
 ノ極端局ニ送達スヘシ但シ別ニ指定スルモノノ外一便ノ途中ニ於テ所管區域ヲ異ニスルモノハ其
 ノ區域ノ極端局ニ送達スヘシ

第二十四條 過超行囊ヲ各局ヨリ普通主管局若クハ普通主管局ノ指定スル局ニ又ハ普通主管局ヨリ

他ノ主管局ニ送付スル場合ニ於テハ附屬品其ノ他一切完全ノモノヲ以テスヘシ所轄局ヨリ區内取
 扱所及受取所ヘ行囊返付ノ場合亦同シ

前項ノ行囊ヲ發送スルニ際シテハ其ノ口紐繩革等附屬品ヲ毀損スルコトナク行囊一箇毎ニ折疊ミ
 嚴重ニ結束シタル上結目ニ封印ヲ施シ「何局行何局出」ト記載シタル強質ノ票札ヲ結付スヘシ但シ同
過超行囊別號
 時ニ同一ノ局ニ送付スヘキ行囊ニシテ小行囊ト大行囊トアル場合ハ小行囊ハ大行囊ニ納メ若シ其
 ノ行囊ニシテ一箇ノ結束ト爲スニ足ラサル場合ニ於テハ郵便物ヲ納メタル行囊ニ納ムヘシ

第二十五條 過超行囊結束ノ重量ニ關シテハ郵便取扱規程第三編第一章第十五節ノ規定ヲ準用ス

第二十六條 過超行囊送付ノ場合ニ於テ之カ爲メ遞送上過人夫ヲ生スルカ若クハ車室又ハ船室ノ不
 足ナルコトヲ確認シタルトキハ次便ヲ以テ之ヲ遞送スヘシ次便ニモ尙狀況同一ナルコトヲ確認シ
 得ルトキハ其ノ當該便ヲ以テ遞送スヘシ但船便ニシテ毎日便ナラサルモノハ次便マテ留置クヘカ
 ラス

第二十七條 前三條ノ規定ハ別途保管行囊ヲ通信局ニ送付ノ場合及交付行囊毀損行囊送付ノ場合ニ
 關シ之ヲ準用ス

第二十八條 行囊ノ送付ヲ受ケタル場合ニ於テハ其ノ送付證ト對照検査シ送付證ハ式ニ依リ相當處
 理スヘシ

第二十九條 行囊及其ノ附屬品ヲ亡失毀損シタルトキ又ハ其ノ事實ヲ發見シタルトキハ頗末書ヲ調
 製其ノ行囊ニ結付シ鐵道若クハ船内郵便係員ハ第二十三條ニ依リ處理シ各局ハ之ヲ普通主管局ニ

送付スヘシ取扱所及受取所ニアリテハ顛末書ヲ添付シ行囊ト共ニ之ヲ所轄局ニ送付シ所轄局ハ最近便ヲ以テ當該取扱所若クハ受取所ニ之ヲ補給ヲナシ自局行囊ノ毀損若クハ亡失ノ例ニ依リ處理スヘシ

普通主管局ニ於テ前項ノ顛末書及行囊ヲ受取リタルトキハ顛末書ハ之ヲ監督局ニ提出シ行囊ハ第三十條ニ依リ處理スヘシ

主管局ニ於テ毀損行囊ヲ發見シ若クハ亡失毀損ノ事實發生ノ場合ハ顛末書ヲ監督局ニ提出シ行囊ハ前項ニ依リ處理スヘシ

第三十條 破損又ハ付屬品ナキ行囊ハ主管局ニ於テ之ヲ添補又ハ修理シ其ノ編縫シタル箇所ハ尙「ミシン」ニ依リ修補シ置クヘシ修理ヲ爲スモ再ヒ使用スヘカラサルモノト認ムルトキハ之ヲ棄却シ翌月五日迄ニ監督局ヲ經由シ通信局ニ報告スヘシ

第二節 在外局所取扱方

第三十一條 行囊ノ整理上必要ナル地ニ行囊主管局ヲ置キ其ノ局名及主管區域ハ別ニ之ヲ定ム

第三十二條 主管局ハ區内ノ各局ニ對シ行囊ノ送受ヲ掌理スルモノトス其ノ事項左ノ如シ

一區内各局ニ對シ第三十六條後段ノ過超行囊ヲ回收シ通信局ノ指定アル場合ヲ除クノ外之ヲ自局ニ保管スルコト

一區内各局ノ請求ニヨリ不足行囊ヲ送付スルコト

一區内各局ニ對シテ必要ノ場合ハ第三十六條前段ノ過超行囊送付方ヲ指定スルコト

第三十三條 各局所ノ行囊常備數ハ別ニ定ムル所ニ依リ各局長之ヲ定ム

主管局ノ行囊常備數ハ別ニ之ヲ定ム

第三十四條 各局所ニ於テ行囊ノ出納ヲ證明スル爲メ行囊出納月表甲^(附錄第九號)及行囊出納月報甲^(附錄第九號)但シ局ニアリテハ月報ハ二通)ニ定式ノ記入ヲ爲シ行囊出納月報ハ各局ハ翌月二日後ノ最近便ヲ以テ差立一通ハ主管局ニ一通ハ通信局ニ又出張所及受取所ハ翌月一日後ノ最近便ヲ以テ差立所轄局ニ提出スヘシ

第三十五條 主管局ハ管區内各局ニ對シ行囊ノ出納ヲ證明スル爲メ行囊出納月表乙^(附錄第九號)及行囊出納月報乙^(附錄第九號)ニ定式ノ記入ヲナシ前條同様通信局ニ提出スヘシ

第三十六條 各局ニ於ケル過超行囊中單行囊、複行囊及長行囊ハ内地便ノ都度門司局ニ送付シ白行囊、赤行囊及錠行囊ハ每便之ヲ主管局ニ送付スヘシ

第三十七條 出張所及受取所ニ於ケル過超行囊ハ每便所轄局ニ送付スヘシ

第三十八條 行囊常備數ニ對スル不足行囊ハ行囊請求書^(附錄第十號)ニ定式ノ記入ヲナシ出張所及受取所ハ所轄局ニ各局ハ區内各所ニ於ケル過超行囊ノ狀況ニ鑑ミ主管局ニ之ヲ請求スヘシ

第三十九條 主管局ハ行囊數ニ著シキ不足ヲ生シ運用上差支ヲ來スヘキ見込アリテ他ニ補充ノ途ナキトキハ第三十八條ノ例ニ依リ之ヲ門司局ニ請求スヘシ

第四十條 行囊ヲ破損シ若クハ其附屬品ヲ亡失毀損シ使用ニ堪ハサルモノアルトキハ門司局ニ送付スヘシ

第四十一條 第十八條ハ在外局ニ第二十條乃至第二十二條第二十四條乃至第二十八條ノ規定ハ在外局及遞送便ヲ有スル在外受取所並ニ出張所ニ第二十九條第一項取扱所及受取所ニ關スル規定ハ之

ヲ在外受取所及出張所ニ準用ス

附則

第四十二條 本規程ハ明治三十七年三月十五日ヨリ施行ス

明治三十五年五月公達第三百三十五號郵便行囊規程及同年同公達第三百六十六號明治三十六年六月公達第五百六號ハ本規程施行ノ日ヨリ廢止ス但シ小包通常行囊大ハ當分ノ内從前ノ通又赤行囊ハ從前ノ分ヲ繼續使用スルコトヲ得

附錄第一號

行囊圖式

赤行囊

寸法丈(甲)二尺三寸 巾(甲)一尺四寸

(乙)一尺三寸 巾(乙)九寸五分

地質木綿又ハ麻絲ノ袋織赤色

徽章及名稱ノ文字ハ黑色摺込

口紐紅白麻絲捻交セ

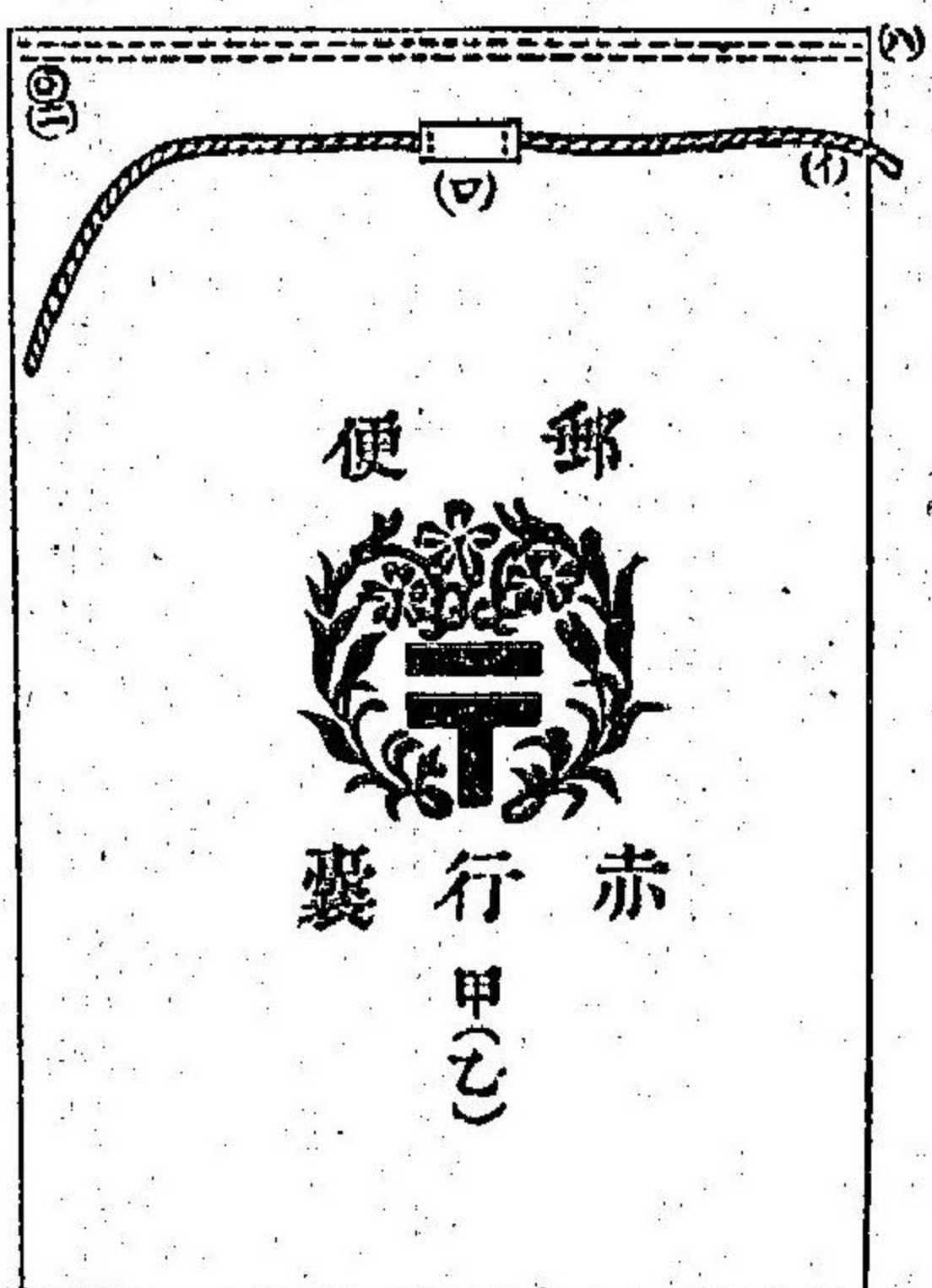
囊口ニハ其端ニ心ヲ入レ内方ニ折返ス

(イ)口紐丈四尺

(ロ)紐留革

ハ囊口ニ細心ヲ入レタルモノ

(ニ)鳩目ニシテ附札號ノ用ニ供スルモノ



白行囊

寸法丈(甲)二尺三寸 巾(甲)一尺五寸

(乙)一尺五寸 巾(乙)一尺五分

地質金巾

徽章及名稱ノ文字ハ青ペンキ摺込

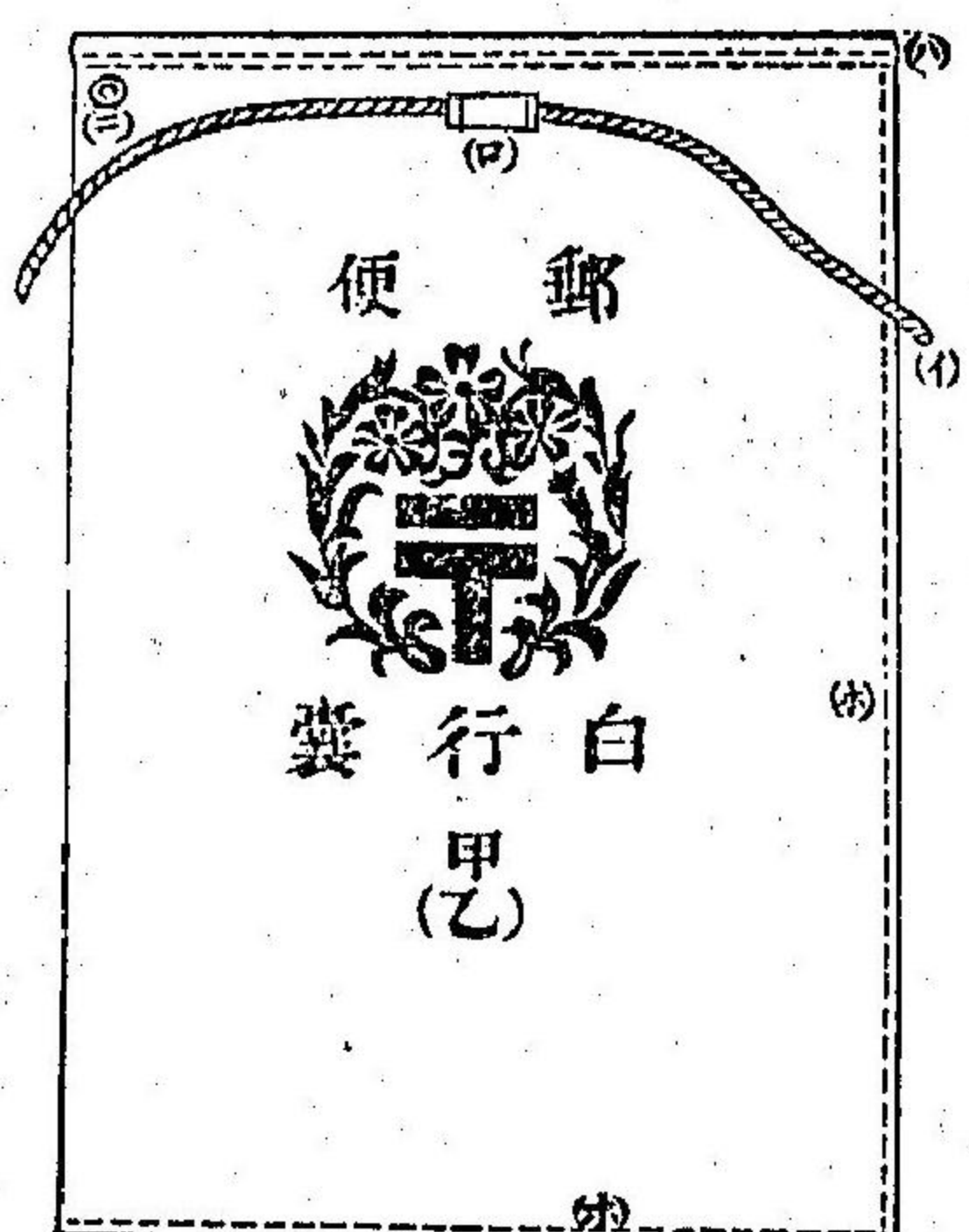
口紐及囊口ノ製作赤行囊ニ同シ

(イ)口紐(ロ)口紐

(ハ)口紐(ニ)口紐

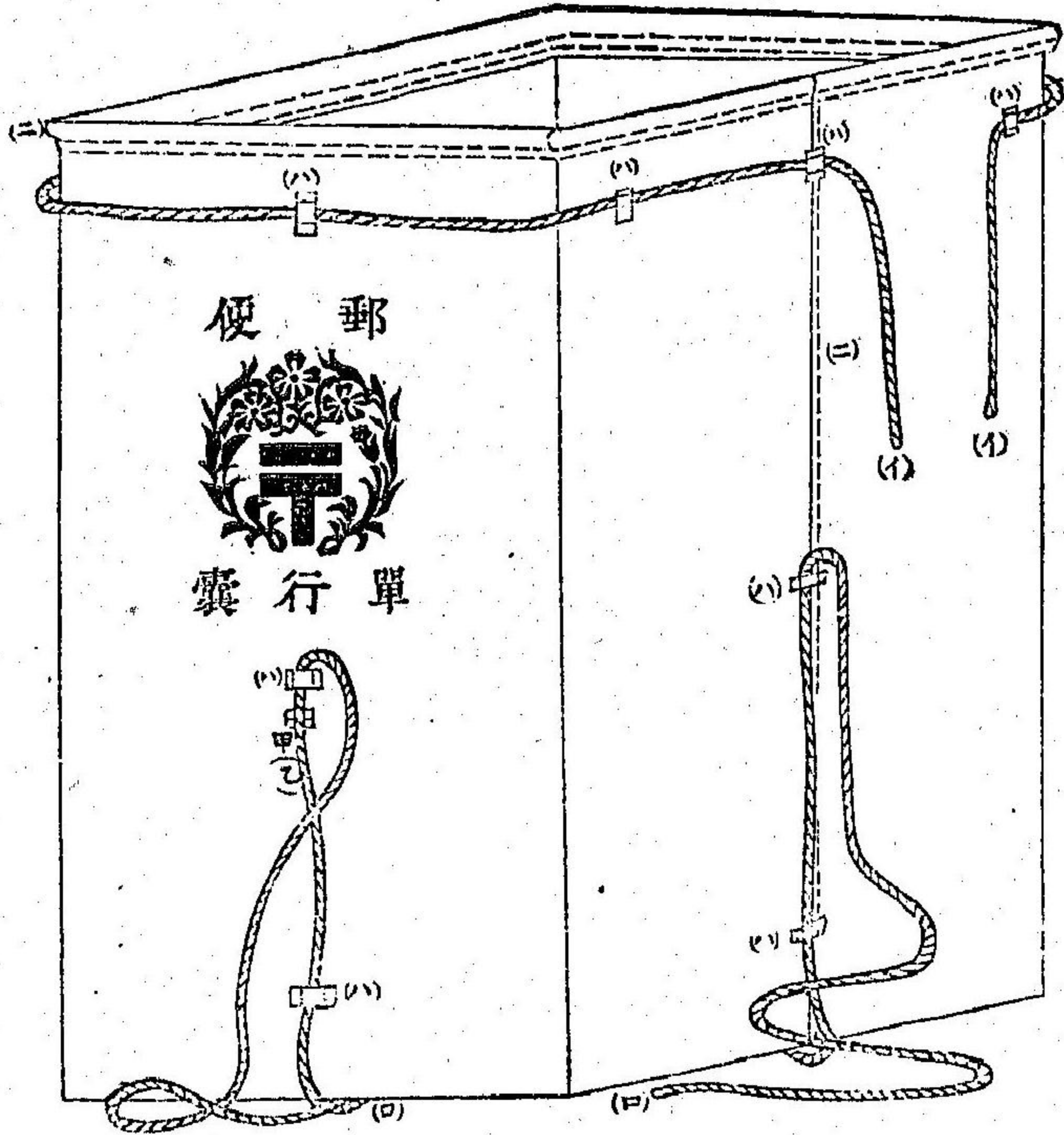
ハ口紐(イ)口紐

ホ縫タル箇所ニ「ミンシ」縫ヲナシタルモノ



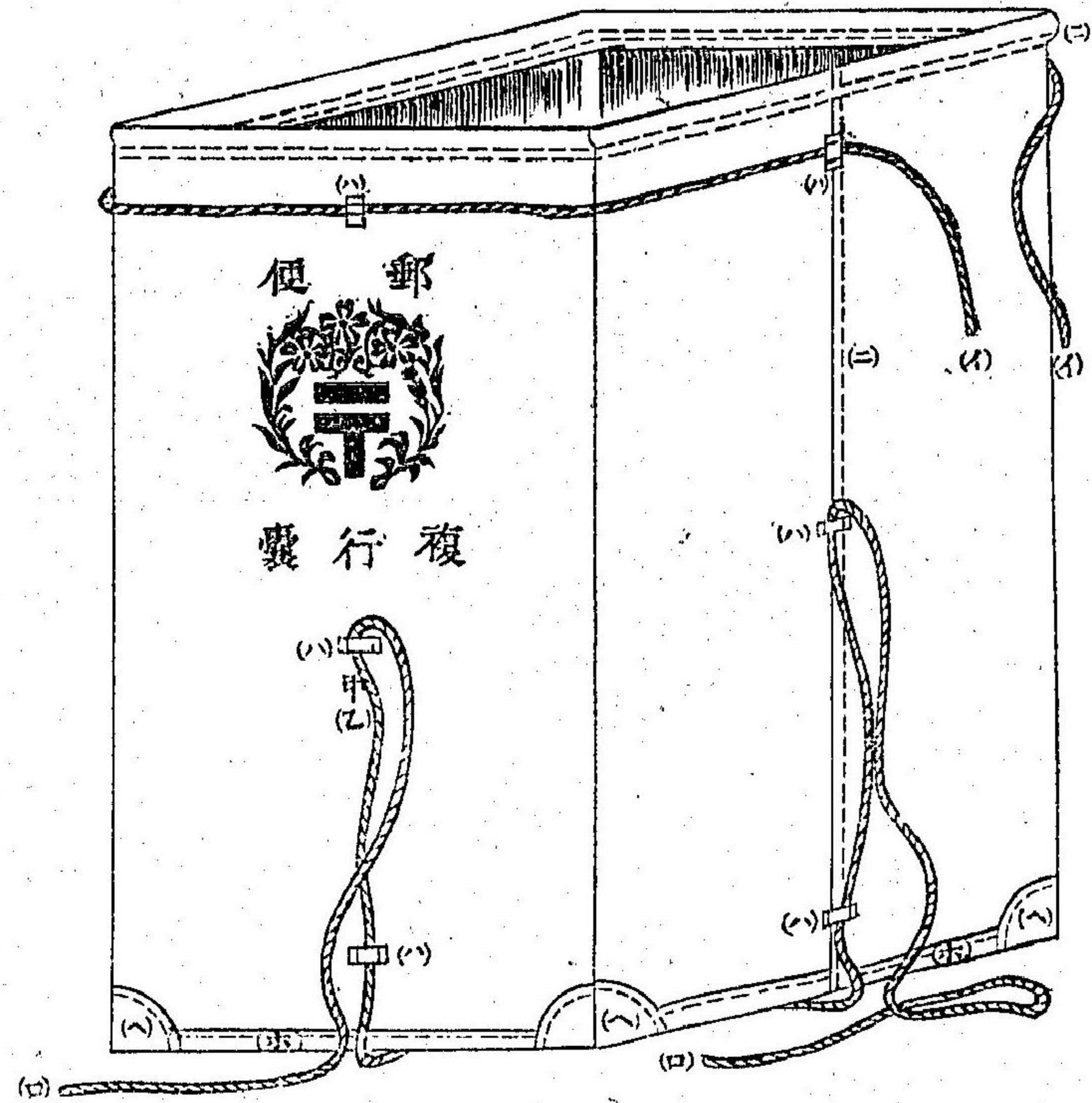
單行囊

- 寸法丈(甲)二尺七寸巾(甲)一尺四寸五分
- 乙(乙)一尺九寸巾(乙)一尺四寸五分
- 地質ツーク
- 徽章及名稱ノ文字青ペンキ摺込
- 口紐及縮紐紅白麻絲撚交セ
- 囊口ニハ其端ニ心ヲ入レ内方ニ折返ス
- イ)口紐丈(甲)八尺
- 乙(乙)六尺
- ロ)縮紐丈(甲)二丈八尺
- 乙(乙)二丈五尺
- ハ)紐留又ハ紐通シ革共十六箇所
- ニ)縫タル箇所「ミシン」縫ヲナシタルモノ



複行囊

- 寸法丈(甲)二尺五寸巾(甲)一尺四寸五分四方
- 乙(乙)一尺九寸巾(乙)一尺四寸五分
- 地質(表)ダーク
- (裏)薄木綿ゴム引
- 口紐縮紐及囊口製作複單行囊ニ同シ
- イ)口紐丈(甲)八尺
- 乙(乙)六尺
- ロ)縮紐丈(甲)一丈八尺
- 乙(乙)一丈五尺
- ハ)紐留又ハ紐通シ革共十一箇所
- ニ)縫タル箇所「ミシン」縫ヲナシタルモノ
- ホ)底廻リ當切レ
- ヘ)四隅當切レ



錠行囊

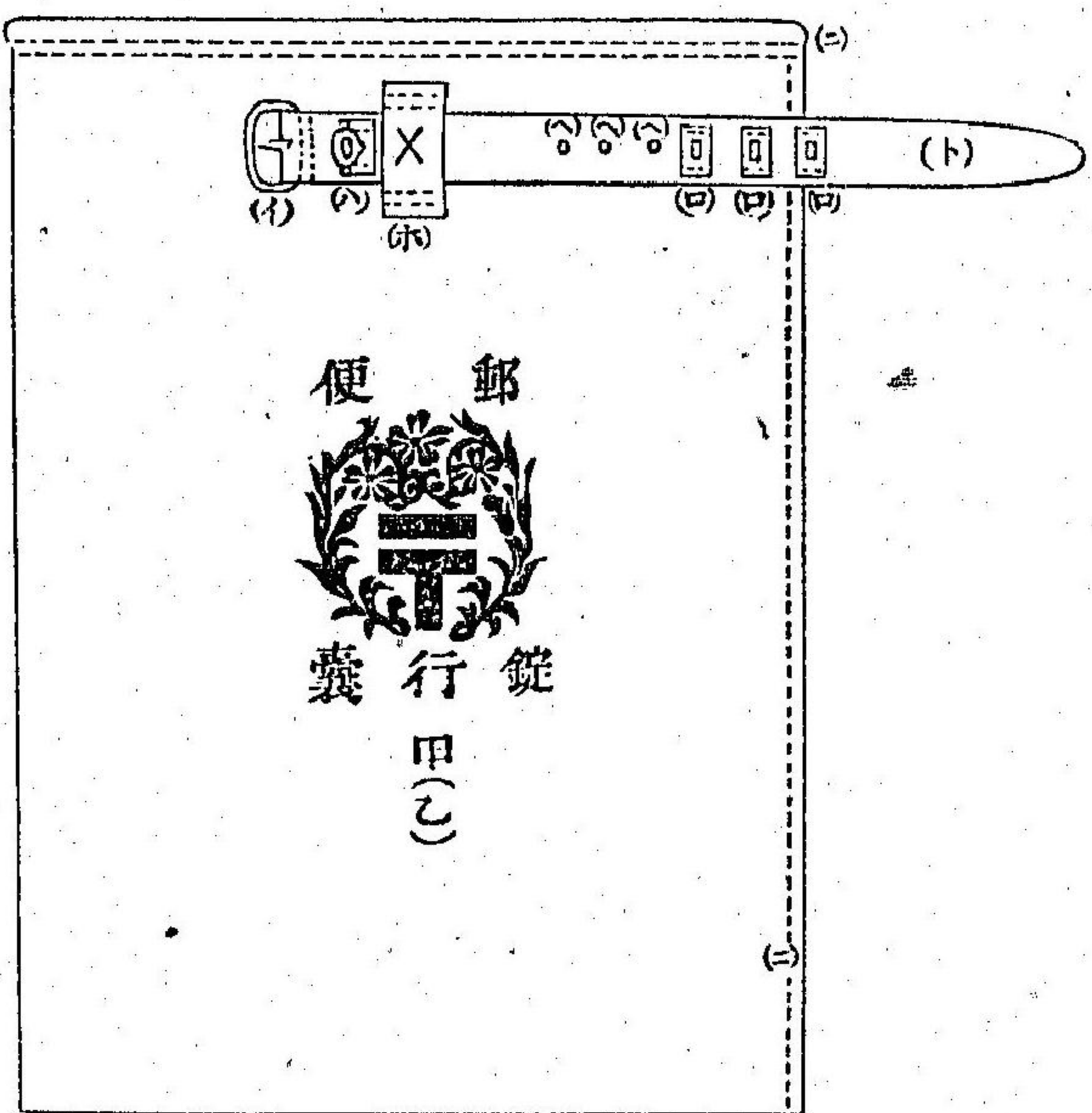
寸法丈 二尺六寸 巾 一尺九寸

地質ツーク

口革ハ象皮

囊口ノ製作口單行囊ニ同シ

- (イ) 鋪錠
- (ロ) 錠通金具ヲ通スヘキ座金
- (ハ) 錠通シ金具
- (ニ) 縫タル箇所ニ「ミシン」縫ヲナシタルモノ
- ホ 口革留
- ヘ 鋪錠留孔
- ト 口革長一尺二寸五分巾一寸二分

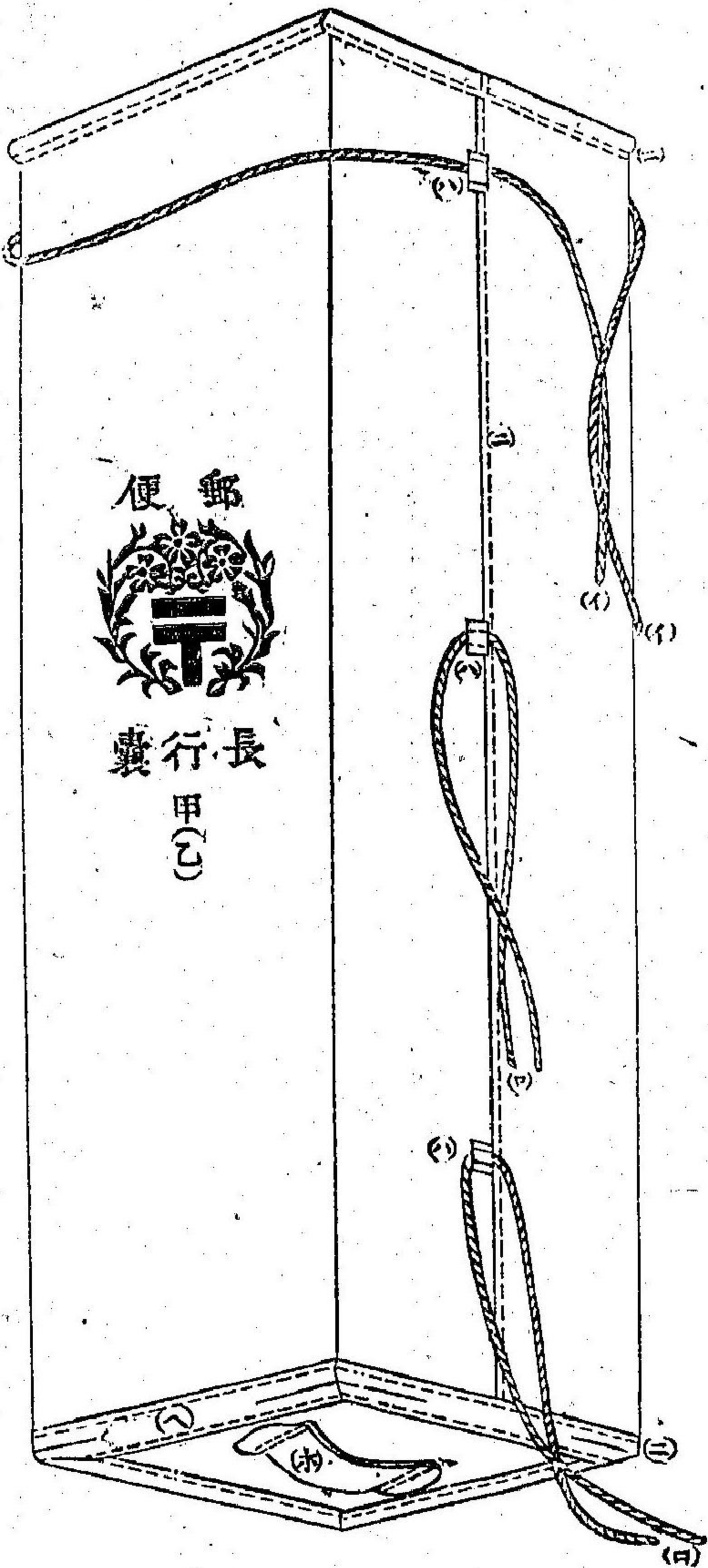


長行囊

寸法丈 甲四尺 乙三尺七寸 巾 甲一尺四方 乙七寸同

地質 (表ツーク) 裏片綾木綿ゴム引

口紐締紐及囊口ノ製作單行囊ニ同シ



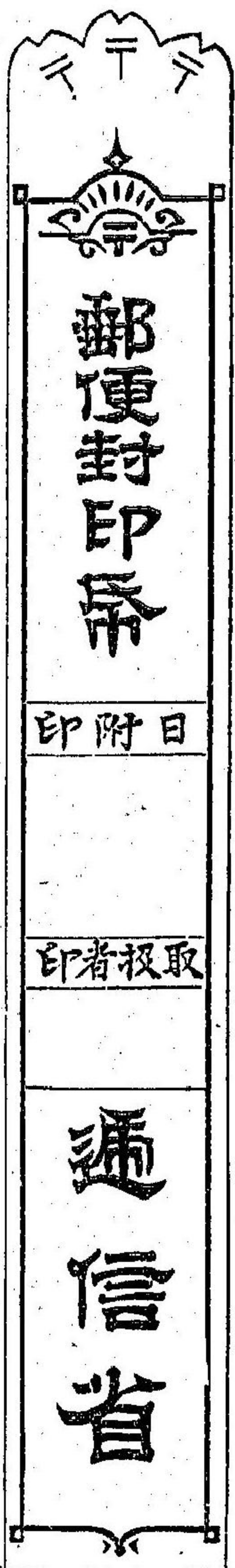
- (イ) 口紐丈 甲九尺 乙六尺
- (ロ) 締紐丈 甲九尺 乙六尺
- (ハ) 紐留又ハ紐通革甲ハ五箇所 乙ハ四箇所
- (ニ) 縫タル箇所ヘ「ミシン」縫ヲナシタルモノ
- ホ 囊底ニアル革製把手ニシテ在中郵便物ヲ取出ストキノ用ニ供ス
- ヘ 底廻リ當切レ

附錄第二號

封緘方法

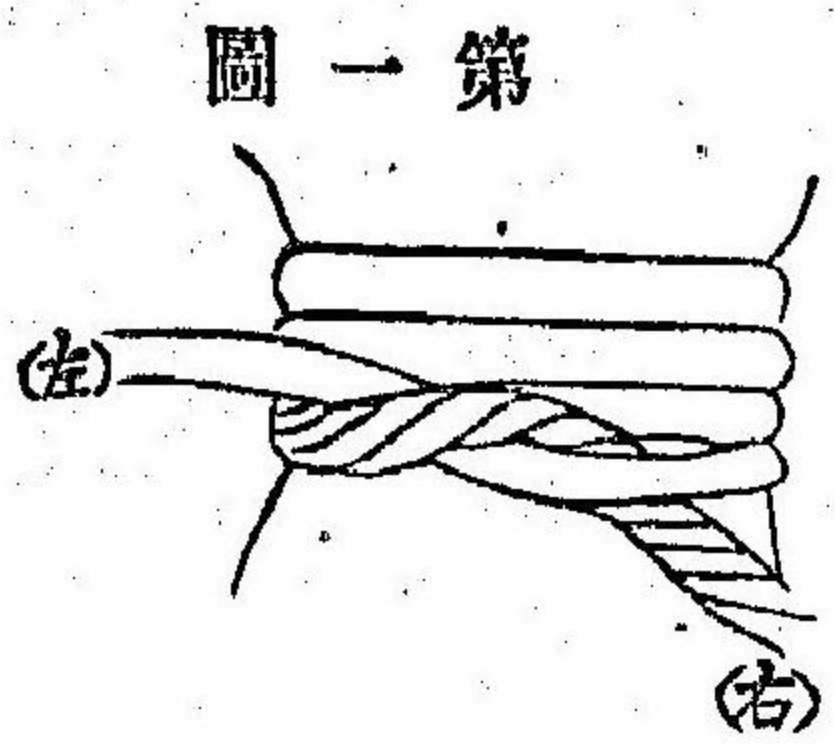
一 封印紙封緘

封緘ヲ爲サントスルトキハ先ツ左ノ封印紙ニ日附印(鐵道郵便室ニア)ト取扱者印トヲ相當欄内ニ押捺シ次ノ手續ヲ爲スヘシ

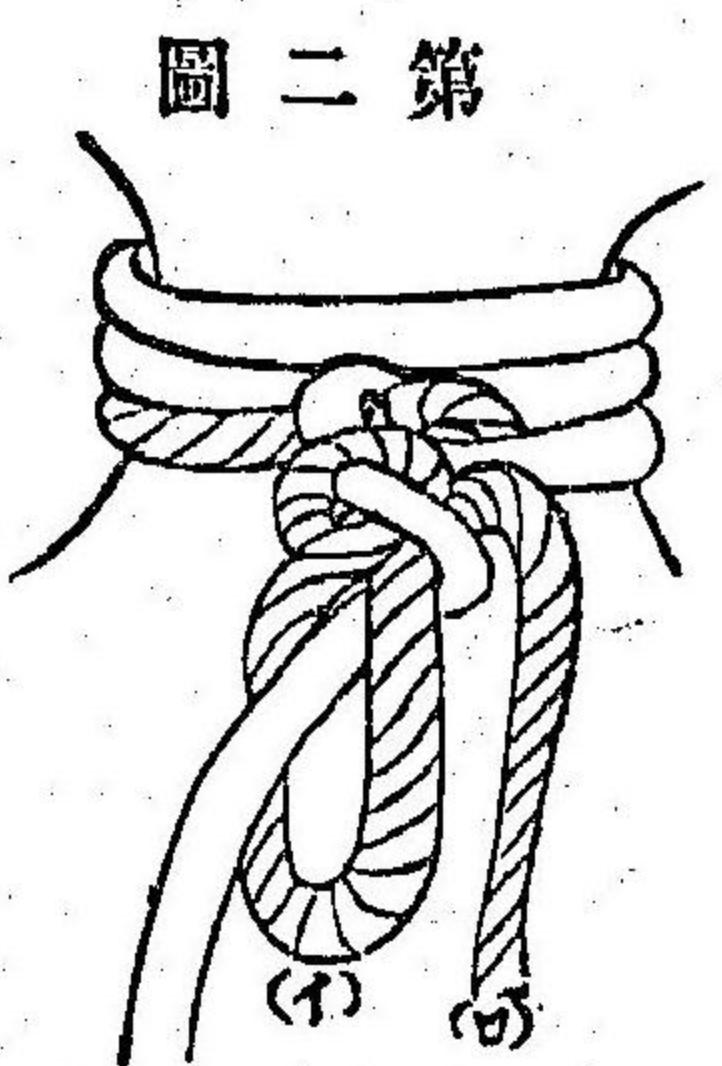


行囊ノ口紐及締紐ハ可及的緊約シ遞送途中ニ於テ緩ミナ生セサル様最モ丁寧ニ締括ルヲ要ス其ノ結ヒ方ハ左圖ノ如クスヘシ

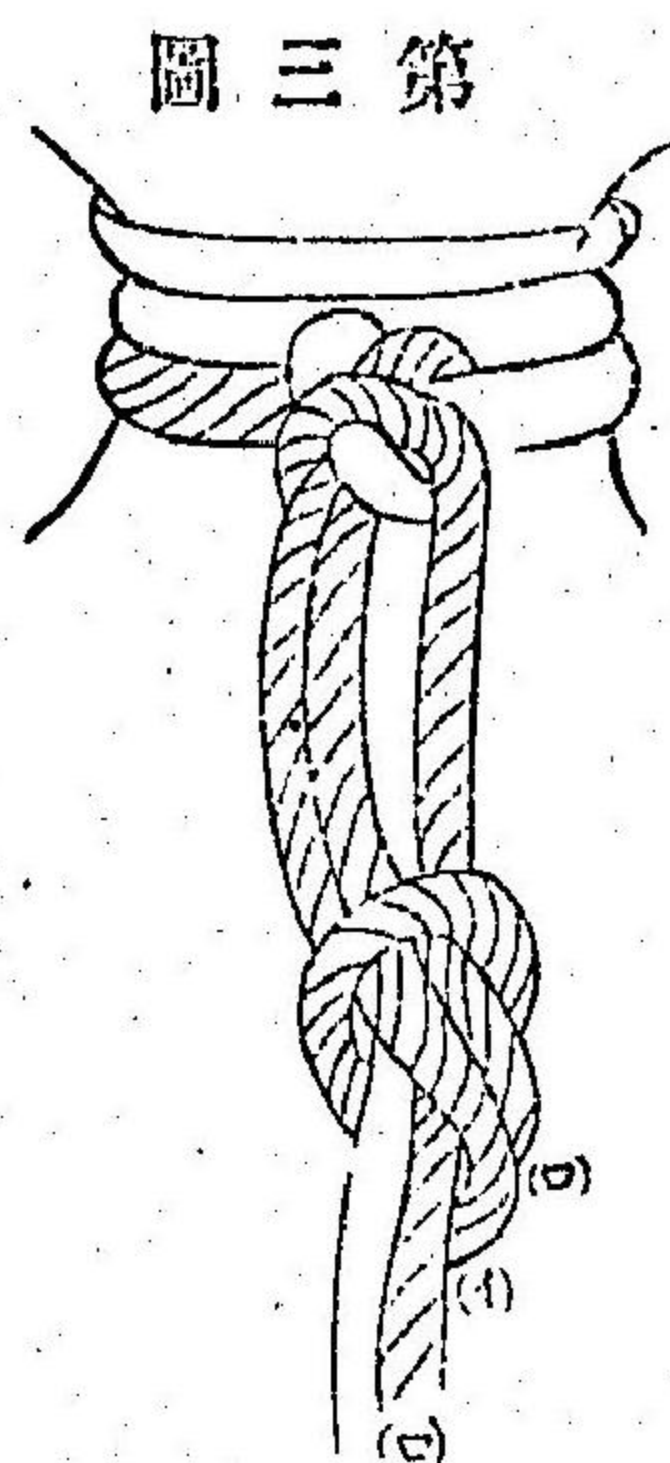
第一圖ノ如ク最初堅ク一回結ヒタル後第二圖ノ如ク疣結トシ其疣結ノ一方ノ紐ヲ曳抜カスシテイノ如ク折返シ更ニ其紐ノ端(ロ)ヲ第三圖ノ如ク結フヘシ



第一圖



第二圖

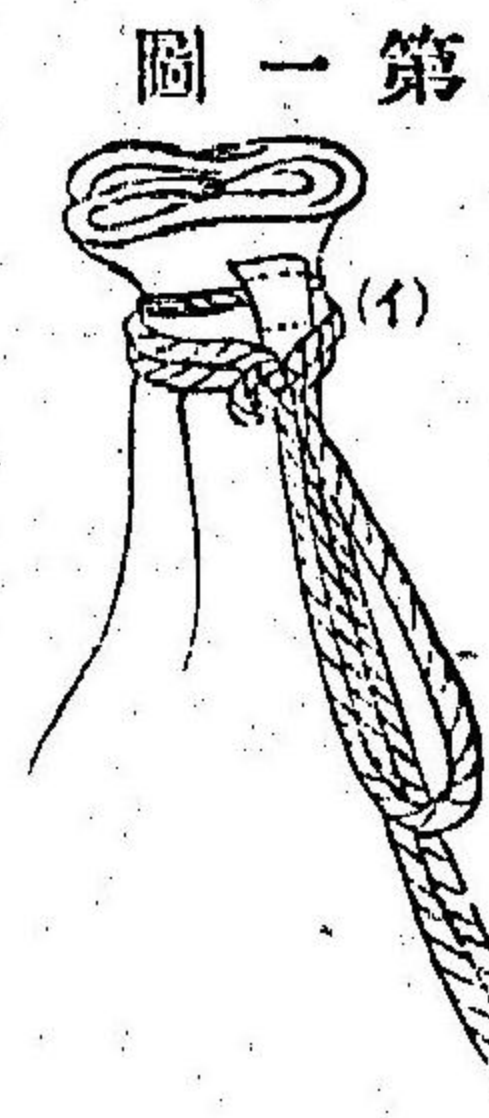


第三圖

自行囊及赤行囊ノ封緘方

第一圖ノ如ク口紐ヲ以テイノ所ヲ確ト結ヒタル後第二圖(ロ)ノ位置ニ封印紙ヲ置キ其上ニ封印用トシテ細キ麻絲又ハ木綿絲ニ一枚麻絲ヨリ稍細キ太サ(ニ)シテ油氣ナキモノヲ以テ二重ニ廻シ第三圖(ニ)ノ如ク堅ク結ヒ其挿ミタル封印紙ヲ下ノ方ニ折返シ結ヒ剩リノ二筋ノ絲ヲ以テ再ヒ封印紙ノ上ヨリ結フコト第四圖(ホ)ノ如クスヘシ而シテ封印紙ノ餘リヲ(ホ)ノ結目ノ上ニ捲着ケ其紙端(ヘ)ノ位置ニ強質ナル生狹又ハ米ニシテ製シタル糊ヲ以テ確ト糊封シ取扱者印ヲ以テ二判以上製印スルコト第五圖(ト)ノ如クスヘシ

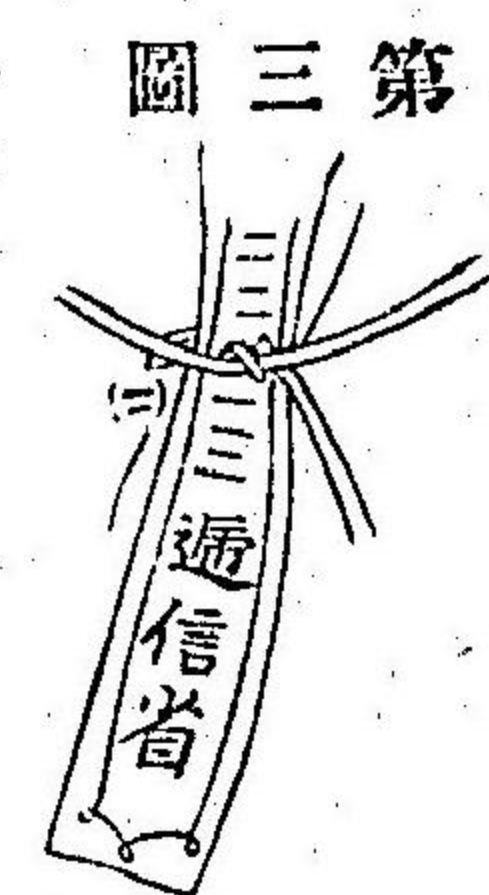
但シ鐵道船舶郵便室内若ハ互寒ノ地ニシテ生狹又ハ米糊ヲ以テ封印シ難キ場合ハ封印紙ニゴム糊ヲ塗布シアルモノヲ使用スルコトヲ得



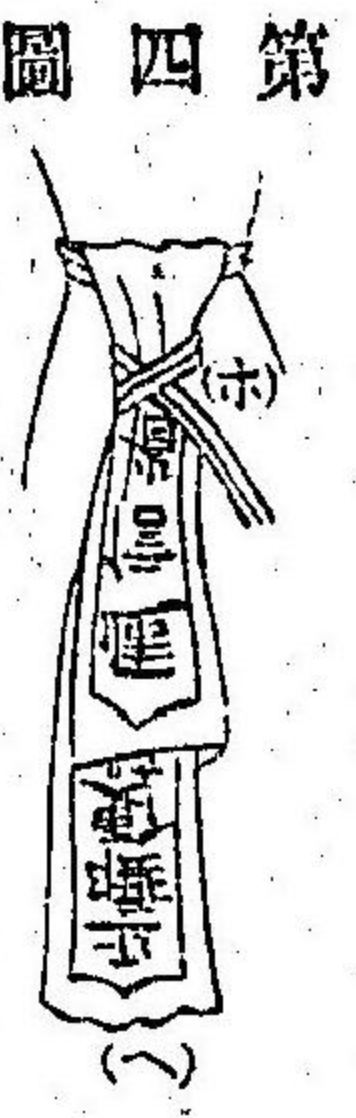
圖一第



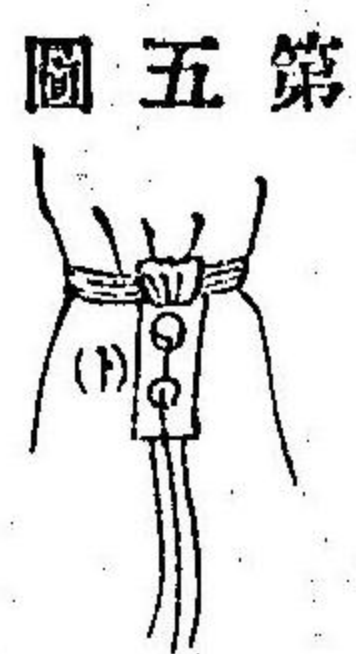
圖二第



圖三第



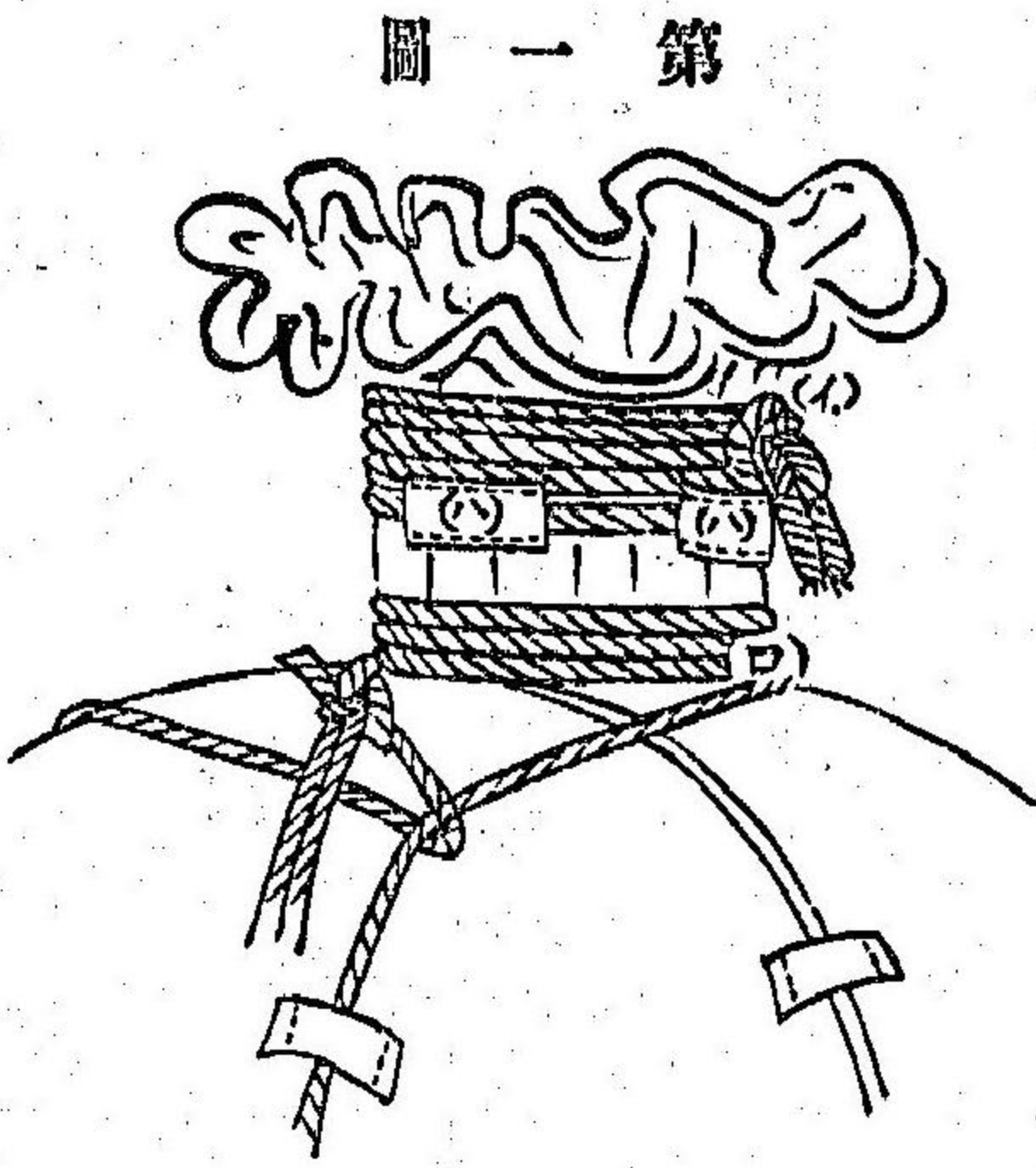
圖四第



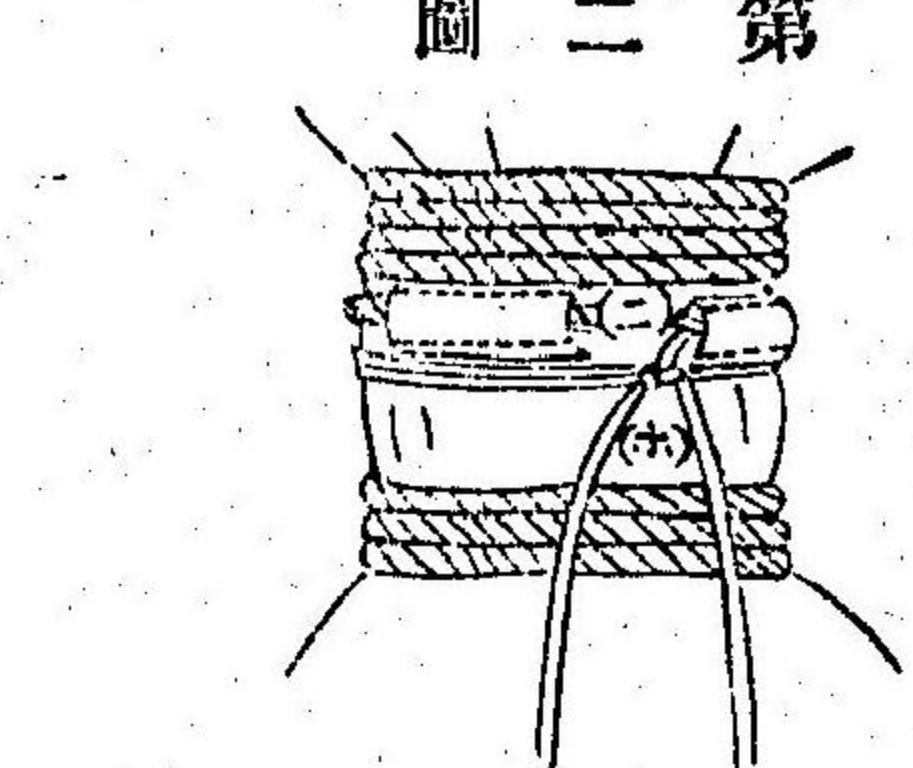
圖五第

單行囊、複行囊、長行囊封絨方

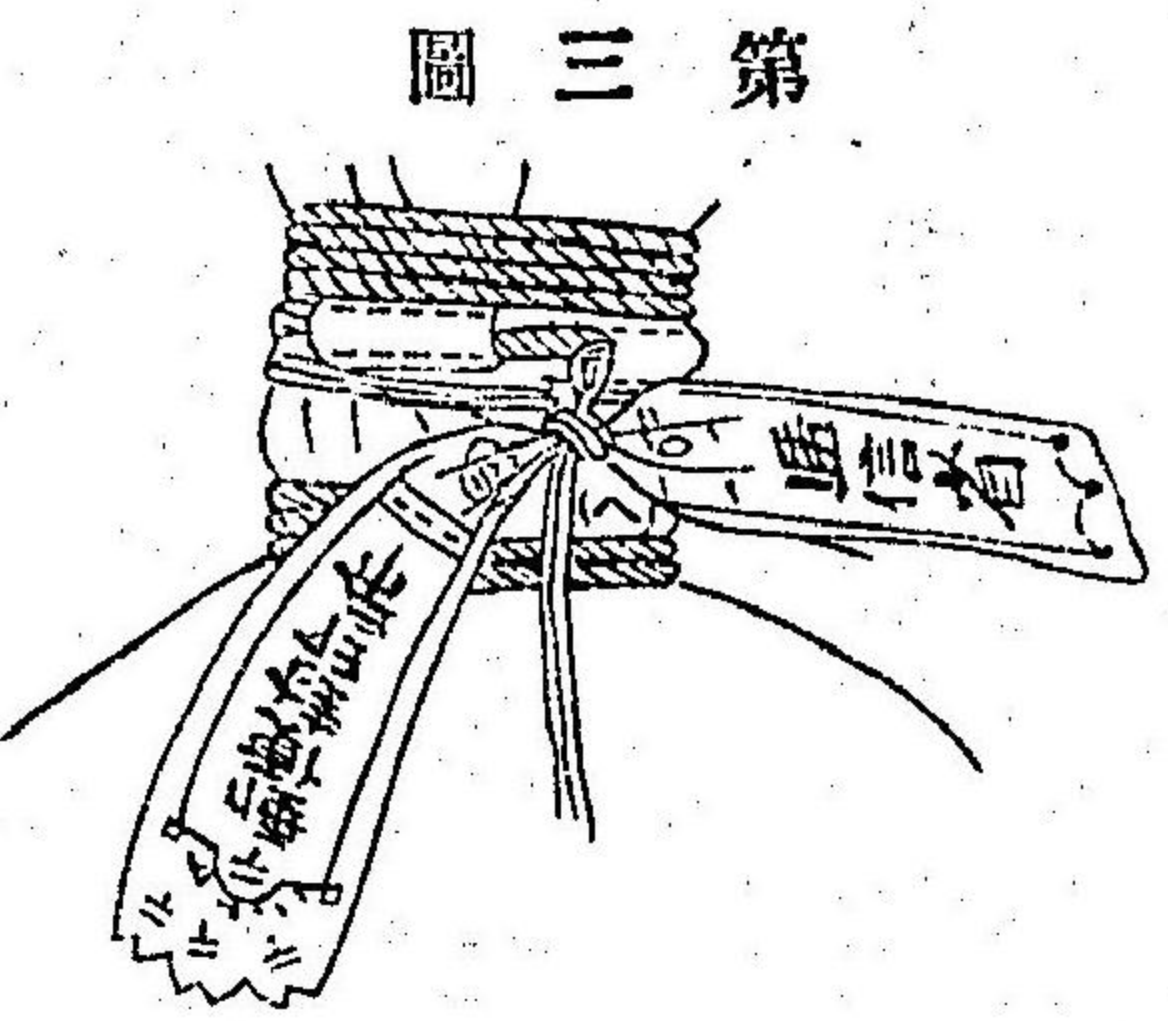
第一圖ノ如ク口紐ヲ以テイ締紐ヲ以テロノ二箇所ヲ確ト結ヒ
(長行囊ヲ締紐ハ中央ニケ所ヲ締メ括ルヲ以テ
 囊口ハ口紐ノモノヲ以テイロニケ所ヲ緊約ス
 シタル後封印用トシテ細キ麻絲(約四枚風絲ノ太サ)ノ一端ヲハノ紐通シ革ノ一ケ所ニ通シ之ヲ
 二重ニ廻シ堅ク結フコト第二圖(ニ)ホノ如クシ結ヒ口ノ緩ミヲ生セサル様結目ノ極ニ封印紙ヲ挿ミ
 テ麻絲ヲ再ヒ結フコト第三圖(ヘ)ノ如クシ其上ニ封印紙ヲ捲着クルコト第四圖(ト)ノ如クスヘシ其封
 絨及契印方ハ渾テ自行囊亦行囊ニ同シ而シテ其封絨シタル上強質ノ紙片又ハ布片ヲ以テ之ヲ覆ヒ
 第五圖(チ)ノ如クシ遞送途中ノ摩損ヲ防キ置クヘシ



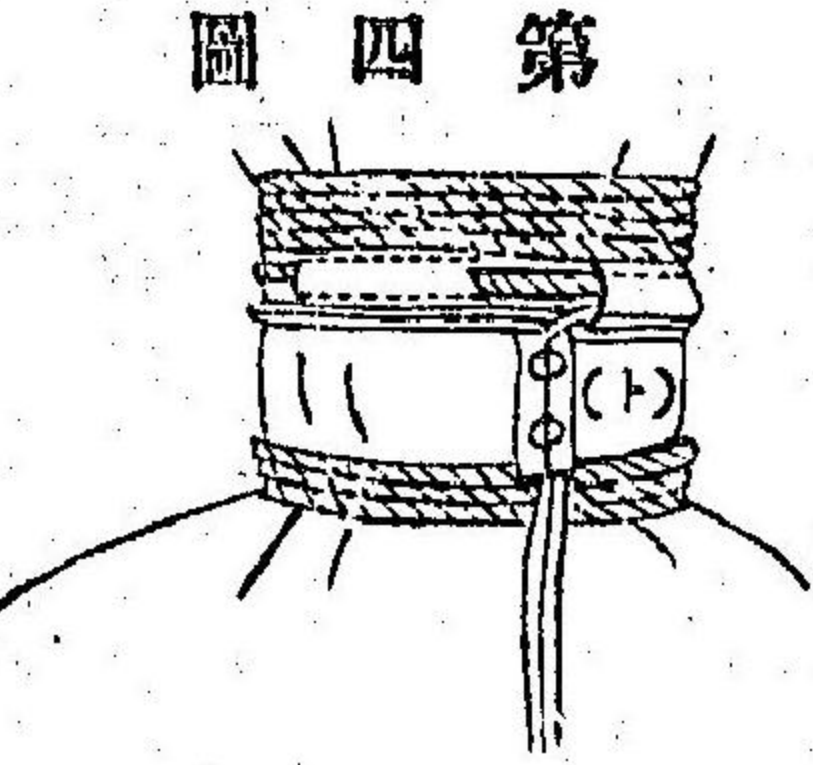
圖一第



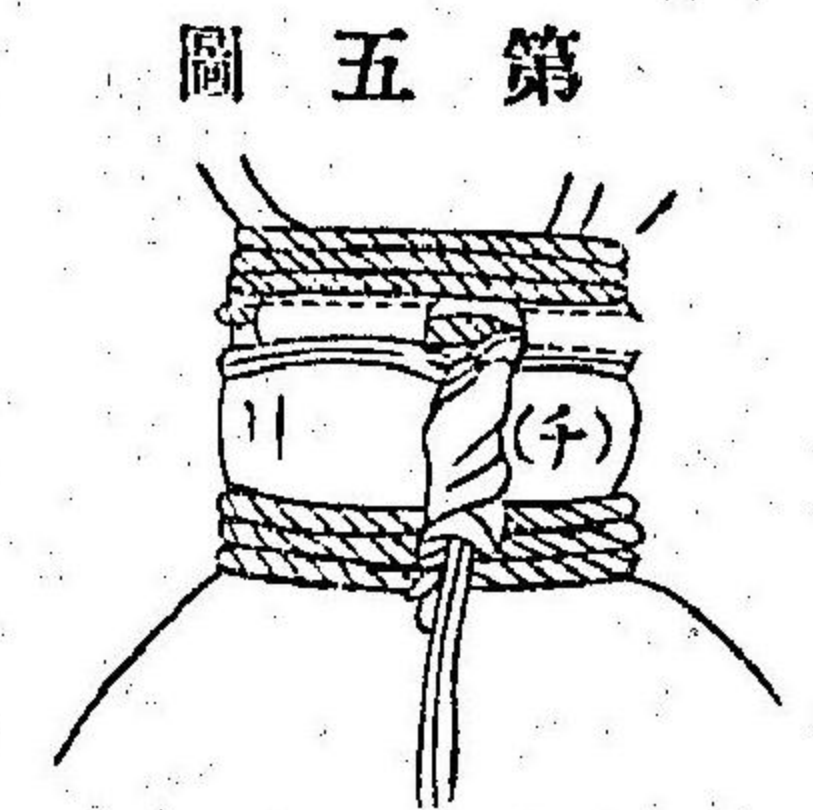
圖二第



圖三第



圖四第



圖五第

二 封蠟封緘

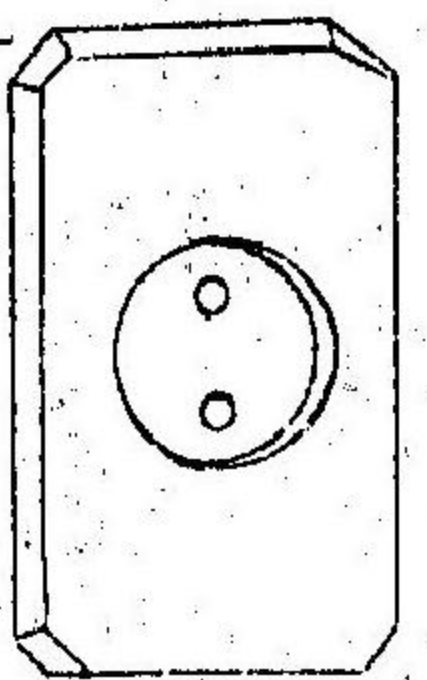
封緘ヲ爲サントスルトキハ第一封印紙ト同一ノ手續ニ依リ封印ニ用ウヘキ麻絲ヲ以テ嚢口ヲ確ト結ヒタル後左ノ封木又ハ金屬製封器ヲ用キ次ノ手續ヲナスヘシ但シ亦行囊ハ封蠟ヲ以テ封緘スルヲ得ス

封木

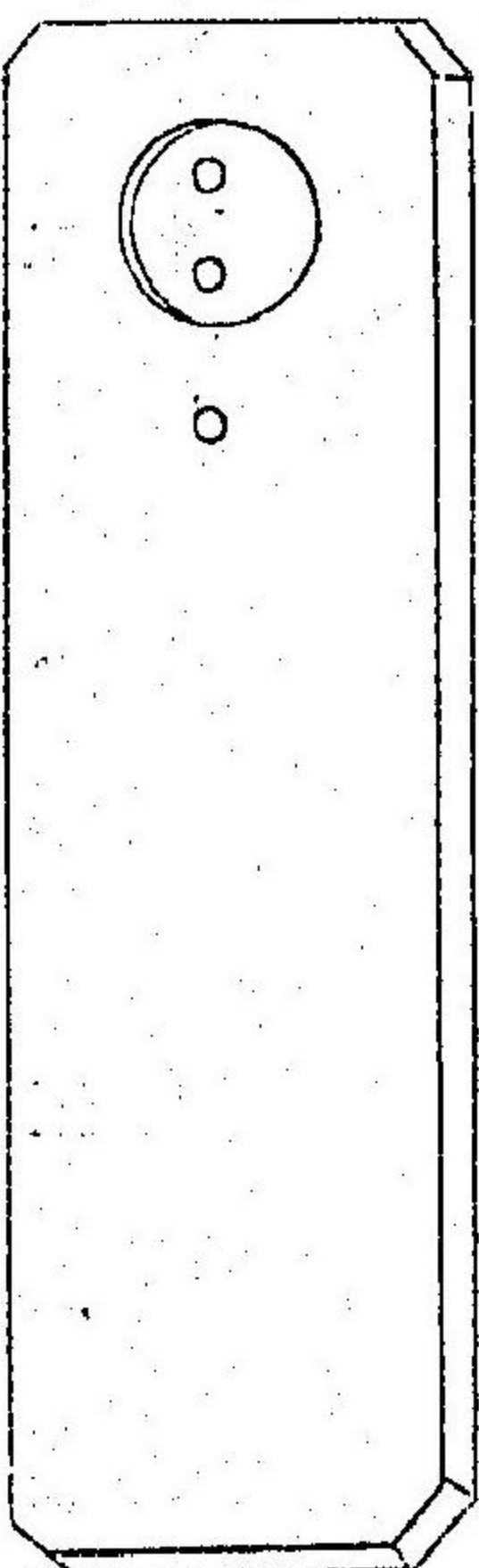
封木ヲ別テ甲乙二種トシ甲ハ單ニ封緘ノミニ使用シ乙ハ封木ト附札トヲ兼用スルモノトス用材ハ裂ケ易キモノヲ用ウヘカラス

甲

乙



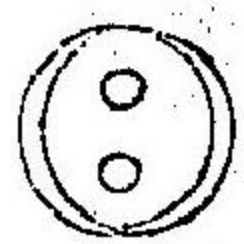
寸法
堅約 一寸八分
横 五分
厚 五分
封蠟注入口ノ四所
深二分 圓徑七分



寸法
堅約 五寸
横 一寸五分
甲ニ同シ
他

封器

封器ハ鐵葉又ハ亞鉛板ヲ以テ製シヘルス器械等ヲ以テ打抜タルモノヲ用フヘシ



寸法 圓徑約八分 深約三分

封緘印

封緘ニ用ツル封蠟印ハ左ノ圖式ニ依リ調製スヘシ



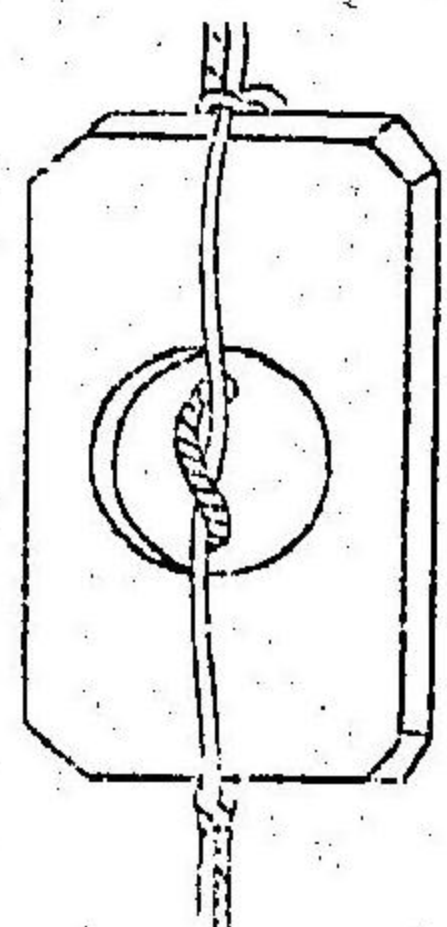
印材ハ金屬トシ文字ヲ凹刻スヘシ下部ノ番號ハ差立主任ノ擔當毎ニ異ナルモノヲ用キ其責任ヲ明ニシ置クヘシ

圓徑六分五厘

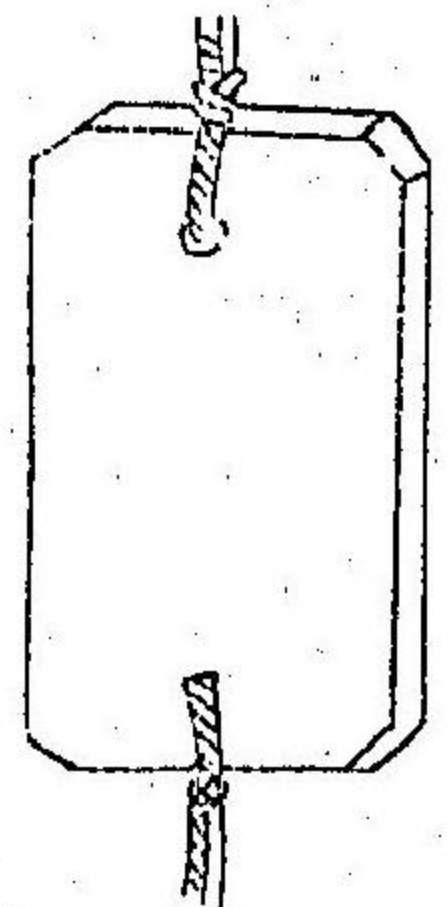
封緘方

封緘ニ用キタル麻絲ノ結目ヨリ直ク下ニ於テ絲ノ兩端ヲ封木ニ通スコト第一圖及第二圖ノ如クシ其ノ封木ノ表面凹所ニ封蠟ヲ注下シ其上ニ封蠟印ヲ鮮明ニ押捺スルコト第三圖ノ如クスヘシ

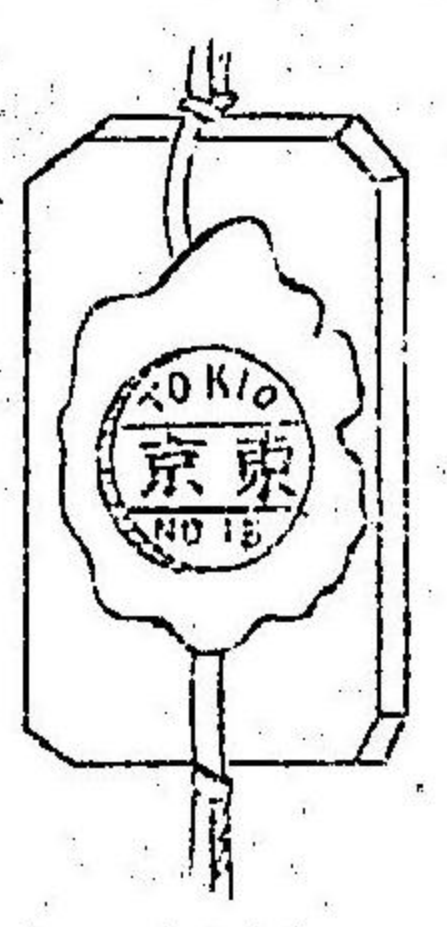
第一圖 封緘方
封緘ニ用キタル麻絲ノ結目ヨリ直ク下ニ於テ絲ノ兩端ヲ封木ニ通スコト第一圖及第二圖ノ如クシ其ノ封木ノ表面凹所ニ封蠟ヲ注下シ其上ニ封蠟印ヲ鮮明ニ押捺スルコト第三圖ノ如クスヘシ



第三圖 封緘方
封緘ニ用キタル麻絲ノ結目ヨリ直ク下ニ於テ絲ノ兩端ヲ封木ニ通スコト第一圖及第二圖ノ如クシ其ノ封木ノ表面凹所ニ封蠟ヲ注下シ其上ニ封蠟印ヲ鮮明ニ押捺スルコト第三圖ノ如クスヘシ



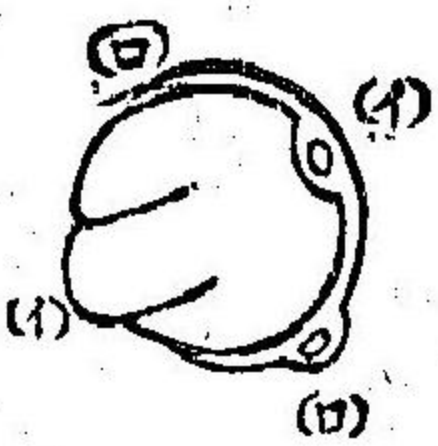
第二圖 封緘方
封緘ニ用キタル麻絲ノ結目ヨリ直ク下ニ於テ絲ノ兩端ヲ封木ニ通スコト第一圖及第二圖ノ如クシ其ノ封木ノ表面凹所ニ封蠟ヲ注下シ其上ニ封蠟印ヲ鮮明ニ押捺スルコト第三圖ノ如クスヘシ



三 封鉛封緘

封鉛ヲ以テ封緘ヲ爲サントスルトキハ第一封印紙ト同一ノ手續ニ依リ封緘ニ用ウヘキ麻絲又ハ木綿絲ニシテ可成柔軟ナルモノヲ擇ミ蓋口ヲ確ト結ヒタル後封鉛ヲ用キ次ノ手續ヲ爲スヘシ

封鉛



鉛ヲ以テ造リタル封器ニシテイ(イ)トロ(ロ)ハ封緘用麻絲ヲ通スヘキ孔ナリ

封緘印

鋼鐵ヲ以テ製作シ徽章及文字等ヲ凹刻ス番號ノ要ハ封蠟印ニ同シ圓徑四分



表

裏

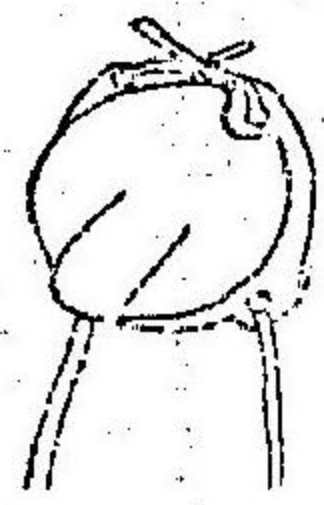


封緘方

第一圖ノ如ク封鉛ヲ封緘絲ノ結目ノ直下ニ於テ絲端ヲイ(イ)ロノ兩孔ニ通シ其ノ絲ノ結目ト封鉛トノ間ニ隙ノ生セサル様確ト指頭ニテ押シ着ケタルマ、封緘印ノ表裏二面ノ間ニ挿ミ印影ノ判明ニ印出シテ且ツ絲ノ抜ケ出テサル様強ク壓搾スヘシ

第一圖

封緘絲ノ結目ノ直下ニ通シタル孔ニ通シタルモノ



第二圖

封緘印ヲ押捺シタルモノ

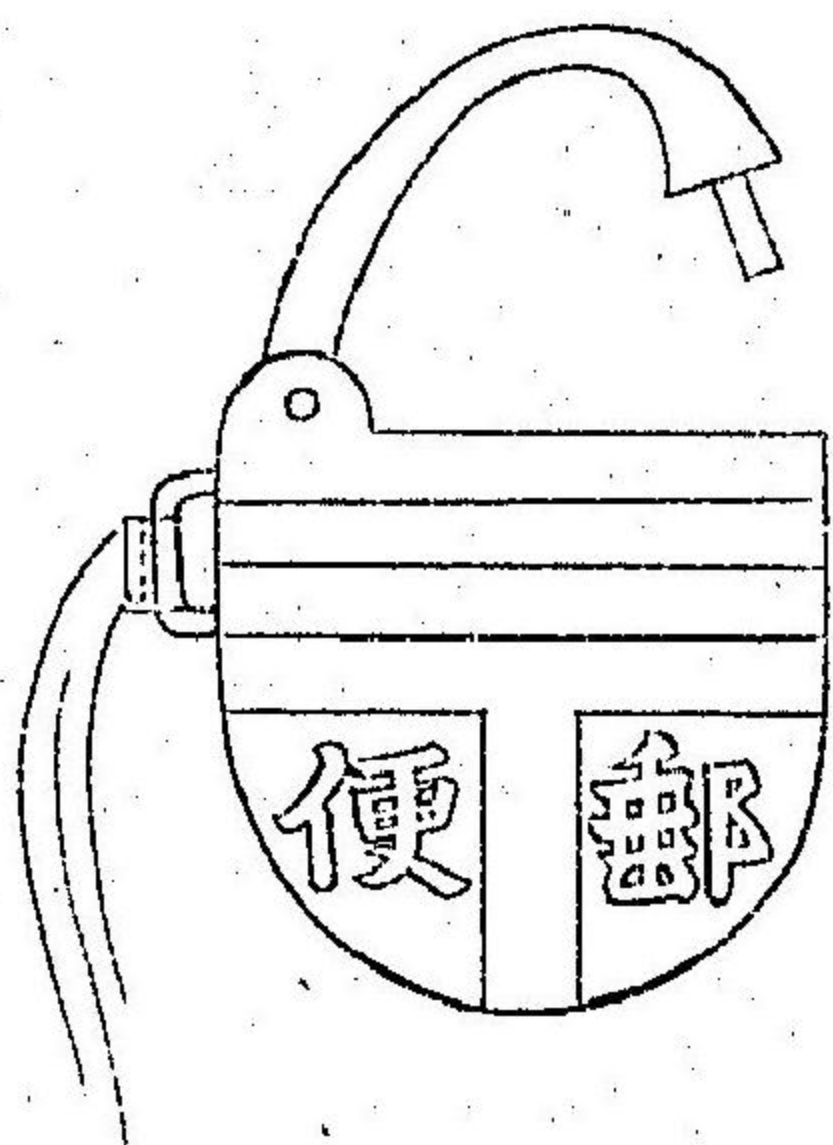


四 鎖錠

錠ヲ以テ封鎖ヲ爲サントスルトキハ左圖ノ錠前ヲ必ス錠行蓋ニ結着ケ置クヘシ其ノ封鎖方ハ次ノ手續ニ依ル但シ錠行蓋ノ外ハ特ニ指定シタル場合ヲ除キ鎖錠ヲ以テ行蓋ヲ封鎖スルコトヲ得ス

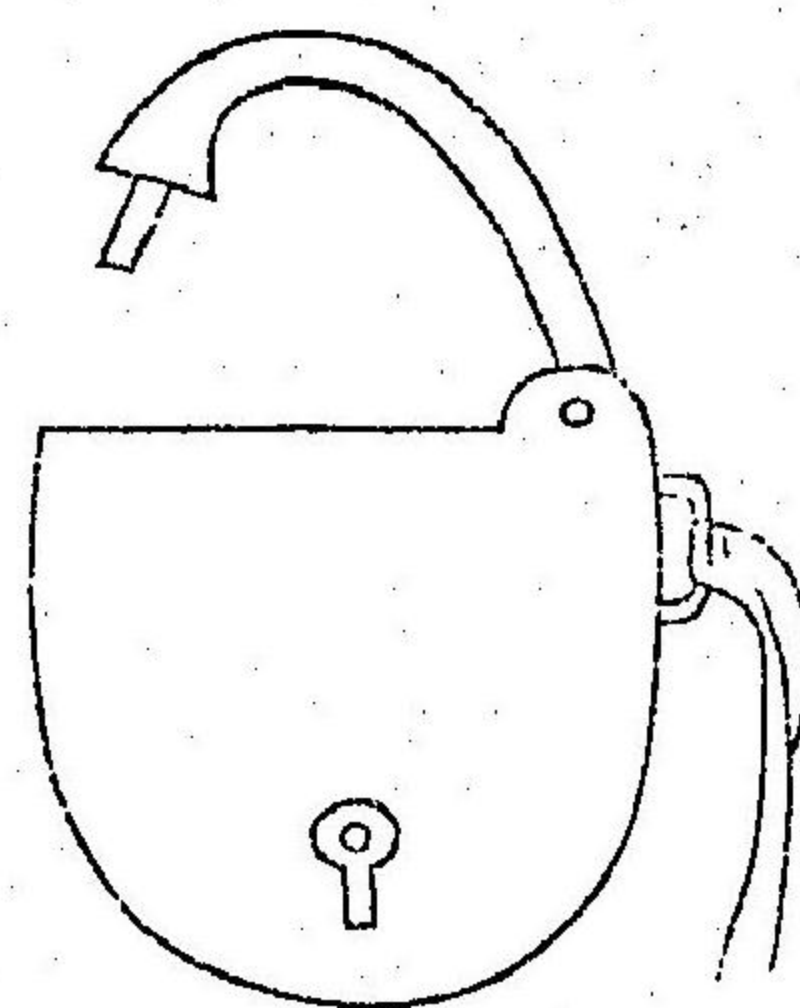
第一圖

錠前ノ錠



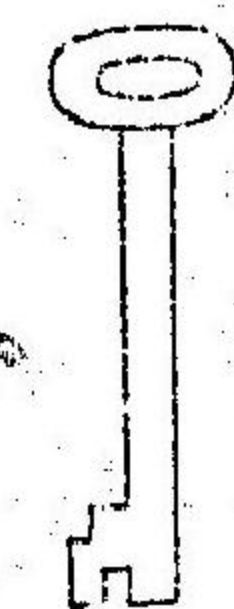
第二圖

錠後ノ錠



第三圖

錠ノ錠



注意

- 一 行囊出納帳及同日報ハ行囊出納ノ明細ヲ知ルニ最必要ノモノナルヲ以テ之カ記入方粗略ナキ様注意スルヲ要ス
- 一 入ノ部線路便名ノ欄ニハ每便到著ノ際其線路便名ヲ記載スヘシ
- 一 同部各種ノ行囊欄ニハ縱越行囊(郵便物在中ニアラサルモノ共)ヲ除キ自局ニ到着シタル行囊數ヲ記入スヘシ但シ郵便物在中ノモノト空行囊トヲ區別スルカ爲メ郵便物在中ニアラサル行囊ハ必ス各別欄ニ記載シ「何局」又ハ鐵道係員ヨリ受ケタルモノハ「鐵道係員」ト各其發送元ヲ摘要欄内ニ記入スヘシ
- 一 同使用行囊日計及交付行囊日計ハ當日午前中ニ於ケル最終便ノ取扱ヲ完了シタル後郵便物ノ在中セシ行囊ノ日計ヲ使用行囊日計欄ニ又交付ヲ受ケタル行囊ノ日計ヲ交付行囊日計欄ニ各行囊種類毎ニ合計ヲ記入スヘシ
- 一 同合計ノ欄ニハ前項ノ行囊數ヲ合計記入スヘシ
- 一 同内地臺灣ノ兩欄ニハ總計ノ内地臺灣間ニ發着スル行囊アリタル場合ニ限り内地ト臺灣ト區別ヲ爲スタメ各別ニ其行囊數ヲ記入スヘシ
- 一 同過不足ノ欄ニハ殘高ト常備數トノ差ヲ記入スヘシ但シ不足ノ場合ハ△印ヲ附記スヘシ
- 一 其他ハ入ノ部各欄ニ準シ記入スヘシ但シ空行囊ハ鐵道係員ニ豫備行囊ヲ送付シタル場合ハ「豫備」過超行囊ヲ送付シタル場合ハ「過超何局」毀損行囊ヲ送付シタル場合ハ「毀損」ト摘要欄ニ記入スヘシ
- 一 摘要欄内ニハ後日参照トナルヘキ事項ヲ摘記スヘシ

日附印

(何)主管局行囊出納帳 (日報)(乙)

(附錄第四號)

種別	錠	單		複		長		白		赤		備考
		甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	
入之部	越高到着受入											
	修繕計											
出之部	交付送付											
	修繕棄却計											
殘高												
常備數												
未修繕												
過不足												
區内各局之部	總括											
	差立到著差											

- 注意
- 一 本出納帳及日報ハ主管局ニ於ケル行囊ノ出納實況ヲ知ルニ必要ナルヲ以テ記入方錯誤等ナキ様注意ヲ要ス
 - 一 同到著ノ欄ニハ區内ノ局ヨリ受入タル行囊數ヲ記入スヘシ
 - 一 同受入ノ欄ニハ他ノ主管局ヨリ送付ヲ受ケタル行囊數ヲ記入スヘシ
 - 一 同修繕済ノ欄ニハ修繕了シタル行囊數ヲ記入スヘシ
 - 一 出ノ部交付ノ欄ニハ區内局へ補給シタル行囊數ヲ記入スヘシ
 - 一 同送付ノ欄ニハ他ノ主管局ニ送付シタル過超行囊數ヲ記入スヘシ
 - 一 同修繕拂ノ欄ニハ修繕ニ付シタル行囊數ヲ記入スヘシ
 - 一 同棄却ノ欄ニハ棄却シタル行囊數ヲ記入スヘシ
 - 一 未修繕ノ欄ニハ殘高ノ内現ニ毀損ニ係ル行囊數ヲ記入スヘシ
 - 一 過不足ノ欄ニハ殘高ヨリ常備數及未修繕數ヲ差引タル差ヲ記入スヘシ但シ不足ノ場合ハ其數ノ上ニ必ス△印ヲ附記スヘシ
 - 一 區内各局ノ部過不足數總括ノ欄ニハ行囊出納日報甲ニ依リ合數ヲ記入スヘシ
 - 一 同内地臺灣間送受差立ノ欄ニハ各區内局ニ於テ臺灣へ向ケ發送シタル行囊合計數ヲ記入スヘシ但シ空行囊ハ×印ヲ附記スヘシ
 - 一 同到著ノ欄ニハ同上到著シタル行囊ノ合計ヲ記入スヘシ
 - 一 同差ノ欄ニハ差立數ト到著數トノ差ヲ記入スヘシ但シ不足ノ場合ハ必ス△印ヲ付スヘシ

(何)主管局別途保管行囊出納帳 (日報)

日附印

(附録第五號)

種別	錠	單		複		長		白		赤		計
		甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	
入	越											
	他局											
之	自局											
	修繕											
部	計											
	他局											
出	自局											
	修繕											
之	棄却											
	計											
部	殘高											
	未修											
差	計引											
備												
考												

注意

- 一 入ノ部他局ノ欄ニハ他ノ主管局ヨリ受入タル數ヲ記入スヘシ
- 一 同自局ノ欄ニハ自局區内ノ主管局ヨリ受入タル過超行數ヲ記入スヘシ
- 一 同修繕濟ノ欄ニハ修繕了リタル行數ノ簡數ヲ記入スヘシ
- 一 出ノ部他局ノ欄ニハ通信局ノ指定ニ基キ他ノ主管局ヘ拂出シタル數ヲ記入スヘシ
- 一 同自局ノ欄ニハ自局主管局ニ補給シタル數ヲ記入スヘシ
- 一 同修繕拂ノ欄ニハ修繕ニ付シタル行數ノ簡數ヲ記入スヘシ
- 一 同棄却ノ欄ニハ棄却シタル行數ヲ記入スヘシ
- 一 未修繕ノ欄ニハ殘高ノ内現ニ毀損ニ係ル行數ヲ記入スヘシ
- 一 差引計ノ欄ニハ殘高ヨリ未修繕行數ヲ引去リタル數ヲ記入スヘシ

附録第六號

帳付送彙行

種別	種別		單行彙	複行彙	長行彙	白行彙	赤行彙	錠行彙	摘要
	甲	乙							
簡數									
差立	附局印	差立	差立	主任	印	差立	便名	到名	局名
差立	附局印	差立	差立	主任	印	差立	便名	到名	局名

證付送彙行

種別	種別		單行彙	複行彙	長行彙	白行彙	赤行彙	錠行彙	摘要
	甲	乙							
簡數									
差立	附局印	差立	差立	主任	印	差立	便名	到名	局名
差立	附局印	差立	差立	主任	印	差立	便名	到名	局名

注意

- 一 差立番號欄ハ同一局ニ達スヘキ各行彙ノ差立番號ヲ總テ記載スルモノトス
- 一 摘要欄内ニハ左記各號ノ場合ニ於テ各其下ニ記載スル文字其他後日參考ト爲ルヘキ事項ヲ記入スヘシ
- 一 過超行彙送付ノ場合ハ 過超 一毀損行彙送付ノ場合ハ 毀損 交付

附錄第七號

行囊送達帳

名宛局	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
差立局										
差立番號										
枚送達數										
同敬上										
差名立										
便名立										
局名取										
差往印立										
附局差印日立										
摘要										

行囊送達證

名宛局	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
差立局										
差立番號										
枚送達數										
同敬上										
差名立										
便名立										
局名取										
差往印立										
附局差印日立										
附局受印日取										
摘要										

附錄第八號(用紙適宜取集便數多クシテ水書式ニ據リ)

年月 日 日中行囊出納報告

行囊種類	單		長		白		赤		考備
	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	
行囊常備數									
行囊使用便名及箇數									
行囊歸著便名及箇數									
現在未著箇數									
合計									

年月日 監督局宛 何國(取扱)所印

注意

- 一 本表ハ一日中ノ出納ヲ掲記スルモノトス
- 一 常備數ノ欄ニハ自所ノ行囊常備數ヲ記入スヘシ
- 一 行囊使用便名及箇數ノ欄ニハ行囊使用ノ都度其種類ニ從ヒ各取集便ノ相當欄ニ行囊箇數ヲ記入スヘシ
- 一 行囊歸著便名及箇數ノ欄ニハ所轄局ヨリ行囊歸著ノ都度各取集便ノ相當欄ニ其種類ニ從テ行囊數ヲ記入スヘシ
- 一 現在箇數ノ欄ニハ當日事務ノ終リニ於テ現ニ殘存セル行囊數ヲ記入スヘシ
- 一 未著數ノ欄ニハ當日所轄局ヨリ返戻ナキ行囊箇數ノ合計ヲ記入スヘシ
- 一 合計欄ニハ前二項ノ合計ヲ記入スヘシ
- 一 備考欄ニハ常備數ノ過不足所轄局ヨリ行囊返戻ノ狀況等參考トナルヘキ事項ヲ記入スヘシ

附錄第九號

日附印

納月表(報)(甲)(乙) 年 月分

ノ	部					常備數					過不足數					備考					
	高					單	複	長	白	赤	單	複	長	白	赤						
	殘	長	白	赤	高																
甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙		
乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	

(何) 局 行 糞 出

日 次	入ノ部										出				
	越 高					受 入 數					拂 出 數				
	單	複	長	白	赤	單	複	長	白	赤	單	複	長	白	赤
一															
二															
三															
四															
五															
六															
七															
八															
九															
十															
十一															
十二															
十三															
十四															
十五															
十六															
十七															
十八															
十九															
二十															
二十一															
二十二															
二十三															
二十四															
二十五															
二十六															
二十七															
二十八															
二十九															
三十															
三十一															
合計															
各區内各															

注 意

- 一 郵便物在中行糞ト空行糞ヲ區別スル爲メ同一欄内ニ其數ヲ別記シ空行糞數ハ其右肩ニ△印ヲ附スヘシ
- 一 臺灣各局ト受授シタル行糞數ハ更ニ其數ヲ同一欄内ニ朱記スヘシ
- 一 過不足數ノ欄ニハ常備數ニ對スル過不足差引數(不足)ヲ揭記スヘシ
- 一 區内各所總括ノ欄ニハ各局ニ於テ其區内ニ於ケル出張所及受取所ノ出納一箇月合計數ヲ記入スルモノトス
- 一 門司局ニ行糞ヲ請求シタルトキ及同局へ毀損行糞ヲ送付シタルトキ竝ニ同局ヨリ請求行糞到著ノ時ハ各其日ノ備考欄内ニ行糞種類ヲ分チ其旨記載スヘシ

何 局 宛

年 月 日

右 請 求 ス

種別	現在 數上		常備 數上		請求 數上		備 考
	甲	乙	甲	乙	甲	乙	
單							
複							
長							
白							
赤							

行 彙 請 求 書

附錄第十號

○公達第二百三十四號 二月二十四日

通信官署

明治三十三年十月公達第五百四十二號郵便ニ關スル式紙帳簿類保存期限中左ノ通改正シ明治三十七年

三月十五日ヨリ施行ス

- 一 簡年問保存ノ部
- 一 「行彙出納帳」ヲ「行彙出納帳(甲)(乙)」ニ改ム
- 一 「行彙出納日報」ヲ「行彙出納日報(甲)(乙)」ニ改ム
- 一 「郵便物數調査簿」ノ次ニ左ノ三項ヲ加フ
- 一 行彙出納月表(甲)(乙)
- 一 行彙出納月報(甲)(乙)
- 一 行彙出納報告
- 一 六箇月間保存ノ部
- 一 「郵便不著取調請求書」ノ次ニ左ノ三項ヲ加フ
- 一 別途保管行彙出納帳
- 一 別途保管行彙出納日報
- 一 行彙請求書

○公達第二百三十五號 二月二十四日

通信官署

左ノ通電信回線ヲ變更ス

線 名	接 續 局	接 續 方 法
濱田 加計線	濱田 市木 有田 廣島	八木村(加計分線地)ヨリ可部ヲ經テ鈴張村(戸谷分線地)間増設線及鈴張村戸谷間新設線ヲ濱田戸谷線ノ濱田八木村間線及戸谷加計間線ニ聯結但同線ノ八木村加計間線ハ撤去ス

公達 第二百三十四號 第二百三十五號

七百二

○公達第二百三十六號 二月二十五日

明治三十年三月公達第二百一號郵便切手類出納規程中左ノ通改正ス

郵便切手類出納規程

通信官署

第四條第一項第一號中「通信局長」トアルヲ「經理局長」ト改メ第二號中「出納官吏タル者」ノ次ヘ「電信局ニ在テハ出納員タル者」ノ十四字ヲ加ヘ第四號中「一等郵便局所在地外ニアル電信局ニ在テハ出納員タル者」ノ二十六字ヲ削除シ第六號ヲ左ノ通改ム

六、第二號ニ依リ命スル所ノ主任官ハ通信課長又ハ郵便課長ヲ以テ出納官吏トスルニ等郵便局ニ在テハ之ヲ其出納官吏ニ命セスシテ庶務ニ從事スル首席者ニ命ス

同條第三項中「通信局長」トアルヲ「經理局長」ト改ム

第五條中「第四條第二項ノ」七字「調度課長」ノ四字ヲ削ル

第二十一條中「第六條ノ當該監督局長」トアルヲ「當該局長」ニ但書ヲ左ノ通改ム
但局長ニシテ切手類會計官吏ヲ兼任スル局ニ在テハ其局勤務ノ他ノ官吏ニ又分任官ハ其所屬主任官ノ在勤スル當該局長ノ認定ヲ求ムヘシ

第三十條ヲ削除ス

通信官署

○公達第二百三十七號 二月二十五日
明治二十九年一月公達第七號地方郵便切手類取扱細則中左ノ通改正ス

地方郵便切手類取扱細則

第二十條中「通信管理局」ノ五字ヲ削ル

第二十一條中「通信局長」トアルヲ「經理局長」ト改ム

○公達第二百三十八號 二月二十五日

來三月一日ヨリ左ノ通電信回線ヲ新設ス

線 名 接 續 局 所

尾鷲 九鬼 線 尾鷲 九鬼

岐阜河原湊町線 岐阜 河原湊町受取所

○公達第二百三十九號 二月二十五日

紀伊國九鬼郵便局外ニ所發著電報ノ中繼順路左ノ通相定ム

電 報 往 復 局 所

自九鬼

至各局所

自河原湊町受取所

至各局所

自平泉取扱所

至 石鳥谷取扱所 日詰同上

至 其他各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

○公達第二百四十號 二月二十五日

通信事務上ニ使用スヘキ左式ノ事務用葉書ヲ發行シ遞信省、郵便爲替貯金管理所、一、二等郵便局、在外郵便局、電信局、電話局ヲシテ又ヲ使用セシム其取扱方ハ第二種郵便物ニ準スヘシ

通信官署

尾鷲 中繼局所
岐阜
黒澤尻取扱所
一ノ關取扱所

通信官署

事務用葉書



引受局ハ此證票ヲ引受日
附印ヲ以テ消印スヘシ

此位置ニ郵便事務、電信事務、
電話事務、為替貯金事務等ノ
印ヲ押捺シテ差出スヘシ

逓信省發行

用紙淡紅色

縦四寸六分五厘
横四寸三分

印刷局製

○公達第二百四十一號 二月二十六日

當分ノ內在韓國受取所經費ハ所轄局長ニ於テ其ノ五割以內ヲ適宜加給スルコトヲ得

逓信官署

○公達第二百四十二號 二月二十六日

來三月一日ヨリ韓國大邱及密陽郵便受取所ニ於テ集配事務ヲ取扱フ

逓信官署

○公達第二百四十三號 二月二十七日

來三月一日ヨリ越中國生地電信受取所ニ於テ左記ノ場所ニ宛タル電報ノ直配達ヲ取扱フ

逓信官署

一電報直配達區域

生地町大字大野新、生地、山生地新、經生地新、吉田、芦崎、四ツ屋新、吉田新

大布施村大字朽澤、古御堂、四ヶ開

村椿村大字四ヶ開、飯澤、出島開、吉田、板屋、飛驒、大角井新、大開、芦崎、荒俣

石田村大字經立野新、山立野新、濱石田新、濱石田、正光寺、正光寺新、石田、經石田新、濱經田、

石田新、

○公達第二百四十四號 二月二十七日

逓信官署

紀伊國九鬼郵便局ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一電報取扱時間 第二種

公達 第二百四十二號乃至第二百四十四號

七百五

一 取扱フヘキ電報 内外和文電報

○公達第二百四十五號 二月二十七日

通信官署

岐阜河原湊町郵便電信受取所ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一 電報取扱時間 第二種

一 取扱フヘキ電報 内國和文電報

但著信電報ハ同受取所ヲ肩書スルモノ及留置トナスモノノ外取扱ハス

○公達第二百四十六號 二月二十七日

通信官署

陸中國平泉電信取扱所ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一 電報取扱時間 午前八時ヨリ午後七時マテ

一 取扱フヘキ電報 内國和文電報

一 電報直配達區域 三町以内

一 上記以外ノ事項

別使配達ヲ取扱フ

時間外ノ取扱ヲ爲サス

○公達第二百四十七號 二月二十七日

通信官署

明治三十四年八月公達第四百八十六號傳達上特別ノ名稱ヲ用フヘキ電信局所名録中左ノ通追加シ來三月一日ヨリ施行ス

局 所 名

九鬼郵便局 (紀伊)

久喜郵便局 (武藏)

○公達第二百四十八號 二月二十七日

通信官署

明治三十六年三月公達第三百二十四號通信現業員勤勉手當給與規則中左ノ通改正ス

一 第三條第一項ニ左ノ但書ヲ加フ

但在外局ニ在テハ戰時事變又ハ特殊ノ場合ニ限リ一箇月毎ニ之ヲ給與スルコトヲ得

○公達第二百四十九號 二月二十七日

通信官署

戰地ヘ宛テ差立ツヘキ軍事郵便物ハ當分ノ内左記軍事郵便直接交換局ノ一ニ宛テ遞送スヘシ

陸軍所屬宛ノ分

公達 第二百四十七號乃至第二百四十九號

七百七

宇品郵便局
細江郵便局
門司郵便局
海軍所屬宛ノ分
佐世保郵便局

○公達第二百五十號 二月二十九日

通信官署

來三月一日ヨリ武藏國板橋郵便局ニ於ル電報取扱時間ヲ第一種トス

○公達第二百五十一號 二月二十九日

通信官署

來三月一日ヨリ武藏國赤羽及上野ノ兩電信取扱所ニ於テ電報取扱時間外ト雖至急官報ニ限リ之ヲ取扱フ

○公達第二百五十二號 三月一日

通信官署

非常事變ニ際シ清國又ハ韓國ニ於テ使役スル通信工夫、同見習、通信職工給與規程左ノ通定ム

非常事變ニ際シ清國若クハ韓國ニ於テ使役スル通信工夫、同見習、通信職工給與規程

第一條 非常事變ニ際シ内地ニ在勤スル通信工夫同見習、通信職工ニ清國若クハ韓國へ出張ヲ命ジタルトキハ指定地ニ到着ノ翌日ヨリ其ノ地出發ノ前日マテ本給料ノ外左記各號ノ一ニ該當スル金額ヲ加給ス

一 糧食ヲ官給スルトキハ一日金一圓

二 糧食ヲ官給セサルトキハ一日金一圓五十錢

前項加給額給與中ハ出張増給、歸著増給、夜間就業増給、割増給及旅費ハ支給セズ

第二條 前條加給額給與中公務ニ起因スルニアラスシテ疾病ニ罹リ職ニ就カサルノ日ハ左記各號ノ

一ニ該當スル金額ヲ支給ス

一 糧食ヲ官給スルトキハ本給料ニ金一圓ヲ加ヘタル額ノ半額

二 糧食ヲ官給セサルトキハ前號ノ金額ニ金五十錢ヲ加ヘタル額

第三條 第一ノ條通信工夫、同見習、通信職工ニハ通信工夫看守見習規則ニ定ムル被服ヲ交付スル

ノ外下著、腹掛、脚絆及雜費ヲ交付スルコトアルヘシ

第四條 本規程ニ定ムル外ハ總テ通信工夫看守見習規則ニ據ル

附則

第五條 本規程ハ明治三十七年二月八日ヨリ施行ス

○公達第二百五十三號 三月二日

通信官署

明治三十四年八月公達第四百八十六號傳達上特別名稱ヲ用フヘキ電信局所名錄中左ノ通追加ス

局 所 名 彌富郵便局(尾張) 彌富電信取扱所(尾張)

尾張 彌富 鐵 彌富

通信官署

○公達第二百五十四號 三月二日

本月十日ヨリ左ノ通電信回線ヲ變更ス

線 名 接 續 局 所 接 續 方 法

長野飯山線 長野 豐野取扱所 小布施 須坂 中野 湯田中 飯山 在來長野飯山線ニ豐野取扱所ヲ接續

通信官署

○公達第二百五十五號 三月二日

本月十日ヨリ左ノ通電報中繼順路ヲ改定ス

電 報 往 復 局 所 中繼局所

自 豐野取扱所

直江津取扱所

柏崎取扱所 北條同上 來迎寺同上 長岡同上(發後) 西條取扱所 明科同上 田澤同上 松本同上 村井同上 鹽尻同上

至 篠ノ井同上 阪城同上 上田同上 大屋同上 田中同上 御代田同上

輕澤井同上 中村信濃 飯山 長野信濃

其他各局所(直通ノ箇所ヲ除ク) 豐野取扱所

自 小布施 須坂 中野信濃 湯田中 田口同上 關山同上 新井同

吉田取扱所 牟禮同上 柏原同上(信濃) 田口同上 關山同上 新井同

至 高田同上 飯山 長野信濃

中村信濃 其他各局所(直通ノ箇所ヲ除ク) 豐野取扱所

自 飯山 飯山 長野信濃

吉田取扱所 牟禮同上 柏原同上(信濃) 田口同上 關山同上 新井同

至 高田同上 豐野取扱所 長野信濃

其他各局所(直通ノ箇所ヲ除ク) 通信官署

○公達第二百五十六號 三月二日 通信官署

西尾西幡豆線ヲ西尾幡豆線ト改稱ス 通信官署

○公達第二百五十七號 三月二日

本月十日ヨリ左ノ通電報中繼順路ヲ改定ス

自 宇都宮取扱所 電 報 往 復 局 所

中繼局所

新宿取扱所 澁谷同上 目黒同上 王子同上 赤羽同上 蕨同上 秋葉原

上野取扱所

同上 北千住同上 龜有同上 我孫子同上

上尾取扱所 桶川同上 鴻ノ巣同上 吹上同上

大宮取扱所

倉ヶ野取扱所 新町同上 磯部同上 横川同上 輕井澤同上 大間々同

高崎取扱所

上 間々田取扱所 蓮田同上 富山同上(下野) 小俣同上 結城同上 下館

同上 岩瀬同上 笠間同上 友部同上 水戸同上 下孫同上 叻川同上 川

小山取扱所(下野)

尻同上 磯原同上 綴同上 高濱同上

福島取扱所

松川取扱所 日和田同上 長岡同上(岩代) 藤田同上

仙臺取扱所

白石取扱所 大河原同上 槻木同上 岩沼同上 増田同上 長町同上 鹿

宇都宮

島同上 利府同上 松島同上 小牛田同上

宇都宮取扱所

其他各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

自 矢板取扱所 西那須野同上

自 黒磯取扱所

至 各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

白河 棚倉 石川

白河取扱所

日和田取扱所 松川同上 庭坂同上 長岡同上(岩代) 藤田同上

福島取扱所

白石同上

宇都宮取扱所

其他各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

自 黒田原取扱所

白河取扱所

至 白河 棚倉 石川

郡山取扱所

日和田取扱所 松川同上

宇都宮取扱所

其他各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

白河取扱所

自 矢吹取扱所

宇都宮取扱所

至 白河 棚倉 石川

福島取扱所

黒磯取扱所 西那須野同上 矢板同上 寶積寺同上 日光同上

宇都宮取扱所

其他各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

白河取扱所

自 郡山取扱所

仙臺取扱所

西那須野取扱所 矢板同上 寶積寺同上 日光同上

福島取扱所

至 白河 棚倉 石川

白河取扱所

大河原取扱所 槻木同上 岩沼同上 増田同上 長町同上 鹿島同上

利府取扱所

利府同上 松島同上 小牛田同上 瀬峯同上 新田同上(陸奥) 石越同上

花泉取扱所

其他各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

福島取扱所

自 福島取扱所
 西那須野取扱所 矢板同上 寶積寺同上 日光同上 黒田原同上
 白河 棚倉 石川
 大河原取扱所 槻木同上 岩沼同上 増田同上 長町同上 鹿島同上
 利府同上 松島同上 小牛田同上 瀬峯同上 新田同上(陸前) 石越同上
 花泉同上
 其他各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)
 自 仙臺取扱所
 黒田原取扱所 黒磯同上 西那須野同上 矢板同上 寶積寺同上
 日光同上
 至 前澤取扱所 金ヶ崎同上 平泉同上
 庭坂取扱所 松川同上 日和田同上 矢吹同上
 其他各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)
 自 足利取扱所 桐生同上 前橋同上 高崎同上
 至 日光取扱所 寶積寺同上 矢板同上 西那須野同上 黒磯同上 黒田原
 同上

宇都宮取扱所
 白河取扱所
 仙臺取扱所
 福島岩代
 宇都宮取扱所
 一關取扱所
 福島取扱所
 仙臺
 宇都宮取扱所

○公達第二百五十八號 三月二日

通信官署

明治三十一年^{十二}月^{十二}日 公達第六百六十三號 増郵便料金表中 葡萄牙(「マテール」及「ソール」ヲ含ム)ノ部左ノ通改正ス

葡萄牙(「マテール」及「ソール」ヲ含ム) 十五レイ 二 一 一 一

○公達第二百五十九號 三月三日

逓信部内一般

明治三十六年度歳出科目左記ノ通増設ス

臨時部營繕費ノ款新營繕費ノ項末位ニ左ノ目

高崎郵便局敷地買増

○公達第二百六十號 三月四日

航路標識管理所

明治三十三年^八月^八日 公達第四百四號 航路標識看守制服貸與規則中左ノ通改正ス

但本改正ノ際貸與中ノ制服ニシテ改正ノ保存期限迄著用ニ堪ニサルモノハ新制服ト交換貸與スル

コトヲ得

第二條保存期限中三トアルヲ五ト改メ更ニ左ノ一項ヲ追加ス

前項ノ保存期限ハ總テ貸與ノ月ヨリ起算ス

第五條ニ左ノ一項ヲ追加ス

前項ノ場合ニ於テハ舊制服ハ之ヲ返納セシメ新制服ノ保存期限ハ第二條ニ由ル

○公達第二百六十一號 三月四日

通信官署

俘虜郵便取扱規程左ノ通相定ム

俘虜郵便取扱規程

第一條 本規程ハ俘虜郵便規則ニ依ル俘虜郵便物ノ取扱方ヲ規定スルモノス但シ本規程ニ別段ノ定メナキ事項ニ付テハ總テ内地及外國郵便ノ取扱ニ關スル一般ノ規定ニ依ル

第二條 俘虜郵便物ヲ引受クルトキハ俘虜郵便物トシテ差出スヲ得ヘキモノナルヤ否、又外國宛ノモノハ別ニ告知スル諸國以外ノモノニアラサルヤ否ヲ検査シ之ニ違反スルモノハ一般郵便物トシテ取扱フヘシ但シ遞送ノ途ナキ外國宛ノモノハ差出人ニ還付スヘシ

俘虜郵便ノ表記ナキモノト雖其ノ俘虜郵便物タルコト明ナルモノハ尙ホ俘虜郵便物トシテ取扱フヘシ

第三條 俘虜ヨリ差出ス郵便物ハ當該俘虜收容所監督者ニ於テ之ヲ取纏メ俘虜郵便物タルコトヲ證明シテ差出シタルモノニ限り之ヲ引受クヘシ

書留又ハ價格表記ノ通常郵便物及小包郵便物ノ受領證ハ之ヲ收容所監督者若ハ其代理者ニ交付スヘシ

第四條 外國郵便交換局ニ於テ自局引受及外國郵便通常局ヨリ送付シ來リタル俘虜郵便物ニシテ俘

虜郵便タル外國文字ノ記載ナキトキハ附錄第一號雛形ノ印章ヲ押捺スヘシ

第五條 俘虜ニ宛テタル郵便物ハ當該俘虜收容所監督者若ハ其ノ代理者ニ交付シ書留又ハ價格表記ノ通常郵便物及小包郵便物ノ受領證ハ其監督者又ハ代理者ヨリ差出サシムヘシ

第六條 俘虜ニ宛テタル郵便物宛名ノ記載方不完全等ノ爲メ配達シ難キトキハ其ノ配達先ヲ俘虜情報局ニ問合スヘシ

第七條 價格表記郵便物及小包郵便物ハ別ニ告知スル諸國以外ノ繼越ヲ經由スヘキ線路ニ依リ外國ヘ差立ツルヲ得ス

第八條 外國郵便交換局ニ於テ書留又ハ價格表記ノ通常郵便物及小包郵便物ヲ外國ニ差立ツルトキハ關係目錄及帳簿ノ附註欄内ニ附錄第一號雛形ノ印章ヲ押捺スヘシ此等ノ郵便物ニ付テハ郵便ニ關スル料金計算ノ手續ヲ爲スニ及ハス

第九條 俘虜郵便物外國ヨリ到着シタルトキハ外國郵便交換局ニ於テ附錄第二號雛形ノ印章ヲ押捺シ不足料又ハ未納料ノ指定アルモノハ之ヲ抹消スヘシ

附錄 第一號

五分 二 寸 五 分
DES PRISONNIERS DE GUERRE

第二號

一寸

分三 俘虜郵便

○公達第二百六十二號 三月四日

通信官署

一等局及在外局ニ於テハ自局及管轄區内各局ニ於ケル内地俘虜郵便物數表ヲ左記第一號様式ニ據リ外國郵便交換局ニ於テハ自局發着ノ外國俘虜郵便物數表ヲ左記第二號様式ニ據リ每有取調内地各局ハ翌月二十日限リ在外各局ハ翌月第一船便ヲ以テ通信局ニ報告スヘシ

第一號 内地 俘虜 郵便物 數表

情報局宛	情報局發	引		受		配		達	
		普通郵便物	小包郵便物	普通郵便物	小包郵便物	普通郵便物	小包郵便物	普通郵便物	小包郵便物
		通留	普留	通留	普留	通留	普留	通留	普留
		個數	金額	個數	金額	個數	金額	個數	金額

右報告ス

年 月 日

遞信省 通信局 宛

局 長

名

記入心得

「俘虜宛」若ハ「情報局宛」ノ欄ニハ俘虜及情報局以外ノ者ヨリ俘虜若ハ情報局ニ宛テタル郵便物數ヲ記入スヘシ

第二號 外國 俘虜 郵便物 數表

名 宛 國	在本邦俘虜發		本邦情報局發		在外國俘虜及情報局宛	
	普通郵便物	小包郵便物	普通郵便物	小包郵便物	普通郵便物	小包郵便物
	通留	普留	通留	普留	通留	普留
	個數	金額	個數	金額	個數	金額

第五條 郵便爲替貯金管理所ニ於テ外國郵便爲替特別約定國ニ對シ俘虜爲替ノ振出ヲ要スルトキハ別箇ノ爲替目録書ヲ調製シ其上部ニ「Service des prisonniers de Guerre.」(俘虜爲替)ノ文字ヲ記載スヘシ

第六條 郵便爲替貯金管理所ニ於テ外國郵便爲替特別約定國ヨリ俘虜爲替ノ振込ヲ受ケタルトキハ外國郵便爲替券及外國郵便爲替報知書表面ノ上部ニ「俘虜爲替」ノ文字ヲ朱記スヘシ

第七條 外國郵便爲替特定局ニ於テ外國ヨリ俘虜爲替トシテ送付ヲ受ケタル萬國聯合郵便爲替券ニシテ通常局ニ於テ拂渡スヘキモノナルトキハ翻譯箋ノ餘白ニ「俘虜爲替」ノ文字ヲ朱記スヘシ

第八條 郵便局所ニ於テ俘虜ニ宛テタル爲替金ノ拂渡ヲ爲ストキハ當該俘虜收容所ノ監督者ヲシテ證書相當欄ニ俘虜監督者タル肩書ヲ附シ記名調印セシムヘシ

○公達第二百六十四號 三月五日

通信官署

武藏國豊田電信取扱所ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一電報取扱時間

三月一日ヨリ十月三十一日マテ午前六時ヨリ午後八時マテ

十一月一日ヨリ翌年二月末日マテ午前七時ヨリ午後八時マテ

一取扱ヘキ電報 内國和文電報

一電報直配達區域 九町以内

一上記以外ノ事項

別使配達ヲ爲ス

時間外ノ取扱ヲ爲サス

○公達第二百六十五號 三月五日

通信官署

武藏國豊田電信取扱所發者電報ノ中繼順路左ノ通相定ム

電 報 往 復 局 所

中繼局所

自豊田取扱所

八王子取扱所

至 與瀬取扱所 鳥澤同上

八王子

其他各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

通信官署

○公達第二百六十六號 三月五日

本月十一日ヨリ左ノ通電信回線ヲ變更ス

線 名	接 續 局 所	接 續 方 法
豊田拜島線	豊田取扱所 八王子同上 八王子	八王子取扱所豊田取扱所間増設線ヲ八王子拜島線ニ聯結

○公達第二百六十七號 三月五日

通信官署

興津郵便局外一所發著電報ノ中繼順路左ノ通相定ム

電 報 往 復 局 所

中繼局所

自興津

至(入山瀬受取所)

(其他各局所(直通ノ箇所ヲ除ク))

自西戸崎取接所

至各局所

吉原

静岡

香椎取接所

○公達第二百六十八號 三月五日

通信官署

本月十一日ヨリ静岡大宮線接續局中江尻ノ次ニ興津ヲ追加ス

○公達第二百六十九號 三月五日

通信官署

駿河國興津郵便局ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一電報取扱時間 第二種

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○公達第二百七十號 三月五日

通信官署

本月十一日ヨリ駿河國興津電信取扱所ニ於ル著信電報ハ同取扱所ヲ肩書スルモノ及留置ト爲スモノノ外取扱ハス

○公達第二百七十一號 三月五日

通信官署

明治三十四年ハ公達第四百八十六號傳送上特別ノ名稱ヲ用フヘキ電信局所名録中左ノ通追加ス

局 所 名

傳送上用ユヘキ局所名

ヲノオ部 興津郵便局(駿河)

駿河興津

○公達第二百七十二號 三月五日

鐵 興津

通信官署

明治二十九年ハ公達第四百七十七號事業用物品規程別冊中左ノ通改正シ本月十五日ヨリ施行ス

第一種郵便事業用消耗品中

公達 第二百七十號乃至第二百七十二號

七百二十五

品名	單位	交付制限
複行囊	筒	甲乙ノ二種トシ必要ト認ムル員數ヲ交付ス
白行囊	同	同上
赤行囊	同	同上
錠行囊	同	必要ト認ムル員數ヲ交付ス
單行囊	同	甲乙ノ二種トシ必要ト認ムル員數ヲ交付ス
長行囊	同	甲乙ノ二種トシ長サ二尺以上ノ長形小包郵便物用トシテ必要ト認ムル員數ヲ交付ス

第三種郵便事業用消耗品中

整理番號	品名	單位	交付制限
郵第九十五號甲	行囊出納帳甲	部	一二三等局ニ限リ必要ト認ムル部數ヲ交付ス
郵第九十五號乙	行囊出納帳乙	同	普通行囊主管局ニ限リ同上
郵第一百號	別途保管行囊出納帳 別途保管行囊出納帳	同	特別行囊主管局ニ限リ同上
郵第一百十一號	行囊出納報告	同	受取所及取扱所ニ限リ同上
郵第一百十二號甲	行囊出納月報甲	同	在外局所(行囊主管局ヲ含ム)ニ限リ同上
郵第一百十二號乙	行囊出納月報乙	同	同上
郵第一百十三號	行囊請求書	同	在外局所(行囊主管局ヲ含ム)ニ限リ同上

郵第一百十二號乙

行囊出納月報乙

同

在外行囊主管局ニ限リ同上

郵第一百十三號

行囊請求書

同

在外局所(行囊主管局ヲ含ム)ニ限リ同上

○公達第二百七十三號

三月五日

郵第九十四號、郵第九十六號、郵第九十七號甲、郵第九十七號乙、郵第九十八號ノ欄削除

通信官署

明治三十五年五月公達第三百三十六號ニ依リ組替整理シタル錠行囊甲錠行囊乙ハ本月十五日以降更ニ

錠行囊ニ組替整理スヘシ

○公達第二百七十四號

三月七日

通信官署

代金引換郵便物交付ノ事務ヲ取扱フ郵便電信受取所及郵便受取所ニハ郵便局ノ該事務取扱ニ關スル規定ヲ準用ス

○公達第二百七十五號

三月七日

通信官署

左ノ通電信線經過地ヲ變更ス

線名	經過線路
東京高崎二番線	品川 目黒 中野 赤羽 浦和 熊谷
東京高崎三番線	下谷 赤羽 浦和 川越 松山 深谷

公達 第二百七十三號乃至第二百七十五號

七百二十七

○公達第二百七十六號 三月八日

本月十日ヨリ左ノ通電信回線ヲ變更ス

線名	接續局所	接續方法
高知 甲浦線	高知 安藝 安田 奈半利	高知 甲浦線ヨリ赤岡ヲ除ク
高知 安藝線	高知 後免 山田 赤岡	赤岡安藝間増設線ヲ高知赤岡線ニ接續ス

○公達第二百七十七號 三月八日

本月十日ヨリ左ノ通電報中繼順路ヲ改定ス

電報	往復局所	中繼局所
自赤岡		高知
至各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)		

○公達第二百七十八號 三月八日

天鹽園上名寄郵便局ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

通信官署

一電報取扱時間 第二種

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○公達第二百七十九號 三月八日

通信官署

本月十一日ヨリ左ノ通電信回線ヲ變更ス

線名	接續局所	接續方法
札幌 上名寄線	札幌 旭川 近文受取所 鷹栖 釧淵 士別 上名寄	士別上名寄間新設線ヲ札幌士別線ニ接續ス

○公達第二百八十號 三月八日

通信官署

上名寄郵便局發著電報中繼順路左ノ通相定ム

電報	往復局所	中繼局所
自上名寄		
下富良野 東旭川	瀧川取接所 江邊乙同上 妹背牛同上 納内	旭川
同上 伊納同上 旭川同上 比布同上 士別同上 邊別同上 美瑛		
至同上 上富良野同上 中富良野同上 下富良野同上 金山同上 鹿越同上 落合同上		札幌
其他各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)		

公達 第二百七十九號第二百八十號

公達 第二百八十一號乃至第二百八十三號

七百三十

○公達第二百八十二號 三月八日

通信官署

議院郵便電信取扱所ニ於ル電報取扱時間左ノ通改正ス
一 電報取扱時間

午前十時ヨリ午後五時マテ

但シ便宜取扱時間ヲ伸長スルコトアルヘシ

○公達第二百八十二號 三月八日

遞信部内一般

明治三十六年度歳出科目左記ノ通増設ス

臨時部營繕費ノ款新營繕費ノ項末位ニ左ノ二目

廣島郵便局付屬舎新營

米子郵便局舎買収

○公達第二百八十三號 三月八日

仕拂命令官

毎月仕拂命令濟額ハ其月末日ノ現計ニ基キ左記様式ノ仕拂報告書ヲ作成シ翌月五日迄ニ之ヲ報告ス
ヘシ

(様式)

出 歳 度 年 某
第何號 仕拂報告書 明治何年何月分歳出

公達 第二百八十三號

七百三十一

科 目	豫算額		仕 拂 命 令 濟 額		豫算残額		備 考
	圓	錢	前月迄累計	本月分	圓	錢	
經 常 部							備 考 一、仕拂命令濟額前月迄累計ノ内ヨリ科目更正シタルモノアルトキハ備考欄内ニ其事由及金額ヲ記載シ更正増額ハ本月分ト併算シ更正減額ハ朱ヲ以テ本月分ト並記スヘシ 二、定額戻入アリタル月ハ其金額ヲ朱ヲ以テ本月分仕拂命令濟額ト並記スヘシ 三、増減ナキ月ハ其旨ヲ報告スヘシ 四、豫算流用増減額ハ備考欄内ニ記載スヘシ(通信官署ニ限ル)
何々(款)	0	0	0	0	0	0	
何々(項)	0	0	0	0	0	0	
何々(目)	0	0	0	0	0	0	
何々(目)	0	0	0	0	0	0	
何々(項)	0	0	0	0	0	0	
何々(目)	0	0	0	0	0	0	
何々(款)計	0	0	0	0	0	0	
何々	0	0	0	0	0	0	
何々	0	0	0	0	0	0	
何々(款)計	0	0	0	0	0	0	
經常部合計	0	0	0	0	0	0	
臨 時 部 (經常ニ同シ)							
總 計	0	0	0	0	0	0	
	明	治	何	何	日	氏	
	選	何	何	何	官	名	
		信	信	大	宛	宛	

公達 第二百八十四號乃至第二百八十六號

七百三十二

○公達第二百八十四號 三月九日

筑後國善導寺郵便局ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一電報取扱時間 第二種

一取扱フヘキ電報 内外和文電報

○公達第二百八十五號 三月九日

通信官署

豊後國塚脇郵便電信受取所ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一電報取扱時間 第二種

一取扱フヘキ電報 内國和文電報

但シ着信電報ハ同所ヲ肩書スルモノ及留置ト爲スモノノ外取扱ハス

○公達第二百八十六號 三月十日

通信官署

本月十六日ヨリ左ノ通電信回線ヲ新設ス

線名 接續局所 森塚協線 森塚協受取所

○公達第二百八十七號 三月十日

通信官署

本月十六日ヨリ左ノ通電信回線ヲ變更ス

線名 接續局所 福岡久留米線 福岡 吉井 田主丸 善導寺 北野 久留米

福岡 日田線 福岡 二日市 甘木 志波 吉井 日田

博多宇美線 博多取接所 福岡 雜餉隈 宇美

新潟村上線 新潟 中條 築地 乙 岩 船村上

中立賣廣道線 中立賣 千本受取所 京都 祇園町受取所 三條廣道受取所

○公達第二百八十八號 三月十日

善導寺郵便局外三局所發着電報ノ中繼順船左ノ通定ム

電報往復局所

中繼局所

通信官署

通信官署

通信官署

通信官署

通信官署

通信官署

通信官署

通信官署

通信官署

通信官署

通信官署

通信官署

通信官署

通信官署

通信官署

通信官署

通信官署

通信官署

通信官署

通信官署

通信官署

通信官署

公達 第二百八十七號 第二百八十八號

七百三十三

自 善導寺

至 松崎筑後

至 國分受取所 久留米取扱所 渡瀬同上

其他各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

自 塚脇受取所

至 各局所

自 乙

至 勝本 嵐ヶ關 温海 湯温海受取所

其他各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

自 中立賣千本受取所

至 各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

○公達第二百八十九號 三月十日

通信官署

本月十六日ヨリ左ノ通電報中繼順路ヲ改定ス

電 報 往 復 局 所

自 志波

至 太宰府受取所

其他各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

中繼局所

二日市

福岡筑前

自 雜餉限

至 古賀取扱所 香椎同上 西戸崎同上 原田同上

其他各局所(直通ノ箇所ヲ除ク)

○公達第二百九十號 三月十日

通信官署

京都市京都市中立賣千本郵便電信受取所ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一 電報取扱時間 第二種

一 取扱フヘキ電報 内國和文電報

但着信電報ハ同受取所ヲ肩書スルモノ及留置トナスモノノ外取扱ハス

○公達第二百九十一號 三月十日

通信官署

越後國乙郵便局ニ於ル電報ノ取扱ニ關スル制限左ノ通定ム

一 電報取扱時間 第二種

一 取扱フヘキ電報 内外和文電報

○公達第二百九十二號 三月十日

通信官署

左ノ通電信回線ヲ變更ス

線名	接續局所	接續方法
東京本所二番線	東京交換本所	東京本所二番線ヲ電信交換機ニ接續
東京小石川二番線	東京交換小石川	東京小石川二番線ヲ電信交換機ニ接續
東京三田二番線	東京交換三田	東京三田二番線ヲ電信交換機ニ接續
東京赤羽二番線	東京交換赤羽	東京赤羽二番線ヲ電信交換機ニ接續
東京青山二番線	東京交換青山	東京青山二番線ヲ電信交換機ニ接續
東京麻布二番線	東京交換麻布	東京麻布二番線ヲ電信交換機ニ接續
東京西久保二番線	東京交換西久保	東京西久保二番線ヲ電信交換機ニ接續
東京議院二番線	東京交換議院取扱所	東京議院二番線ヲ電信交換機ニ接續
東京川越二番線	東京交換川越	東京川越二番線ノ東京川越間線ヲ該間ノ回線トス
東京越生線	東京中野 布田 田無 府中 所澤 川越 越生	東京川越二番線ヲ東京越生線ノ川越越生間線ニ聯結
東京八王子二番線	東京交換八王子	東京八王子二番線ヲ電信交換機ニ接續
東京三崎線	東京 横濱 横須賀 浦賀 三崎	東京三崎線ノ浦賀三崎間線ヲ東京浦賀線ニ聯結
東京浦賀線	東京交換浦賀	東京三崎線ノ東京浦賀間線ヲ該間ノ回線トス
東京横濱五番線	東京交換横濱	東京横濱五番線ヲ電信交換機ニ接續
東京櫻木二番線	東京交換櫻木	東京櫻木二番線ヲ電信交換機ニ接續

○公達第二百九十三號 三月十日

左ノ通電報中繼路ヲ改定ス

通信官署

自川越	往復局所	中繼局所
入船町受取所	西町同上 大島同上	深川武藏
緑町受取所	中ノ郷元町同上 向島須崎町同上 柳島町同上	本所
黒船町受取所	吉野町同上 新吉原同上	淺草
上根岸受取所		下谷
三崎町受取所	宮永町同上 巢鴨町同上 上富士前町同上	駒込
水道町受取所	原町同上 馬場下町同上 早稻田 上	牛込
一ツ木町受取所	目黒同上	青山
六本木町受取所		麻布
田島町受取所		三田武藏
濱松町受取所		赤羽
櫻田受取所	柴井町同上	新橋
三番町受取所	神田橋同上	飯田町
飯田町取扱所	牛込同上 市ヶ谷同上 四谷同上 信濃町同上 國分寺 四谷	

公達 第二百九十三號

七百三十七